

令和 6 年 (2024) 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 一誠会

偕楽園ホーム

(北野事業所・小比企事業所含)

初 音 の 杜

第二偕楽園ホーム

高齢者あんしん相談センター大和田
八王子市高齢者在宅サービスセンター中野

I.	はじめに.....	1
II.	各事業実績報告.....	4
1	法人の運営.....	4
2	法人.....	8
3	地域貢献事業.....	22
4	収支状況.....	23
5	偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）.....	26
6	偕楽園ホーム（短期入所生活介護事業）.....	28
7	偕楽園ホーム居宅介護支援事業所.....	29
8	偕楽園ホーム居宅介護支援事業所北野.....	29
9	偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所.....	30
	偕楽園ホーム訪問介護事業所.....	30
	偕楽園ホーム夜間対応型訪問介護事業所.....	30
10	デイサービスセンター初音の杜（地域密着型通所介護事業）.....	31
11	デイサービスセンター初音の杜（認知症対応型通所介護事業）.....	32
12	グループホーム初音の杜.....	33
13	偕楽園ホーム（八王子市通所型短期集中予防サービス）.....	34
14	第二偕楽園ホーム（地域密着型特別養護老人ホーム）.....	35
15	第二偕楽園ホーム（併設型短期入所生活介護事業）.....	37
16	第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所.....	38
17	第二偕楽園ホーム訪問看護ステーション.....	40
18	企業主導型保育所かいらくえん.....	41
19	八王子市地域包括支援センター大和田.....	42
20	八王子市地域包括支援センター大和田（生活支援体制整備事業）.....	44
21	八王子市地域包括支援センター大和田（認知症地域支援事業）.....	45
22	八王子市地域包括支援センター大和田（介護予防支援事業）.....	46
23	八王子市高齢者在宅サービスセンター中野.....	47
24	シルバーピア中野.....	48
25	第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅.....	48
III.	施設の运营管理.....	50
1	各事業の行事報告.....	50
2	事故防止対策.....	62
3	是正予防処置苦情集計表.....	64
4	災害対策.....	67
5	諸会議・委員会.....	68
6	研修参加状況.....	71
7	出張・研修参加一覧.....	72
8	職員配置.....	75
9	ボランティア活動者数.....	81
10	サービス向上に向けた取組.....	82

11	内部の会計チェック	83
12	広報誌発行回数	83
13	職員処遇	84
14	メディア関連	85
15	指導検査	85
16	実習生の受入れ	85
IV.	偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）	86
1	利用状況実績	86
2	施設入所者の平均年齢等（短期入所除く）	88
3	要介護度認定別利用状況	88
4	日常生活自立度	88
5	入所（居）者 の在籍及び理由別入退所（居）	89
6	退所者の状況	89
7	日常生活に対する介助等の状況	91
8	入浴の実施状況	91
9	排せつ介助の状況	92
10	理美容の機会 リネンの機会等	92
11	行事開催状況	93
12	クラブ開催状況	94
13	福祉用具等の保有状況	94
14	利用者の疾患状況	94
15	入院状況 年度別推移	95
16	医療的な処置をする入所者への対応	96
17	感染症の状況	96
18	入退院の状況	97
19	入所（居）者等の診療状況	97
20	嘱託医師の状況	98
21	協力医療機関	98
22	家族との連携	99
23	預り金の收支状況の報告	99
24	行事食一覧表	100
25	褥瘡予防対策	102
26	身体的拘束等廃止への取り組み	102
V.	偕楽園ホーム居宅介護支援事業所	103
1	利用状況実績（偕楽園ホーム）	103
2	介護支援専門員の配置状況	105
3	利用者の平均年齢	105
4	介護度別利用者数の割合	105
5	加算・減算の摘要と算定額	105
6	終了件数内訳	105

7	利用状況実績（偕楽園ホーム北野）	106
8	介護支援専門員の配置状況.....	107
9	利用者の平均年齢.....	107
10	介護度別利用者数の割合	107
11	加算・減算の摘要と算定額.....	107
12	終了件数内訳.....	107
VII.	偕楽園ホーム定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業所	108
1	利用状況実績（定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業）	108
	利用状況実績（訪問介護事業）	108
	利用状況実績（夜間対応型訪問介護事業）	108
2	利用者の平均年齢（定期巡回・随时対応型訪問介護看護事業）	109
3	要介護度認定別利用状況	109
4	日常生活自立度	109
5	利用者の平均年齢（訪問介護事業）	110
6	要介護度認定別利用状況	110
7	日常生活自立度	110
8	利用者の平均年齢（夜間対応型訪問介護事業）	111
9	要介護度認定別利用状況	111
10	日常生活自立度	111
VIII.	デイサービスセンター初音の杜	112
1	利用状況実績（地域密着型通所介護事業）	112
2	利用者の平均年齢.....	113
3	要介護度認定別利用状況	113
4	日常生活自立度	113
5	日常生活に対する介助等の状況	114
6	利用者の疾患状況.....	115
7	医療的な処置をする利用者への対応	115
8	利用状況実績（認知症対応型通所介護事業）	116
9	利用者の平均年齢.....	117
10	要介護度認定別利用状況	117
11	日常生活自立度	118
12	日常生活に対する介助等の状況.....	118
13	利用者の疾患状況.....	119
14	医療的な処置をする利用者への対応	119
15	介護サービスの提供状況	120
16	運営推進会議	120
VIII.	グループホーム初音の杜	121
1	利用状況実績.....	121
2	利用者の平均年齢等	122
3	要介護度認定別利用状況	122

4	日常生活自立度	122
5	入所（居）者の在籍及び理由別入退所（居）	123
6	退所者の状況.....	123
7	日常生活に対する介助等の状況	124
8	利用者の疾患状況.....	125
9	入院状況 年度別推移.....	126
10	医療的な処置をする入所者への対応	127
11	運営推進会議.....	127
IX.	偕楽園ホーム（八王子市通所型短期集中予防サービス）	128
1	利用状況実績.....	128
X.	第二偕楽園ホーム.....	129
1	利用状況実績.....	129
2	施設入所者の平均年齢等（短期入所除く）	131
3	要介護度認定別利用状況.....	131
4	日常生活自立度	131
5	入所（居）者の在籍及び理由別入退所（居）	132
6	退所者の状況.....	132
7	日常生活に対する介助等の状況	134
8	入浴の実施状況	134
9	排せつ介助の状況.....	135
10	理美容の機会 リネンの機会等.....	135
11	行事開催状況.....	136
12	クラブ開催状況	136
13	福祉用具等の保有状況.....	136
14	利用者の疾患状況.....	136
15	入院状況 年度別推移.....	138
16	医療的な処置をする入所者への対応	138
17	感染症の状況.....	139
18	入退院の状況.....	139
19	入所（居）者等の診療状況.....	140
20	嘱託医師の状況	141
21	協力医療機関.....	141
22	家族との連携	141
23	預り金の收支状況の報告	142
24	行事食一覧表	143
25	褥瘡予防対策	145
26	身体的拘束等廃止への取り組み.....	145
27	運営推進会議.....	145
X I .	第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所	146
1	利用状況実績.....	146

2	利用者の平均年齢.....	147
3	要介護度認定別利用状況.....	147
4	日常生活自立度	147
5	日常生活に対する介助等の状況	148
6	利用者の疾患状況.....	149
7	医療的な処置をする入所者への対応	150
8	介護サービスの提供状況.....	151
9	運営推進会議.....	151
XII.	第二偕楽園ホーム訪問看護ステーション.....	152
1	利用状況実績.....	152
2	利用者の平均年齢.....	153
3	要介護度認定別利用状況	153
XIII.	企業主導型保育所かいらくえん.....	154
1	利用状況実績.....	154
XIV.	八王子市地域包括支援センター大和田	155
1	利用状況実績.....	155
2	運営状況.....	156
XV.	八王子市高齢者在宅サービスセンター中野	160
1	利用状況実績.....	160
2	利用者の平均年齢.....	161
3	要介護度認定別利用状況	161
4	日常生活自立度	161
5	日常生活に対する介助等の状況	162
6	利用者の疾患状況.....	163
7	医療的な処置をする入所者への対応	163
XVI.	第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅	164
1	利用状況実績.....	164
2	入居者の在籍及び理由別入退居	165
3	退居者の状況.....	165

I. はじめに

偕楽園ホームは、八王子市の西北部に広がる「滝山都立自然公園」の一隅に在り、西・南・北に延びるなだらかな武蔵野の丘陵に包まれ、西には遠く大岳山をのぞみ、近くには滝山城跡もあり歴史を感じさせてくれるこの地域で、老人福祉法に基づく特別養護老人ホームとして、社会福祉法人一誠会（昭和 54 年 2 月 23 日設立）が八王子市内で 8 番目の特別養護老人ホームとして設置経営し、昭和 55（1980）年 3 月 1 日の開設以来、45 年余りが経過した。

平成 12（2000）年 4 月から施行された介護保険法に基づき、特別養護老人ホーム（定員 100 名）、短期入所生活介護事業所（空床 10 名、現在 20 名定員）をはじめ、平成 19（2007）年 1 月 1 日に居宅介護支援事業所、平成 23（2011）年 4 月 1 日には通所介護（一般定員 18 名・認知症定員 12 名）、認知症対応型共同生活介護、いわゆるグループホーム（2 ユニット定員 18 名）も事業所として指定を受けた。

また、平成 30（2018）年 9 月 13 日には、サテライト型地域密着型特別養護老人ホーム（定員 29 名）、併設型短期入所生活介護（定員 9 名）、看護小規模多機能型居宅介護（登録定員 29 名）、訪問看護ステーション、サービス付き高齢者向け住宅（12 室）、企業主導型保育（定員 11 名 開園 10 月 1 日）を併設した第二偕楽園ホームの開設に加え、同日、定期巡回・隨時対応型訪問介護看護を、偕楽園ホーム内の宿直室・職員食堂を改修し開始するとともに、当該事業の開設に合わせ、同年 10 月 1 日より夜間対応型訪問介護、訪問介護についても事業を開始し、令和 2（2020）年 5 月 1 日に、大和田地区において八王子市高齢者あんしん相談センター大和田（地域包括支援センター）と指定介護予防支援事業所、令和 3（2021）年 4 月 1 日に、生活支援体制整備および認知症地域支援推進事業の 2 つの事業を開始した。

さらに、令和 4（2022）年 4 月 1 日に定期巡回・随时対応型訪問介護看護ならびに訪問介護サテライト北野、同年 7 月 1 日に居宅介護支援事業所北野を八王子市北野町に事業を開始した。

この間、できる限り地域に根ざした運営と、利用者一人ひとりがその方らしく生き、生き甲斐のもてる生活を送っていただけるよう努めてきたところであるが、利用者のさらなる満足の向上と、地域福祉の向上を図るため、平成 26（2014）年 11 月 20 日には、品質の国際規格 ISO9001 の認証を取得し、さらに、第二偕楽園ホームの開設に合わせ、全ての新規事業において拡大審査を行い、平成 31（2019）年 2 月 14 日に登録が決定され、現在、生活支援体制整備および認知症地域支援推進事業を除く、一誠会が行う全ての事業において ISO9001 の認証を取得した。また、平成 27（2015）年 12 月 12 日には苦情対応マネジメントシステム ISO10002 の自己適合宣言を行うとともに、第二偕楽園ホームをはじめ、その他の新規事業についてもこれを遵守し、常に介護サービスの質の向上にも力を注いでいるところである。

この他、平成 26（2014）年 6 月より毎月 1 回地域の介護者などを中心とした地域交流会（万講座）、7 月より独居高齢者などを対象に日曜日を除く毎日安否確認を含め昼食、夕食を宅配する配食サービス、10 月より月 1 回、1 月より毎週開催している地域の要介護状態にない高齢者を対象とした介護予防教室（楽らくサロン）、11 月より夜間の緊急の介護に関する相談を受け付ける 24 時間対応の電話相談（地域包括支援センターの受託により休止中）、地域の虚弱高齢者を対象に病院受診の送迎、買い物補助などの生活支援など、国が社会福祉法人に期待している地域への地域公益活動を積極的に実施してきた。

さらに、平成 27（2015）年 7 月より職員を地元八王子消防団に入団させたこと、また、地域の夏祭

りに実行委員として職員を派遣するなど、地域との関係において距離が著しく近づいたことも大きな地域公益活動と捉えている。これは、社会福祉法人一誠会が地域福祉の拠点として、地域の高齢者が、介護が必要な状態になることをできる限り予防するとともに、介護や支援が必要になっても、できるだけ状態を悪化させず、住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく、元気で生き生きと暮らし、生活しつづけられる社会を実現させようと国が取り組む地域包括ケアシステムの実現に向け、その一翼を担おうとするものである。

そのような中、令和6年度は、「自律性を持った経営（Management with self directed）」をスローガンに掲げた。

成果については、社会福祉連携推進法人一五戸共栄会のスケールメリットを生かし、次世代を担う管理職候補者の育成と、人材交流を目的に、エイデル研究所丹羽勝氏に講師として招き、「次世代管理職研修」を対面式で2回実施した。また、参加者のシフトや力量などを考慮した日程、講義内容とし、根本的に講義時間が不足するほか、長距離移動直後に研修開始となるなど運営上の問題点もあった。一誠会からは主任や課長など、次世代を担う管理職が7名とファシリテーターとして3名の部長が参加し、五常会や戸井福祉会の職員とも交流を深めることができた。

また、介護現場の生産性向上を目指し、生産性向上推進体制加算の算定を受けるために、介護サービス事業における生産性向上に資するガイドラインに基づいた取り組みを実施した。

一方で、新規事業として八王子市から受託した八王子市高齢者在宅サービスセンター中野を前法人から引き継ぎ、利用率の向上を図りつつ運営を進めたが、赤字の減少は達成したものの黒字化には至らなかった。利用率は向上し增收も達成したが、赤字収支という結果だったことに対し、年間平均介護度が1.6であったことや前法人の50名規模の職員配置を引き継ぐ形となった業務体制などによる人員配置など改善の余地があることが赤字収支の原因といえる。人員の見直しについては、看護師の配置を検討したが、実施は次年度に持ち越す形となった。

また、第二偕楽園ホーム地域密着型特別養護老人ホームでは、通報を受けた八王子市によるヒアリングが実施され、心理的虐待の認定を受けた。この通報に関しては、通報者や内容などは伏せられていることからわからないが、職員からのヒアリングから言葉による虐待の認定があった。このことから職員自身で現場を確認するチェックリストを用いた対策を講じることとなり継続し対応をしている。特別養護老人ホーム偕楽園ホームでも前年度に虐待の通報を受け、ヒアリングが行われた経緯があり、虐待問題に対しては引き続き対応が求められている。

さらに、法人事務局長が心身の不調により職務を退くこととなり、事務局運営の見直しが求められる状況となった。このため、人材育成や業務の効率化を進めるとともに、法人全体のさらなる改善と地域社会への貢献が必要とされている。

これらのこと加え、新規事業の八王子市高齢者在宅センター中野をはじめとして、不採算事業があることや、潤沢な人員を抱えている状況下ではないにもかかわらず人件費の高騰、残業代の高騰など現場における課題といえる。

また、介護サービスにおける生産性向上を図ることを目的に、業務効率の向上、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目的として、5S活動に取り組んだ総合的な結果として、人件費率は1.3%増の72.1%となり、人材の確保は十分ではないにもかかわらず人件費が高騰しており人材の確保に課題を残す形となった。

離職率は4.08%増の12.75%となり改善には至らず、要因の一つとして離職同行調査の集計より「心身の不調」を理由とすることに増加がみられた。現在、健康診断やストレスチェックを行い、心身の

不調が確認されたとき産業医につなぐようにしている。職員の健康を守るためにには、体調不良になる前の予防策を取り、職場環境を改善することが重要なことから、ハラスマント研修や早期発見をするためのメンタルヘルスのセルフチェックアなど検討していく必要がある。また、公益財団法人介護労働安定センターの令和5（2023）年度介護労働実態調査によると介護職員の離職率は13.1%と離職率は低下傾向にあるほか、定着促進には職場の人間関係が大きな鍵とされており、職場環境の整備は重要といえる。令和4年（2022）年度からの離職率ならびに人件費率においての推移は以下のとおりである。

年度	離職率（法人）	人件費率	備考
令和4（2022）年度	11.05%	68.9%	
令和5（2023）年度	8.67%	70.8%	
令和6（2024）年度	12.75%	72.1%	

こうした中、決算においては、事業活動資金収支差額は87,695,700円、当期活動増減差額は24,468,541円、当期資金収支差額においても施設整備積立金を除くと36,056,867円といった結果であった。

前々年度の令和4（2022）年度は、事業別収益では介護保険事業収益、保育事業収益、医療事業収益、サービス付き高齢者向け住宅事業収益の全てにおいて最高益となったが、これと比較し令和6（2024）年度の当期活動増減差額では約45%減となった。そのため、令和7（2025）年度では、再度職員一丸になり収益をあげる1年にしていくこととする。

平成26（2014）年度からの事業活動資金収支差額、当期資金収支差額、当期活動増減差額においての推移は以下のとおりである。

年度	事業活動資金 収支差額	当期資金収支 差額	当期活動増減 差額	備考
平成26（2014）年度	14,481,266円	△56,785,097円	△21,359,272円	偕楽園ホーム大規模修繕
平成27（2015）年度	5,409,005円	4,880,866円	1,049,730円	
平成28（2016）年度	84,898,750円	24,247,331円	47,548,258円	
平成29（2017）年度	86,025,401円	47,526,715円	50,414,257円	
平成30（2018）年度	11,347,568円	31,559,664円	△66,637,451円	第二偕楽園ホーム事業開始
令和元（2019）年度	112,228,431円	55,281,341円	40,026,170円	
令和2（2020）年度	89,043,908円	70,128,185円	6,328,325円	地域包括支援センター受託
令和3（2021）年度	92,819,702円	46,976,416円	23,503,406円	
令和4（2022）年度	120,624,441円	46,150,792円	53,388,173円	
令和5（2023）年度	54,386,000円	9,200,000円	21,871,214円	
令和6（2024）年度	87,695,700円	36,056,867円	24,468,541円	八王子市高齢者在宅サービ スセンター中野受託

ここに、令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日の事業実績を取りまとめたので報告する。おわりに、本事業報告にあたり、社会福祉法人一誠会の事業に対して、多方面から多大なるご協力とご理解、ご支援をいただいたことに対し、ここに改めてお礼を申し上げたい。

以上

令和7年5月31日

常務理事 統括施設長 水野敬生

社会福祉法人一誠会理事会実績

II. 各事業実績報告

1 法人の運営

決議事項						
開催年月日	開催通知方法	出席者数	定足数	委任	議案	事前送付資料
第4回 令和7年3月16日	書面	5	4	0	○ 書面	<p>①第1号議案 令和6年度社会福祉法人一誠会 最終補正予算(案)について ②第2号議案 令和7年度社会福祉法人一誠会事業計画(案)について ③第3号議案 令和7年度社会福祉法人一誠会 当初予算(案)について ④第4号議案 役員等報酬規程改訂について ⑤第5号議案 就業規則および給与規程変更(案)について ⑥第6号議案 特別養護老人ホーム偕楽園ホーム運営規程の一部改定について ⑦第7号議案 指定短期入所生活介護（空床型）偕楽園ホーム運営規程の一部改定について ⑧第8号議案 デイサービスセンター初音の杜介護事業運営規程の一部改定について ⑨第9号議案 デイサービスセンター初音の杜介護予防・日常生活新総合事業運営規程の一部改定について ⑩第10号議案 デイサービスセンター初音の杜認知症対応型通所介護事業運営規程の一部改定について ⑪第11号議案 グループホーム初音の杜（指定認知症対応型共同生活介護事業）（指定介護予防認知症対応型介護老人福祉施設第二階楽園ホーム運営規程の一部改定について ⑫第12号議案 地域密着型介護老人福祉施設第二階楽園ホーム運営規程の一部改定について ⑬第13号議案 (介護予防) 短期入所生活介護多機能型居宅介護施設運営規程の一部改定について ⑭第14号議案 第二階楽園ホーム看護小規模付き高齢者向け住宅運営規程の一部改定について ⑮第15号議案 八王子市高齢者在宅サービスセンターの一部改定について ⑯第16号議案 八王子市高齢者在宅サービスセンターの一部改定について ⑰第17号議案 中野介護予防・日常生活新総合事業料金表の一部改定について ⑱第18号議案 令和6年度第4回評議員会審議召集事項の決定について </p>

社会福祉法人一誠会 評議員会実績

	開催年月日	開催通知方法	出席者数	出席者定足数	委任	議案	事前送付資料	決議事項
第1回	令和6年 6月22日	書面	5	4	0	○ 書面	①第1号議案 ②第2号議案 ③第3号議案 ④第4号議案 ⑤第5号議案 ⑥第6号議案	令和5年度社会福祉法人一誠会事業報告(案)の承認について 令和5年度社会福祉法人一誠会計算書類の承認について 令和5年度社会福祉法人一誠会財産目録の承認について 令和5年度社会福祉法人一誠会監事監査報告について 社会福祉充実計画の承認について 令和6年度第1次補正予算(案)について
第2回	令和6年 9月7日	書面	4	4	0	○ 書面	①第1号議案 ②第2号議案	定款変更(案)について 令和6年度第2次補正予算(案)について
第3回	令和6年12月21日	書面	7	4	0	○ 書面	①第1号議案 ②第2号議案	定款変更(案)について 令和6年度第3次補正予算(案)について
第4回	令和7年 3月29日	書面	7	4	0	○ 書面	①第1号議案 ②第2号議案 ③第3号議案	令和6年度社会福祉法人一誠会最終補正予算(案)について 令和7年度社会福祉法人一誠会事業計画(案)について 令和7年度社会福祉法人一誠会当初予算(案)について

社会福祉法人一誠会 苦情解決第三者委員会実績

		開催年月日	開催通知方法	出席者数	出席者数 第三者委員	決議事項
第1回	令和6年5月21日	書面	11	片岡 潮 哲治 委員 萩島 哲治 委員		①社会福祉法人一誠会における苦情解決に関する取り組み ②是正予防苦情集計状況 ③行政報告 ④質疑応答・第三者委員からの助言

2 法人

(1)品質方針について

法人における ISO9001 の認証登録状況

平成 26 年、ISO9001 の認証登録を得るにあたり、法人の運営理念である「安心・安全・愛情」に基づき現在掲げている6つの品質方針を定め、同年 11 月 19 日に特別養護老人ホーム偕楽園ホーム、デイサービスセンター初音の杜、グループホーム初音の杜において ISO9001 の認証登録を得た。

平成 27 年、品質方針の1つである「私たちは社会福祉法人一誠会へ寄せられる貴重なご意見、ご批判などを真摯に受け止め、苦情対応と体制を継続的に改善し、常に成長し、変化し続けながら、さらなるご利用者の満足度の追及と向上を実現する。」との方針に基づき、同年 12 月 12 日、偕楽園ホーム・初音の杜において顧客満足度の向上のための苦情対応マネジメントシステムの国際規格 ISO 10002 の自己適合宣言を行った。

平成 31 年、開設した「訪問介護事業所」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所」「夜間対応型訪問介護事業所」「サテライト型地域密着型特別養護老人ホーム」「短期入所生活介護事業所」「看護小規模多機能型居宅介護支援事業所」「訪問看護ステーション」「企業主導型保育事業」「サービス付き高齢者向け住宅」においても認証登録を得た。

令和 3 年、八王子市から受託した地域包括支援センター事業および介護予防支援事業を実施する地域包括支援センター大和田においても認証登録を得て、地域包括支援センター大和田では、生活支援体制準備事業と認知症地域支援事業も登録範囲に含まれた。

令和4年、居宅介護支援事業所北野も登録範囲に含まれた。令和7年1月29日から1月30日の2日間にわたり、審査機関である日本検査キューエイ株式会社が定期審査を行い、あわせて「八王子市高齢者在宅サービスセンター中野」の新規登録および拡大審査(サーベイランス)を受審した。是正処置依頼書(CAR)兼確認書には次の4つのことが確認された。

先ず第二偕楽園ホームの「眠りSCAN」のアラート見過ごしについて、ルール化されていなく、運用が個々の力量にゆだねられていたことから、修正処置については、眠りスキャン使用手順を定め運用することとした。次に「眠りSCAN」の維持管理が機能について、原因としては修理・補修等依頼書の手順が作成されておらず最後まで誰が責任を持つのかが不明瞭だった。このことについては、修理・補修等依頼書の活用とともに、依頼書の様式も実施状況がわかるよう様式に加えた。次に不適合に対する処置のプロセスが十分有効に機能していません。このことについては、不適合の影響度に応じて仕分けし識別できる仕組みを設ける。重要度に応じた対応(処理内容)を定める。次に機能訓練プロセスに関する運用の計画及び管理が有効に機能していないとされた件は、退院時や評価の記録など要領に加えることとした。次に生産性向上委員会が機能していないことについて、タイムスタディの研修を開催するなど、具体的な加算要件の作成状況を確認することとした。

これらの修正処置も含め、日本検査キューエイ株式会社(JICQA)の審査登録規則に従って実施し、「審査中間報告書」に示す審査目的を達成したとされた。

(2)目標管理について

令和 6 年度事業計画に掲げた法人の品質管理目標の目標管理について、先ず「理事会・評議員会の資料作成スケジュール管理について、サイボウズにて提出日当月になつたら提出日までのアラームを設定するとともに、資料の PDF 化により作成時間を短縮し会議開催 1 週間前に必ず発送するよう周知徹底を図る。」

このことについては、理事会・評議員会・監事監査などの役員会は、社会福祉法により社会福祉法人が適正に実施すべき基本手続きであり、資料の期日内送付と十分な事前説明は、法人運営の透明性と信頼性を支える重要な要素である。しかし令和 5~6 年度にかけては、資料の作成および送付が遅延し、理事・評議員が内容を十分に確認できない事例が継続して発生しており、組織的な進捗管理および責任体制の不備があった。

このことについて、会議資料の送付の遅れが一因にあり、進捗状況を定期的に共有し、問題点を早期に把握する仕組みを作ることとして、関係者が進捗の把握は、毎月経営幹部会議、月に 2 回の品質管理室会議については、関係者が最新の状況を把握しやすくなり、問題が早期に発見される可能性も高めることとして、月に 1 回の予備日を設け確認強化した。

次に「令和 6 年度も定款に従い、年 4 回の理事会ならびに評議員会を開催する。令和 6 年能登半島地震など大規模災害を教訓に、社会福祉連携推進法人一五戸共栄会と連携し相互応援体制のスキームを確立し、期中に職員の相互派遣訓練を実施する。」

このことについては、年度 4 回の理事会ならびに評議員会を開催と、2 月 8 日(土)、合同総合防災訓練を行った。訓練の詳細については、このあとの「BCP に関する評価」に記載した。

次に「令和 5 年度に認定を受けた税額控除対象法人として運用するために、6 月までに税額控除対象法人を説明するチラシを作り、広報誌、ホームページによる情報発信とともに、納涼祭やもちつき大会などの行事にでは毎月のお取引様にもれなく案内状とともに説明案内を送付し、一誠会との結びつきを強く意識するよう働きかける。地域の人々やお取引様の参加、協力のもと、配食サービスや介護予防教室、地域交流会などの収支差額△2,400,000 円を補填すべく、月平均 9 件(年間 100 件)以上の寄付をもらうとともに、年間過去最高であった令和 4 年度寄附金額 1,400,000 円(令和 5 年度は 1,100,000 円予想)を超える 1,500,000 円を令和 6 年度末までに集める。」

このことについては、件数の獲得については年度 124 件あったが、役員は税制優遇法人にカウントされないので、支援先や活動内容が広く知られていないと、寄付する意識が生まれにくく 104 件となった。このことを受け、税額控除制度の仕組みや寄附の意義をわかりやすくまとめたチラシを作成する。これを法人の広報誌やホームページに掲載し、広く周知する。広報誌では、寄附の活用事例や寄附者の声を紹介するなどの活動が求められる。

次に「偕楽園ホームの施設建て替え計画案、大規模修繕計画案など検討され、各種補助金や、自己資金の確保も必要とされるため、施設整備積立金の令和 5 年度目標額と同様に、法人全体の資金収支差額 60,000 千円を目標額に定め、管理部長が毎月、経過を確認し、当期資金収支差額を第 1 四半期 10,000 千円、第 2 四半期 20,000 千円、第 3 四半期 45,000 千円、当期資金収支差額を 60,000 千円とする。別に、令和 6 年度以降の施設整備積立金の目標額も 30,000 千円とする。」

このことについては、前年度比の各拠点の事業活動における収益では、偕楽園ホームの介護保険事業収益は、令和 5 年度約 786,853 千円に対し、令和 6 年度約 813,963 千円、第二偕楽園

ホームの介護保険事業収益は、令和5年度約340,893千円に対し、令和6年度約340,181千円、保育事業収益は、令和5年度約24,831千円に対し、令和6年度約24,753千円、医療事業収益は、令和5年度約13,829千円に対し、令和6年度約10,381千円、サービス高齢者向け住宅事業収益は、令和5年度約21,810千円に対し、令和6年度約23,009千円、八王子市地域包括支援センター大和田の介護保険事業収益は、令和5年度約59,379千円に対し、令和6年度約61,485千円、別に、八王子市高齢者在宅サービスセンター中野の介護保険事業収益に、令和6年度約75,737千円を加え、法人全体のサービス活動収益計では、令和5年度約1,244,751千円に対し、令和6年度約1,346,428千円と過去最高の収益となった。

しかしながら、人件費、事業費、事務費を含むサービス活動費用計は、令和5年度約1,223,949千円に対し、令和6年度約1,324,332千円と増加した結果、令和5年度施設整備積立金16,000,000円に対し、令和6年度施設整備積立金25,000,000円を新たに積み立てた。別に法人全体の当期活動増減差額は、約24,000千円となった。

将来的な施設整備に備え安定した財源の確保は、訪問系事業では利用者数を増やし、その他の事業も利用率の改善などから得るため、チラシの作成、地元のイベント、ホームページなどを活用してサービスの知名度を上げるために、特定のエリアに焦点を当てた広告を展開し、地域の住民にサービスを認知してもらえるような広報活動を行うこととした。

(3)ICTの活用状況について

生産性向上委員会を開催し、ICT・介護ロボットを導入し、介護現場の生産性向上による作業時間の短縮と機器導入による職場環境整備を推進し、イメージアップによる求人採用活動の活性化に結び付けることを計画した。

ICT・介護ロボット補助金など助成金を活用した機器導入による残業時間の削減、購入の部分は各事業で入浴機器をはじめとしたインカム(骨伝導タイプ)、ラボット、防犯カメラ(リース)など導入を予定していたが、補助金申請通らなかつたことや環境整備が課題になり導入に至らなかつた。

生産性の向上や人材の確保などを検討する際、介護の現場における、腰痛予防や利用者の拘縮予防などの課題をリフト機器を使用した移乗介助など、補助金を活用しながら考えていく必要がある。

次に次世代を見据えた新たなICT機器・介護ロボットを導入するため、導入施設の見学ならびに勉強会を開催し、令和7年度導入の機種選定を進めることや、グループウェア(サイボウズ)の活用促進による業務省力化をはじめとした電子認証による会議録、稟議書などのデジタル化推進、会議資料・議事録・回覧物などのペーパーレス化、推進ライプラリの活用による保存文書の整理について、年度途中で担当者が不在となつたことも影響し検討していくことができなかつた。

生産性向上推進体制加算の算定について、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム、グループホームの3事業でⅡの加算算定をしたが、Ⅰの算定には、機器の購入や生産性向上を図る取り組みの実践が必要であることから次年度の課題として残された。

(4)中長期計画について

中長期経営計画では「①偕楽園ホームの施設建て替え計画として、移転先の土地について、前年度より引き続き宮下町・加住町で進められている区画整理事業に参画するとともに、他の候

補となる国有地・都(市)有地・私有地などの情報収集を行うため、関係省庁への訪問や建設会社他業者とのコンタクトを行う。また、施設整備補助事業について、八王子市からの建て替え意向調査にて令和 10 年度事業としての建て替え意向を示すとともに、市のヒアリングを受けその必要性についてプレゼンテーションを行う。その上で想定される事業の全体像を明らかにし、総事業費を算定する。資金については、施設整備補助金・借入金・自己資金などそれぞれに積算の上、令和 6 年度時点での積立目標値を 10 月末までに積算し、建て替え資金の積み立て目標額を設定し実行する。」

このことについては、偕楽園ホームは開設 40 年を超える、施設の老朽化が進んでいるため、施設の建て替え計画案など検討が必要である。しかし、建築にコストも上昇により、施設整備に向けた資金計画の見直しが求められ、施設整備積立金の年度目標額を現行の 30,000,000 円から、令和 7 年度以降は 45,000,000 万円に増額していくことが課題とされた。

次に「②初音の杜大規模修繕計画として、前年度策定した「短期・中長期修繕計画書」をベースとして、初音の杜の入浴設備、配管、外壁、空調などの大規模修繕に向け、特にライフラインを中心として実行年度と資金繰りについて、法人事務局長と施設長、居宅サービス部長、通所介護、グループホームの課長で「初音の杜大規模修繕ワーキングチーム」を構成し、修繕計画を順次実行する。ただし現時点で大規模修繕の補助事業がないため、築年数や資金繰りを十分に配慮しながら費用対効果を鑑み行うこととする。」

のことについては、初音の杜の大規模修繕については、向こう 10 年間は大規模修繕の必要はない判断されている。一方、劣化状況を定期的に評価することが重要になる。特にライフライン関連の設備が安定しているかどうか、継続的なメンテナンスで適切に対応できるかが鍵となる。資金繰りの調整も考慮しながら、今後も長期的な施設運営の視点で計画を進める必要があることが課題とされた。

(5)各種補助金等の申請状況について

前年度に続き、東京都では、物価高騰の影響を受ける高齢者施設を支援するため、この支援金は、東京都内の特別養護老人ホームなどの食費・光熱費に対する補助を目的とした「令和 6 年度特別養護老人ホーム等物価高騰緊急対策支援金」に 1,321,308 円。さらに、八王子市内に所在する介護サービス事業所等に対して、物価高騰等の影響を受けた介護サービス事業所の負担軽減を図り、安定的で持続可能な事業運営に資するため、当該事業所の負担軽減を図り、もって介護サービス等の質の維持を図ることを目的とした「令和 6 年度(2024 年度)八王子市介護サービス事業所等物価高騰緊急対応支援金」については、令和 7 年度の申請の受付とされた。

なお、「生計困難者等に対する利用者負担軽減事業に関する補助金」「八王子市私立学校等結核予防費補助金」「令和 6 年度東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業」「令和 6 年(2024 年)度八王子市地域密着型特別養護老人ホーム 運営費補助金」、令和 5 年度努力・実績ポイント 62 ポイントに対し、令和 6 年度努力・実績ポイント 63 ポイントとされサービス提供体制・サービスの向上・地域社会への貢献などの評価とされた「令和 6 年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金」「八王子市への第三者評価受審費補助金請求」なども例年同様の申請を行った。

別に、介護職員や介護支援専門員の処遇改善を目的とした支援制度については、東京都内

の介護保険サービス事業所が、対象職員に「居住支援特別手当」を支給する場合、その経費に對して補助として、令和6年度東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業補助金については、合計18,503,000円の交付決定があった。

(6)社会福祉連携推進法人一五戸共栄会について

「令和4年11月4日に東京都より認定された「社会福祉連携推進法人共栄会」について、令和6年度はその具体的な活動内容について社員間で協議を重ね、連携の方針となる方向性を定め、活動の基礎を固めてゆくとともに、必要となる規程類の整備を進め、下記スケジュールに従いガバナンスの強化を推進する。」

このことについては、令和6年5月14日(火) 令和5年度決算監査、令和6年5月25日(土) 第1回理事会、令和6年6月29日(土) 社員総会、令和7年3月8日(土) 第2回理事会、令和6年度当初の計画のとおり開催した。役員等報酬規程の改定、経理規程の改定、旅費規程の改定を行った。

(7)品質目標について

令和6年度の「福祉サービス第三者評価」では、偕楽園ホームにおいて、次の3つの改善が期待された。

1) 「担当者会議に、コロナ災い移行家族が参加できていないため、参加できるような仕組みづくりに期待したい」

施設サービス計画書を作成する際の担当者会議において、コロナ禍以前は家族の参加率は90%を超えていたが、現在参加が難しくなっている。今まででは家族の希望する日程に合わせて職員の勤務調整等を行い対応していたが、人員配置上対応が難しい現状にある。オンライン等も視野に入れた業務の負担軽減及び家族も参加しやすい双方にメリットのある方法が必要にある。

このことについては、施設サービス計画書を作成する際の担当者会議において、意思決定の効率化や情報共有の円滑化につなげることとして、また、業務負担の軽減と家族の参加しやすさの両方を考慮した有効な選択肢として、令和7年度オンライン会議の導入を予定した。

2) 「一般職員やパート職員などに対しても ISO について研修・周知して、施設内にその普及と理解の強化を進める取り組みを期待したい」

施設は IS9001・10002 の規格要求事項への適合と、適切な品質マネジメント及び苦情マネジメントの運用が求められ、部署ごとに利用者に提供する介護サービスについて内部監査を継続して行い評価改善に努めている。サービスの質向上に繋がっていると評価されているが、現場では毎月提出することとなっているアクションプランの提出が遅れることが多いため、進捗状況の確認方法を検討する必要が生じている。

このことについては、定期的な進捗報告として、月次での進捗報告を設定し、関係者が進捗の把握は、毎月経営幹部会議、月に 2 回の品質管理室会議については、関係者が最新の状況を把握しやすくなり、問題が早期に発見される可能性も高めることとして、月に 1 回の予備日を設け確認強化した。

3)「利用者支援にあたり、家族との信頼関係構築も重要となるため、「家族懇談会」を再開して、要望等を聴き取り、親睦を深められたい」

家族が、来園の際には、利用者の身体状況の変化や居室の変更等、近況を報告している。変化があった際に、家族に連絡し、施設と家族の信頼関係が構築されている。コロナ禍後から「家族懇談会」が開催できていない。「家族懇談会」の実施は、家族の考え方や支援について聞く機会となり、家族は安心できるとともに、職員は家族の様子を知ることができる。

このことについては、利用者の身体状況の変化については、令和6年度の家族アンケートの結果をもとに、身体状況の変化は改善機会も連絡することとした。「家族懇談会」については、令和7年7月の開催を予定した。

令和6年度の「福祉サービス第三者評価」では、グループホーム初音の杜において、次の2つの改善が期待された。

1)「入居者の尊厳や権利を守る支援ができるように、虐待や不適切ケアを発生させない組織的な取り組みを検討されたい」

法人で年4回虐待の目チェックシートを活用し、職員の気づきの目を持つようにしている。

また、既存の内容を独自にアレンジし、さらに深い理解につながるようにしている。特に、接遇は慣れ親しんだ関係性あれば、どうしてもやや碎けたコミュニケーションとなりやすくなる。法人としては、第三者から見たときどうなのかという視点を持つことを重要としている。

今後は、ホスピタリティ向上委員会等を中心に、是正予防処置報告書を踏まえ、虐待や不適切ケアが起きることの抑止力となるための対応策について検討することを期待したい。

このことについて、利用者の尊厳や権利を意識し、不適切介護を抑止する取り組みとして、知識の獲得のためにオンライン研修も含め、毎月の研修計画を定めている。

2)「健康状態に対する支援や日常生活動作に関する支援の他、ケアプランに本人の役割に対する支援内容を記載することを期待したい」

職員は、利用者同士がお互いに助け合いながら、日常生活を遅れるように配慮している。一方で、個々の支援は移動・排泄・入浴・食事など、日常生活動作への介入が主となることが多いため、ケアプランにおいても、健康状態に関する支援と日常生活動作に対する項目に重点が置かれている。

その中にあっても、職員は利用者同士が関わり合って生活できるように、行事やレクリエーション活動を実施している。さらに、家事活動を通して、役割の提供を行っている。今後は、ケアプランのなかにも、これら本人の役割に対する支援内容を明記することを期待したい。

このことについて、入居者の有する能力が家事活動ならびに日常生活で発揮されるよう支援を行うものとして、居室担当を中心として個別に行える活動を検討・実施し、その内容はタイムスケジュール表ならびにケアプランに明記することとした。

令和6年度の「福祉サービス第三者評価」では、第二偕楽園ホームにおいて、次の3つの改善が期待された。

1)「さらなるサービスの質向上に向けて、ユニットミーティング等、顔を合わせて、情報共有を図る機会の創出に期待したい

介護日誌や議事録等における日々の記録に関しては業務支援システム等を通じて共有している。現在、システム上の共有はできているが、ユニット会議等、顔を見て、職員間で話し合い、意見を伝え合う機会が少ないように見受けられる。シフトの体制で会議を持つのが難しい状況であるが、職員間のコミュニケーションはサービスの質の改善、向上には大変重要である。自分の持ち場だけでなく、他のユニットのことも気遣うようになれるため、今後は、コミュニケーションを図りながら、情報共有し、意見を交換できる機会の創出に期待したい。

このことについて、外国人の職員や多職種で協力し合える組織風土を熟成するための仕組みを検討し定着させていきます。まず、職員意見をくみ上げる仕組みとして意見箱を活用し、法人への議題提案につなげ改善を図る仕組みとして運用していくことから、改善を積み重ねていきたい。

2)「一般職員やパート職員などに対しても ISO について研修・周知して、施設内にその普及と理解の強化を進める取り組みを期待したい

施設は ISO9001・10002 の規格要求事項への適合と適切な品質マネジメント及び苦情マネジメントの運用が求められ、部署ごとに利用者に提供する介護サービスについて内部監査を継続して行い評価改善に努めている。サービスの質の向上に繋がっていると評価されているが、現場では毎月提出することになっているアクションプランの提出が遅れることが多いため、進捗状況の確認方法を検討する必要が生じている。一般職員やパート職員などに対しても ISO について研修・周知し、事業所内の普及と理解の強化を進められたい。

このことについて、研修の項目の中に、再度 ISO についての項目を盛り込み、組織の中で ISO を活かすことができるよう研修の実施および啓蒙について検討し、進めていく。

3)「福祉機器の管理や車椅子の清掃などを実施できるような仕組みを整えていくことが望まれる。

車椅子を使用する利用者が多く、館内を安全に移動できるようにするために、職員は常に環境整備に努めており、不要なものを通路に置かないように配慮している。また車椅子を自力で操作できるように、筒状の物を使い、ストッパーを操作しやすくなるように工夫している。一方車椅子の清掃は、各ユニットの職員が利用者の使用していない時間帯に実施しているが現在は、一元管理がなされていない。今後は車いすを含め、福祉機器に関する管理台帳を作成して、清掃について定期的に実施できるような仕組みを作り、整えていくことが望まれる。

このことについて、福祉機器に関する管理台帳を作成し、管理を行うことができるよう検討していく。車いすの清掃についても、5S の環境整備の中で、仕組みを設け、きれいな状態を維持できるスケジュールも併せて検討していく

令和 6 年度の「福祉サービス第三者評価」では、第二偕楽園ホーム看護多機能型居宅介護において、次の 2 つの改善が期待された。

1)「利用者のプライバシーに配慮した、宿泊場所の環境整備や安全確保に基づく、通いスペースの環境を行うことが望まれる。

第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所は通いのフロアと宿泊スペースは廊下で仕切られ、全室個室でこそあるものの、宿泊者の多くは長期宿泊されることもあり、持参された排泄物品などについては特に利用者の羞恥心やプライバシーへの配慮が不可欠となる。宿泊ス

ベースは利用者の有無を問わず、利用中は原則扉を閉めることでプライバシーを確保し、また利用者および職員等が移動する際の動線にも配慮した物品等の配置を行うことにより、利用者の安全確保、職員の業務効率向上を推進することを改善策とする。

2)「月極めの定額制サービスであっても、居宅サービス計画に基づき実施されるよう、利用者・家族に事業の理解・促進を図ることに期待したい。

看護小規模多機能型居宅介護は「通い」「宿泊」「訪問」「看護」サービスを利用者のニーズ、デマンドに応じ一體的に提供する、月極め定額制の介護事業である。

しかし第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所においてレスパイトを望む声は根強く、令和6年度の宿泊サービスの利用率は86.79%と、他のサービスと比較しても群を抜いている。登録者には医療依存度の高い利用者も多く、自然在宅生活で家族にかかる介護負担が高いことは言うまでもないが、本来同事業に求められる役割は「介護と看護が密接に連携し、利用者が病院や施設ではなく、自宅で安心して暮らせるようサポートすること」にある。契約段階から事業の持つ役割を利用者および家族に分かりやすく説明し、安心安全な在宅生活を維持できるよう、より個別的なプランニングを図ることを改善策とする。

令和6年度の「福祉サービス第三者評価」では、企業主導型保育園かいらくえんにおいて、次の2つの改善が期待された。

1)「開設時より大きな事故が起きていないため、実際の動きをロールプレイするなどが期待される。

改善として、毎年事故防止や感染症予防などについて園内研修などを実施しているが、万が一の場合に備えて法人や救急隊との連携についてはロールプレイや実際に指導を要請するなどを次年度計画に加えた。

2)「子供が集中して遊びこめるように、子どもの集団に合わせた保育室内の環境設定の工夫に期待したい。

改善として、異年齢保育で活動している中で、それぞれの発達段階に合わせた遊びが保証されるように、時には遊ぶ場所を分けて、遊びが発展させられるように設定や職員配置などを工夫していくようにした。

(8)外部審査

1) 福祉サービス第三者評価

令和6年度は、特定非営利活動法人 福祉経営ネットワークにより、特別養護老人ホーム偕楽園ホーム、グループホーム初音の杜、地域密着型特別養護老人ホーム第二偕楽園ホーム、第二偕楽園ホーム看護小規模多機能居宅介護事業所、企業主導型保育所かいらくえんについて福祉サービス第三者評価を受審した。評価については、前の「(7)品質目標について」に記載した。

2) ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015 のサーベイランス

(株)日本検査キュエイにより、令和6年8月13日～令和6年8月15日変更審査と令和7年1月29日～令和7年1月30日に受審した。特筆すべき改善点については「(1)品質方針について」に記載した。

登録組織：社会福祉法人一誠会 法人本部

所 在 地: 東京都八王子市宮下町 983 番地

適用規格: ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015

登録範囲: 社会福祉事業における各種サービスの計画策定及びサービス提供

- ① 法人内管理業務
- ② 入所における入浴、排泄、食事などの介護や機能訓練サービス
- ③ (介護予防)短期入所における入浴、排泄、食事などの介護や機能訓練サービス
- ④ 介護保険サービスを利用するため必要なケアプランを作成・管理及び居宅介護支援事業所北野への支援業務
- ⑤ 介護予防を含めた食事、入浴など日常生活上の支援、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービスの日帰り提供
- ⑥ 介護予防を含めた認知症利用者の食事、入浴など日常生活の支援や、機能訓練のサービス提供
- ⑦ 訪問(予防)介護サービス及び訪問介護事業所北野への支援業務
- ⑧ 24時間いつでもつながり随時対応可能な訪問介護サービス
- ⑨ 夜間の時間帯に提供される訪問サービス
- ⑩ 入所における入浴、排泄、食事などの介護サービス
- ⑪ (介護予防)短期入所における入浴、排泄、食事などの介護サービス
- ⑫ 通い・宿泊・訪問などの各種サービスにおける入浴、排泄、食事などの介護
- ⑬ かかりつけ医の指示に基づき看護師が居宅を訪問し症状に合わせた看護サービス
- ⑭ 女性の仕事と子育ての両立を支援するための保育サービス
- ⑮ 独立した住居と必要に応じた安否確認・見守り、生活相談、食事サービスを提供
- ⑯ 配食サービス
- ⑰ 八王子市受託における地域包括支援センター事業及び介護予防支援事業及び生活支援体制準備事業及び認知症地域支援事業
- ⑱ 八王子市受託における介護予防を含めた食事、入浴など日常生活上の支援、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービスの日帰り提供
- ⑲ 八王子市受託における独立した住居への必要に応じた安否確認・見守り、生活相談、食事サービスを提供

登録範囲に含まれる事業所:

法人本部:東京都八王子市宮下町983番地

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 偕楽園ホーム:東京都八王子市宮下町983番地

短期入所生活介護事業 偕楽園ホーム:東京都八王子市宮下町983番地

居宅介護支援事業社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム 居宅介護支援事業所:東京都八王子市宮下町983番地

地域密着型通所介護事業 (デイサービス) 及び認知症対応型通所介護デイサービス 初音の杜:東京都八王子市宮下町988番地

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 事業 グループホーム初音の杜:東京都八王子市宮下町988番地

訪問介護事業 偕楽園ホーム 訪問介護事業所:東京都八王子市宮下町983番地

定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業 偕楽園ホーム 定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業所:東京都八王子市宮下町983番地

夜間対応型訪問介護事業 偕楽園ホーム 夜間対応型訪問介護事業所:東京都八王子市宮下町983番地

サテラ仆型地域密着型特別養護老人ホーム 第二偕楽園ホーム:東京都八王子市加住町1丁目18番地

短期入所生活介護事業 第二偕楽園ホーム 短期入所生活介護事業所:東京都八王子市加住町1丁目18番地

(介護予防) 看護小規模多機能型居宅介護事業、第二偕楽園ホーム 看護小規模多機能型居宅介護事業所:東京都八王子市加住町1丁目18番地

訪問看護事業 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション:東京都八王子市加住町1丁目18番地

企業主導型保育事業 第二偕楽園ホーム 企業主導型保育所 かいらくえん:東京都八王子市加住町1丁目18番地

サービス付き高齢者向け住宅 第二偕楽園ホーム:東京都八王子市加住町1丁目18番地

地域公益活動配食サービス事業 偕楽園ホーム 配食サービス:東京都八王子市宮下町983番地

地域包括支援センター大和田:東京都八王子市大和田町4丁目5-4 グローイングシティ大和田JOO2号室

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野:東京都八王子市中野山王3丁目17番地2号

八王子市高齢者集合住宅生活援助業務(シルバービア):東京都八王子市中野山王3丁目17番地2号

登録番号:4655

初回登録日:2014年11月20日

有効期限:2026年11月19日

(9)実施指導の状況について

令和6年度における実地指導については、以下のとおりである。

6月3日、八王子市長 初宿和夫より企業主導型保育所かいらくえん認可外保育施設指導検査の結果通知が届いた。令和6年(2024年)5月8日付6ハ福指第232号に基づき実施した指導検査について、指摘する事項は認められなかった。

6月14日、特別養護老人ホーム偕楽園ホームに対し、八王子市より高齢者虐待に関する調査結果及び高齢者虐待防止に向けた提言が通知された。調査は「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」第24条に基づき、令和6年(2024年)3月6日に実施された。

調査結果として、虐待と認定する具体的な事実は確認されなかった。一方で、聞き取り調査において「職員のリスク管理の能力が下がっていることから声掛けや介護が不適切になっている。」との指摘があった。このため、市主催の虐待防止研修への参加や、施設内における虐待防止研修の実施を通じた職員教育環境の改善が求められた。

また、職員体制の不備により、業務の余裕が失われ、虐待リスクが高まっているとの懸念も示

され、法人全体での職員体制の改善が提言された。さらに、全職員への本通知の周知が求められた。

このことについては、改善策として、以下のような対策を考える。最新の介護技術や安全対策を職員に習得してもらうような Web での研修も含めた研修の推進とチーム内で情報を共有し、互いに助け合いながらリスク管理の意識を高める。

6月20日、第二偕楽園ホームに対し、八王子市長 初宿和夫より高齢者虐待に関する調査結果通知が届いた。令和6年(2024年)4月18日に実施された調査の結果心理的虐待が認定された。

複数の職員から「大声での暴言」「不適切な言葉遣い」などの証言があり、利用者が委縮し、恐怖を感じている様子が確認された。

市からは以下の提言がなされた。

- (1)職員に対して、市が主催の高齢者虐待防止研修に参加への参加を促すこと。
- (2)施設内において継続的に虐待防止に関する研修を行うこと。

また、改善結果を通知受領後30日以内に報告することが求められた。通知内容は、全職員に周知し、判断結果は高齢者虐待防止法第22条第1項に基づき東京都に報告される。

7月12日、八王子市に第二偕楽園ホームの高齢者虐待に関する次の改善報告を起案した。市の高齢者虐待防止研修の受講は、Webでの受講も含め、第二特養職員全員申し込みを行った。あわせてWebで受講できる高齢者虐待防止研修を全職員で受講した。虐待の芽チェックリスト活用と毎週、管理監督者(役職者)の当番制によるユニットの巡回と職員の面接の実施を行うこととした。

10月25日、公益財団法人児童育成協会より企業主導型保育所かいらくえんに立入調査の結果が届いた。令和6年10月2日に実施された調査の結果、改善を要する事項は認められなかった。引き続き、利用乳幼児の安全の確保と適正な施設運営に努めるよう依頼された。

1月14日、八王子市福祉部 指導監査課 社会福祉法人認可監督担当より、社会福祉法人指導監査の実施結果に関する通知が届いた。令和6年12月10日に実施された一般指導監査において、以下の改善事項が認められた。

- 1.法人運営に関して、定款変更について評議員会の決議が成立しているにもかかわらず、所轄庁の認可を受ける手続が行われていなかった。定款変更は、所轄庁の認可をもって効力を生じるものであり、今後は速やかな対応が求められる。
- 2.理事の報酬等について、定款に定めがなく、かつ評議員会の決議によても定められていなかった。理事の報酬は、評議員会の決議をもって定めが必要であり適正な運用を図るべきである。
- 3.監事の報酬等等についても、理事と同様に定款に定めがなく、評議員会の決議による定めもなかった。監事の報酬も評議員会の決議により定めることが求められる。
- 4.社会福祉事業に関して、指定介護老人福祉施設に帰属する収入を、法令・通知上認められていない使途(法人外への寄付)に充当していた。今後は収入の使途について法令等に則った適正な運用が求められた。

これらの指摘を踏まえ、法人は速やかに必要な改善を実施し、市へ報告することが求められる。

このことについては次の改善計画を八王子市に提出した。所轄庁への届け出の必要な定款については、速やかに届出を行うこととした。令和6年度第4回の理事会および評議員会におい

て、「各年度の総額が840,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。」と定款変更の議案とし、決議した。社会福祉事業の収入をお祝い金の寄贈とした使途に充てないこととした。

(10) 地域貢献活動について

1)配食サービス

安否確認や利用者の精神的支えとなる配食サービスは、定期巡回・隨時対応型訪問介護看護や訪問介護の利用者からも依頼されるなど、当法人の地域包括ケア体制の一翼を担うサービスとして重要性を増してきている。

提供数については、減塩食、糖尿病食、刻み食、手渡しでの見守りサポートも行い、令和5年度 7,627 食に対し、令和6年度と 7,770 食となった。

2)防災拠点として

地域防災体制の強化に向け、消防団への職員参加に継続から、第二偕楽園ホームでは、あらたに2名が加住地区の消防団に迎えられ、地域貢献だけでなく、防災知識の習得や新しい人脈を築けるようなことも期待される。また、地域住民参加による介護体験や介護の担い手の育成機会の提供など、災害時に備えた福祉支援体制づくりの強化と、福祉サービスを充実させる環境整備に力を入れていく必要がある。

このことについては、社会福祉法人一誠会・社会福祉法人五常会・社会福祉法人戸井福祉会、3法人間の「災害緊急時における相互支援協定」締結のもと、緊急の物資援助・職員派遣・避難所の提供など、法人同士の交流を深め、各法人がそれぞれの地域においてさらなる地域福祉への貢献に寄与する体制を整備し、令和6年2月8日(土)、社会福祉連携推進法人一五戸共栄会の合同防災訓練では、電気・通信、ガス、上下水道すべて使用不可など想定した防災訓練では、プロパンガスや食器を洗う必要もなく、調理の手間も簡略化でき、また運びやすい非常食の有用性も確認した。

3)BCPに関連した評価

先ず4月23日(火)、令和6年度 総合防災訓練は、台風が接近し、4月22日(月)夜遅くから火曜日明け方にかけて、大雨警報(浸水害・土砂災害)を想定して行った。

次に6月25日(火)、COVID19 対応訓練では、受診先の利用者1名、新型コロナウイルスが確認され、当該利用者は入院した。このことを受けて、災害対策本部を1階会議室に設置開設した。

このことから、感染症対策も含めて確認する機会を得て、災害発生時の行動力の可視化を促す「見える化訓練」を通じて、BCPにおける課題を抽出すること、自然災害、感染症対策、事業継続力の強化が必要とされた。7月5日(金)、自衛消防訓練審査会は、偕楽園ホームは、新型コロナ感染の感染予防期間におかれ、出場を辞退となつたが、第二偕楽園ホームは二号消火栓の操法に出場した。

災害対策本部会議では、①継続すべき業務の確認は、通常時と同様に継続すべき業務の確認 食事、排泄、与薬、医療的ケア、清拭など②感染予防・感染拡大防止に利用者家族などへの各種情報提供、空間的分離のための部屋割り変更、施設内の消毒/感染物の処理、

来所者の体温測定、特定接種/集団接種対応など③休止・延期できる業務の確認を入浴、リハビリテーションなど 通所介護事業所、短期入所生活介護 余暇活動・レクリエーション・行事など 生活業務 1 清掃・シーツ交換・居室整理・衣類交換・衣類洗濯などの確認を行った。

7月19日(金)、IP無線機の通信訓練の実施に伴う避難所開設の確認を行った。台風10号の接近に伴い、災害発生時に、市と施設との間の連絡を円滑に出来るように、各種通信手段が遮断されることを想定し、偕楽園ホーム・第二偕楽園ホーム拠点は、IP無線機を開局した。

これらの各種訓練では、被害状況の確認は市と施設間の連絡を円滑にするため、避難所運営マニュアルの「様式2のチェックシート」および「介護サービス情報の公表」に基づいた報告手順を活用し、実践的な訓練を実施することが有効とされた。

4) 楽らくサロン

令和5年度45回659名に対し、令和6年度36回616名の参加とパーソナルトレーニングは、理学療法士に庶務係の職員を加え、会場を第二偕楽園ホームとして、ウォーキングなどの有酸素運動、トレーニングマシンなどを活用や、自重を使ったエクササイズなどの筋力トレーニング、地域住民を対象としたパワーリハに令和6年度7回35名の参加があった。

5) 地域交流会

月1回の土曜日の講座を、知識やスキルを共有することとした地域の人々の交流として、令和5年度12回208名の参加に対し、令和6年度11回220名の参加があった。

6) 新設事業

次の事業の受託や新規事業を開設した。

令和5年12月19日付の八王子市から内示を得て、指定年月日を令和6年4月1日とする指定通知を受けた八王子市高齢者在宅サービスセンター中野については、八王子市高齢者集合住宅生活援助業務(シルバーピア)と合わせて、高齢者の方々が自立した生活を送れるよう支援を続けた。

(11) 収支状況

令和6年度事業活動計算の拠点区分ごとの当期活動増減差額は以下のとおりとなった。

- (1)本部 : 469,591円の黒字
- (2)偕楽園ホーム : 29,532,578円の黒字
- (3)第二偕楽園ホーム : 9,327,314円の黒字
- (4)八王子市高齢者在宅サービスセンター中野 : ▲14,308,018円の赤字
- (5)サービス付き高齢者向け住宅 : ▲1,536,693円の赤字
- (6)八王子市地域包括支援センター大和田 : ▲983,769円の赤字

これらの収支結果は、各拠点が掲げた経営目標および運営方針に基づく運営実績を反映したものである。黒字計上となった拠点においては、介護報酬改定への柔軟な対応、人員配置の最適化、利用率の安定化などが寄与したと分析している。一方、赤字となった拠点においては、年度途中での新規開設による初期費用の負担や利用率の未設定、また定員に対する実稼働率の低迷が主な要因であると考えられる。

令和7年度においては、収支が安定している拠点において引き続き費用対効果の高い運営

を継続しつつ、赤字を計上した拠点については、利用促進策や経費の見直し、補助制度の活用などを通じて早期の収支均衡を図る必要がある。

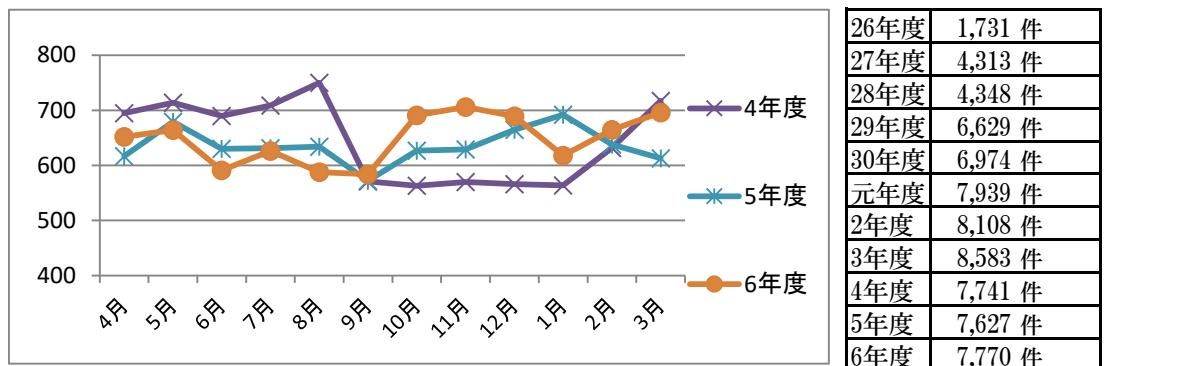
3 地域貢献事業

(1) 開催状況 地域交流会

月	日	テーマ	講師（敬称略）	人数
4	6	「スキンケアの基本」～お肌は最大の防御器官です～	地域包括支援センター大和田 伊藤美智子 看護師	12
5	4	「介護アロマ」～香りに癒されながらハンドマッサージを体験しませんかパート5～	介護アロマコーディネーター 森野ひふみ氏	16
6	8	「夏を元気に過ごす健康レシピ」	社会福祉法人 一誠会 管理栄 養士 森 由香里	21
8	6	「看取り介護施設で看取ること在宅で看取ること」	偕楽園ホーム、施設長 鷹野 賢 一	10
9	14	「在宅医療の現状」	社会医療法人社団 愛有会 三 愛クリニック・さんあい介護医療院 看護部長 川戸 美智子 氏	22
10	19	「わかりやすい認知症への理解XII」	社会福祉法人一誠会 理事長 医学博士 鈴木 康之	22
11	9	「介護予防。体重を減らさないダイエットで、長くお家で暮らそう！」～健康に良い7つ の興味深いこと～	偕楽園ホーム 理学療法士 佐々木 要	24
12	14	「はるかなる八王子」～八王子の歴史～	八王子市文化財課（郷土資料 館）	17
1	4	「八王子けんこう体操」～転倒予防に効果が期待できる体操～	八王子市健康づくりサポート 健康管理士上級指導員 荒井 英明 氏	15
2	1	「八王子警察署管内の犯罪情勢等の現状と防犯対策について」	八王子警察署署	27
3	1	第2回 社会福祉連携推進法人一五戸共栄会 實践研究発表大会	一五戸共栄会	34
			計	220

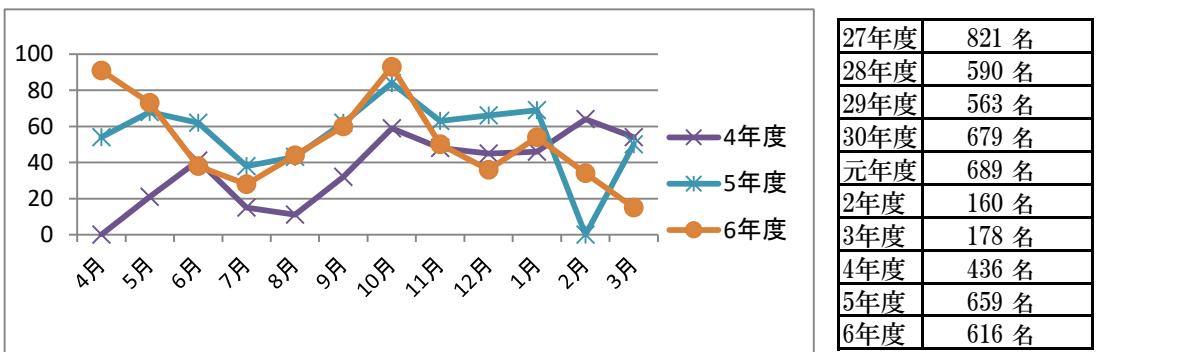
4 収支状況

	配食サービス（日曜除く昼・夕）												目標 月間620食	年度7200食
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
4年度	652	667	643	661	702	524	492	496	491	515	579	662	7,084	
療養食	43	47	47	48	48	47	71	74	75	49	53	55	657	
4年度	695	714	690	709	750	571	563	570	566	564	632	717	7,741	
5年度	571	630	585	584	589	535	529	530	566	592	553	538	6,802	
療養食	46	49	45	47	45	37	98	99	99	100	85	75	825	
5年度	617	679	630	631	634	572	627	629	665	692	638	613	7,627	
6年度	578	585	521	546	510	511	608	630	616	540	595	622	6,862	
療養食	74	79	70	80	78	73	83	76	73	78	70	74	908	
6年度	652	664	591	626	588	584	691	706	689	618	665	696	7,770	



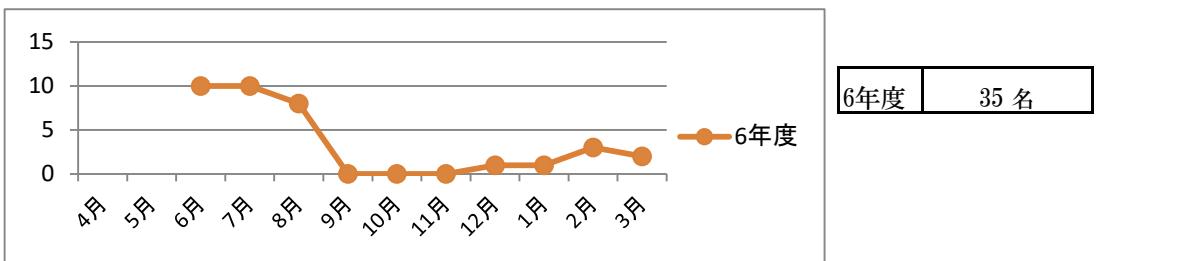
26年度	1,731 件
27年度	4,313 件
28年度	4,348 件
29年度	6,629 件
30年度	6,974 件
元年度	7,939 件
2年度	8,108 件
3年度	8,583 件
4年度	7,741 件
5年度	7,627 件
6年度	7,770 件

	介護予防教室(楽らくサロン)												目標 1回 14名	計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
4年度開催数	0	3	3	1	2	3	4	3	3	3	4	4	33	
4年度	0	21	41	15	11	32	59	48	45	46	64	54	436	
5年度開催数	4	5	4	3	4	4	5	4	4	4	0	4	45	
5年度	54	68	62	38	43	62	84	63	66	69	0	50	659	
6年度開催数	5	4	2	2	3	4	5	3	2	3	2	1	36	
6年度	91	73	38	28	44	60	93	50	36	54	34	15	616	



27年度	821 名
28年度	590 名
29年度	563 名
30年度	679 名
元年度	689 名
2年度	160 名
3年度	178 名
4年度	436 名
5年度	659 名
6年度	616 名

	パワーリハビリ												目標 1回 1名	計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催数			1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	7	
6年度			10	10	8	0	0	0	1	1	1	3	35	



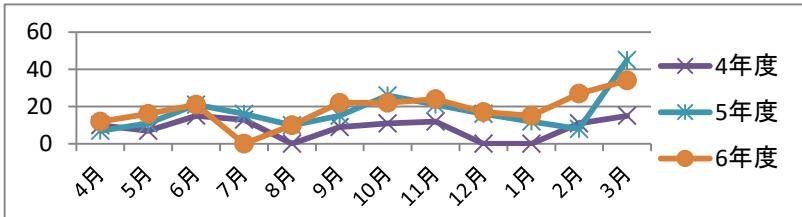
6年度 35 名

地域交流会

月参加人数 月はじめ土曜日 原則

目標 1回 20 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催数	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	9
4年度	10	7	15	13	0	9	11	12	0	0	11	15	103
開催数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
5年度	7	11	21	16	10	15	26	21	16	12	8	45	208
開催数	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
6年度	12	16	21	0	10	22	22	24	17	15	27	34	220



27年度	206 名
28年度	268 名
29年度	241 名
30年度	221 名
元年度	183 名
2年度	61 名
3年度	88 名
4年度	103 名
5年度	208 名
6年度	220 名

■令和4年度

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
サービス活動収益計	89,973	95,653	99,969	100,165	99,307	100,213	100,516	104,722	99,281	98,215	111,036	97,681	1,196,731	
サービス活動費用計	95,718	90,849	91,791	97,069	91,867	90,846	93,910	97,520	100,242	93,507	98,560	106,441	1,148,320	
内訳	職員給与	31,000	29,137	30,192	30,703	30,463	31,333	36,071	33,736	32,103	32,306	32,165	32,573	381,782
	賞与引当金、繰入	12,028	11,633	11,365	12,700	10,542	6,901	4,146	9,439	5,442	9,162	9,344	3,974	106,676
	非常勤職員給与	13,608	11,594	11,383	11,399	10,776	11,393	12,149	11,783	16,352	11,836	11,577	18,881	152,731
	派遣職員費	599	830	799	199	292	355	0	811	736	736	1,061	1,176	7,594
	退職給付費用	1,273	1,751	1,277	1,295	1,257	1,364	1,279	1,306	1,311	1,242	1,312	1,331	15,998
	法定福利費	5,569	5,612	5,603	10,682	5,528	8,723	6,452	8,563	12,735	5,698	8,620	9,500	93,285
	給食業務委託費	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	57,456
	清掃業務委託費	486	566	566	566	566	566	566	566	566	566	566	566	6,712
	人件費計(八)	69,351	65,911	65,973	72,332	64,212	65,423	65,451	70,992	74,033	66,334	69,433	72,789	822,234
対収入割合(八) ÷ (イ)	77.1%	68.9%	66.0%	72.2%	64.7%	65.3%	65.1%	67.8%	74.6%	67.5%	62.5%	74.5%	68.85%	
対支出割合(八) ÷ (ロ)	72%	73%	72%	75%	70%	72%	70%	73%	74%	71%	70%	68%	71.62%	
損益	-5,745	4,804	8,178	3,096	7,440	9,367	6,606	7,202	-961	4,708	12,476	-8,760	48,411	
損益累計(年度純利益)	-5,745	-941	7,237	10,333	17,773	27,140	33,746	40,948	39,987	44,695	57,171	48,411		
収支差額率	-6%	5%	8%	3%	7%	9%	7%	7%	-1%	5%	11%	-9%	4%	

■令和4年度 高熱水費に係る各拠点の状況

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
偕楽園ホーム拠点	偕楽園ホーム	1,821	1,217	1,459	1,168	1,696	1,263	2,077	1,076	1,850	1,522	2,958	1,979	20,086
	グループホーム	564	230	200	495	501	266	287	550	572	288	762	380	5,095
	デイサービス	313	131	114	277	277	152	164	296	315	164	406	216	2,825
	地域包括支援センター	29	24	25	25	28	30	25	23	27	35	31	28	330
	拠点計	2,727	1,602	1,798	1,965	2,502	1,711	2,553	1,945	2,764	2,009	4,157	2,603	8,075
第二偕楽園ホーム	1,256	594	1,053	578	1,229	746	1,183	648	1,244	1,112	1,479	1,029	12,151	
サービス付き高齢者向け住宅	307	136	268	132	296	171	290	148	293	255	256	335	2,887	
各拠点合計	4,290	2,332	3,119	2,675	4,027	2,628	4,026	2,741	4,301	3,376	5,892	3,967	33,515	

■令和5年度

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
サービス活動収益計	101,359	102,384	98,713	102,692	102,696	102,587	108,460	101,059	109,122	107,768	104,856	103,055	1,244,751
サービス活動費用計	98,229	95,593	96,704	101,669	97,446	102,403	97,777	102,898	106,243	98,284	105,669	121,034	1,223,949
内訳	職員給与	33,558	33,275	33,742	33,288	33,328	33,533	33,655	33,454	33,400	33,578	33,399	34,651
	賞与引当金、繰入	11,332	11,307	11,452	11,914	11,414	9,450	8,603	10,067	5,585	9,434	9,568	2,806
	非常勤職員給与	11,911	10,967	11,503	11,215	11,586	11,821	12,317	12,111	16,512	12,255	12,754	20,168
	派遣職員費	1,072	1,859	1,484	2,200	1,733	3,224	2,589	2,620	2,648	2,172	1,702	25,090
	退職給付費用	1,288	1,836	1,321	1,328	1,338	1,404	1,390	1,424	1,389	1,323	1,348	1,345
	法定福利費	5,948	6,042	5,909	11,596	6,018	9,378	6,816	9,744	13,008	7,486	9,712	10,835
	給食業務委託費	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	4,788	57,456
	清掃業務委託費	566	566	566	566	566	566	566	566	566	566	566	6,792
	人件費計(ハ)	70,463	70,640	70,765	76,895	70,771	74,164	70,724	74,774	77,896	71,602	73,837	76,946
対収入割合(ハ) ÷ (イ)	69.5%	69.0%	71.7%	74.9%	68.9%	72.3%	65.2%	74.0%	71.4%	66.4%	70.4%	74.7%	70.70%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)	72%	74%	73%	76%	73%	72%	72%	73%	73%	73%	70%	64%	72.01%
損益	3,130	6,791	2,009	1,023	5,250	184	10,683	-1,839	2,879	9,484	-813	-17,979	20,802
損益累計(年度純利益)	3,130	9,921	11,930	12,953	18,203	18,387	29,070	27,231	30,110	39,594	38,781	20,802	
収支差額率	3%	7%	2%	1%	5%	0%	10%	-2%	3%	9%	-1%	-17%	2%

■令和5年度 高熱水費に係る各拠点の状況

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
偕楽園ホーム拠点	偕楽園ホーム	2,354	1,413	1,773	891	1,697	1,101	1,881	1,046	1,967	1,781	2,622	1,765
	グループホーム	460	277	368	199	363	244	402	198	343	255	484	317
	デイサービス	455	160	430	115	438	139	445	113	471	145	556	181
	地域包括支援センター	18	18	23	21	25	27	23	21	26	34	28	290
	拠点計	3,287	1,868	2,594	1,226	2,523	1,511	2,751	1,378	2,807	2,207	3,696	2,291
第二偕楽園ホーム	1,197	586	1,061	467	1,184	618	1,146	490	1,084	787	1,309	743	10,672
サービス付き高齢者向け住宅	281	136	252	110	291	141	279	112	263	180	318	170	2,533
各拠点合計	4,765	2,590	3,907	1,803	3,998	2,270	4,176	1,980	4,154	3,174	5,323	3,204	32,817

■令和6年度

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
サービス活動収益計	108,184	109,027	110,571	107,892	107,803	115,603	122,773	112,643	116,144	110,102	110,590	115,096	1,346,428
サービス活動費用計	109,663	105,742	105,981	108,558	108,604	111,657	119,202	113,951	117,861	109,337	113,720	100,056	1,324,332
内訳	職員給料・賞与	36,583	32,397	32,995	33,754	34,056	34,165	38,937	35,412	34,340	35,812	36,143	36,335
	賞与引当金、繰入	10,616	11,027	11,397	11,442	13,907	11,449	11,608	12,521	6,834	10,919	9,332	-11,958
	非常勤職員給与	14,268	15,143	15,769	15,124	15,852	15,670	18,942	16,967	22,292	16,766	16,571	21,858
	派遣職員費	2,401	3,167	3,745	2,947	2,573	3,863	4,202	3,426	2,929	2,662	3,117	3,188
	退職給付費用	1,422	1,886	1,338	1,493	1,384	1,524	1,537	1,520	1,507	1,508	1,350	1,484
	法定福利費	6,979	6,435	6,488	11,134	6,440	10,122	7,670	9,554	13,682	6,781	10,475	10,171
	給食業務委託費	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	66,792
	清掃業務委託費	535	535	535	534	576	576	576	576	576	576	576	6,747
	人件費計(ハ)	78,370	76,156	77,833	81,994	80,354	82,935	89,038	85,542	87,726	80,590	83,130	970,888
対収入割合(ハ) ÷ (イ)	72.4%	69.9%	70.4%	76.0%	74.5%	71.7%	72.5%	75.9%	75.5%	73.2%	75.2%	58.4%	72.14%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)	71%	72%	73%	76%	74%	74%	75%	75%	74%	74%	73%	67%	73.24%
サービス活動増減差額	-1,479	3,285	4,590	-666	-801	3,946	3,571	-1,308	-1,717	765	-3,130	15,040	22,096
サービス活動増減差額累計(年度純利益)	-1,479	1,806	6,396	5,730	4,929	8,875	12,446	11,138	9,421	10,186	7,056	22,096	44,192
収支差額率	-1%	3%	4%	-1%	-1%	3%	3%	-1%	-1%	1%	-3%	13%	2%

■令和6年度 高熱水費に係る各拠点の状況

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
偕楽園ホーム拠点	偕楽園ホーム	2,426	1,523	2,057	1,010	1,909	1,495	2,220	1,334	1,970	1,510	2,831	1,742
	グループホーム	453	294	405	256	421	350	469	290	406	285	495	377
	デイサービス	557	165	561	147	592	199	606	165	632	162	609	215
	地域包括支援センター	30	25	23	23	36	26	28	21	27	32	31	334
	拠点計	3,466	2,007	3,046	1,436	2,958	2,070	3,323	1,810	3,035	1,989	3,966	2,366
第二偕楽園ホーム	1,224	516	1,016	518	1,252	687	1,163	505	1,198	930	1,448	859	11,316
八王子市高齢者在宅サービスセンター中野	63	263	156	461	347	498	282	403	262	566	349	607	4,257
サービス付き高齢者向け住宅	312	124	262	118	308	157	287	115	289	213	358	197	2,740
各拠点合計	5,065	2,910	4,480	2,533	4,865	3,412	5,055	2,833	4,784	3,698	6,121	4,029	39,635

5 偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）

令和6年度は近年の物価上昇により支出の増加が見込まれる中、偕楽園ホームの施設建替え計画の進行に伴い、積立金の捻出が必要とされた。このため、過去5年間で最高収入および当期活動増減差額の達成を目標とし、稼働率の向上および新規加算の取得を取り組んだ。

具体的には、「待機者を増やす」「待機者を逃がさない」「入所までの期間を短縮する」の3点を改善方針として設定し、新規加算についても取りこぼしがないように進め、当期活増減差額（社会貢献費含む）42,000,000円以上を目標とした。

令和6年度は在籍98名でスタートしたが、6月に新型コロナウイルスが発症し、19名が罹患。その後も、12月に肺炎球菌が4名、2月にはノロウイルス46名、3月には再び新型コロナウイルスを20名が確認され、2月から3月にかけて入院者は20名にのぼった。一時的に空床を短期入所で埋めたが、定員は79名に減少し、厳しい運営が続いた。

待機者についても、2月の感染拡大前の2月時点で入所までの期間が18日と短縮されていたが、計画通りには進まず、3名体制の相談支援課で1名が休職したことや、看護師の人員不足などによって相談業務の対応時間が削減されたことが一因と考えられる。

新規加算については、生産性向上推進体制加算（II）、感染症対策向上加算（I）、協力医療機関連携加算（I）、栄養マネジメント強化加算などを新たに取得した。

生産性向上推進体制加算（II）についてはまだ大きな成果として形にはなっていないが、各課全体で取り組んでいる。感染症及び協力医療機関連携加算については、病院の相談員と毎月会議を行うことで関係性が深まり、感染症発生時や緊急時の入院など協力体制がより一層強くなったこと、利用者の病歴など情報を共有していることから、入院時や通院時の手続きがスムーズになったことが挙げられる。

栄養マネジメント強化加算については、ミールラウンドの回数が増え、食事観察面でも各フロアで管理栄養士が分担することでよりサービスの介入のスピードが増したこと、経口維持加算の算定人数や対象者の選定も時間短縮し好影響にもつながった。

入院者は、1,614日となり、令和5年度比で132%増となり、令和4年度比211%増化した。入院者数も、令和5年度の41名から66名へと169%の増加となった。これらは全て感染症の影響である。

是正報告について、長年の課題であり、令和5年度の介護課事業計画では、皮下出血142件、転倒事故(滑落事故を含む)49件を、皮下出血42件、転倒事故14件未満に軽減する目標立てた。しかし、実際には皮下出血71件、転倒転落の事故が39件となり、目標は達成できなかった。

主な原因としては、欠員や突発休の多さ、人員配置の不足、施設の構造上必要な人員を確保できなかったことが挙げられる。また、単純な見守り不足やヒューマンエラーによる防げた事故もあり、今後の課題として認識されている。

突発休については、実態を把握し人事効果などに反映、基本は有給消化になってしまふ事が多いが、勤務表作成時の有給取得ではない日にち以外は代替え出勤日の提案など実施していく。

外出支援では、利用者ニーズが高いことから、外出の機会を年度計画とし行って行く

としてが、100名のうち38名の外出を実施。全体の達成率としては38%。外出できない月もあったが、平均すると毎月3.16人実施。職員数の不足や各種感染対策による隔離対応の二つが外出実施の枷となったと考えられる。今後については、介護職だけではなく、多職種で事務職員も含め協働で外出の機会を増やすようしていく必要がある。前月の勤務表から調整をはかり人員配置を確保することなどが挙げられる。

員配置については、人材確保が困難化し、人件費の増加も予想されることから、平成29年4月時点の夜勤従事者は27名、非正規職員13名(うちフロア業務6名)、特別雇用枠1名という基準を参考に、常勤換算34名以内を目標とし、ICT機器を活用した業務の見直しを実施した。

結果として、常勤換算32.5名となり、目標を達成した。

看護課では、退所者の80%を看取り介護で対応することを目標としたが、感染症発症時には病院受診を優先したため、看取り対象者も入院することとなった。その後、経口摂取困難となり、療養型病院に転院された方もいた。

結果として、看取り退所者は令和5年度の8名から21名に増加し、60%の実施率にとどまり目標には届かなかった。

今期は感染症もあり、看取りであっても受診対応が増えたことで目標には届かなかつたが、カンファレンス時に都度看取りへの意向を確認しながら、意向者については早期に家族などに伝え看取り対応の利用者を増やしていく。

リハビリ課では、令和7年度からのADL等維持加算の取得に向けた準備を行い、結果として加算Ⅰの要件を満たすことができた。加算Ⅱの取得については、算定要件における以前よりも自立した生活を送れるようにとまでは利得を上げることはできなかった。リハビリの頻度も含め生活の中にいかに自立支援の観点から取り組みをいれていくか、多職種で協働して実施していくか、このあたりが不足していたことが要因として挙げられる。

栄養課では、サービスの向上と加算の增收を目的に、管理栄養士を2名体制とし、週3回以上のミールラウンドを実施。利用者の栄養状態改善に向け、栄養強化加算を全員に対して算定した。

また、食事満足度を向上の取り組みとして、嗜好調査結果を基にしたおやつバイキングを7月、1月に実施しライブクッキングなど季節感を取り入れた演出を行った。目標としている満足度85%に対し88%を記録し、目標を達成した。

事故件数については、是正・ヒヤリハットの合計が令和4年度286件、令和5年度は288件、令和6年度は230件と減少した。

行政報告については20件から15件(感染症は除く)と微減。内訳、介助中の骨折2件と令和5年度と変わらず。誤与薬(未与薬含む)5件から1件に減少。その他転倒、転落など眠りスキャンのセンサーなどの活用で事故件数・行政報告ともに令和5年度より減少したことが総数として少なくなった結果と分析をした。

しかし、一定の改善が見られるが、内出血などの件数は依然多く、管理職の対応に課題があり、是正策は講じられているものの、書類上の処理は完結していない状況であり、改善が必要である。

決算(空床短期も含む)については、稼働率は過去10年間で最低の97.51%であった

が、介護保険収入は令和5年度の504,448,197円から518,989,193円へと増加し、過去最高収益を記録した。

增收の要因は、報酬改定、新規加算の取得、入所者の平均介護度が4.18から4.24へと上昇したこと、退院後の区分変更申請の実施、食費の適正な見直しなどが挙げられる。

支出に面では、人件費（委託費含む）が8,160,000円増加したが、これは管理栄養士の2名体制導入および看護師派遣職員2名の増員によるものである。加えて電気・水道・ガス費用や委託費も前年度比で増加した。

人件費率は令和3年度67.78%、令和4年度66.4%、令和5年度69.93%、令和6年度69.40%と微減したことは介護課を中心と少人数で実施した成果でもあるが、目標の数値には及ばず、仕事の細分化や職員の働き方（勤務時間）の多様性もあり、適正な効率的に人員配置ができなかったこと、業務の見直しも含め進めていく必要がある。

当期活動増減差額は26,439,857円となり、令和5年度より-2,579,829円の減少となった。この結果は一定の增收努力による成果ではあるものの、前年実績を上回ることができなかった点は、引き続き経営改善の余地があることを示しており、令和7年度に向けては、より安定した増益構造と持続的な収支改善に向けた取り組みが重要な課題となつた。

収益未達成の主な要因は人件費の増加や水道光熱費の増加が挙げられるが、稼働率向上については相談支援課がスケジュールを組み立て面接、契約の時間を確保すること。それについては定期や突発受診については看護、介護で行くことを最優先にすること。ショートステイや入所面接については介護課などもできるような体制を構築していくことが挙げられる。

6 偕楽園ホーム（短期入所生活介護事業）

令和6年度における短期入所生活介護事業の利用率は、4.19%（予防含む）であり、令和5年度の3.23%より上回った。ただし、この上昇は、感染症を伴う入院者の増加により、特養の入居率が95.65%から93.32%に低下した影響と考えられる。

事業計画においては、過去5年間での最高収入および当期活動増減差額の達成を目指とし、入院者が発生した際の空床を5日以内に短期入所として活用することを具体的な取り組みとして定めた。

営業活動においては、介護支援専門員が多く在籍する事業所を訪問対象とし、営業活動の実施状況を把握できるように、営業活動記録欄を日誌に設けた。

また、利用に関する問い合わせはすべて記録として残し、空床発生時の営業活動に活用した。合わせて、毎月1名以上の新規契約を獲得することも目標に掲げた。

結果、令和5年度の新規利用者28名に対し、令和6年度は39名と増加した。5日以内の利用開始については、感染症が流行した7月、2月、3月を除けば28人の入院者に対して22名の入院者については5日以内での利用の開始が行われた。

新規契約者が増えたことは、営業活動記録欄から、空床時には遡って折り返しの連絡などすることで、新たに利用者を紹介してもらうケースが増えたことが一つの成果であると感じる。

営業活動も含めた成果ではあるが、目標の稼働率には到底及ばなかったことは入院者の減少もそうだが、在籍者を當時 100 名に近い数字を維持する業務の優先順位など相談支援課だけではなく事業全体で仕組みを変えていく必要がある。

7 偕楽園ホーム居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所（偕楽園ホーム）は、開設以来赤字が継続している状況にある。令和 6 年度の介護保険報酬改定により、介護支援専門員の担当件数の上限が従来の 40 件未満から 45 件未満へと遅減性が緩和され、さらにケアプランデータ連携システムの活用および事務職員の配置を条件として 50 件未満まで担当可能となった。

これを踏まえ、令和 6 年度は、介護支援専門員 1 人あたりの月平均担当件数を 44 件相当（要支援認定者は 1/3 で換算）と設定し、過去最高収益の達成を目指とした。実績としては、事業所全体で要介護認定者 1,395 件、要支援認定者 418 件を担当し、個々の介護支援専門員の月平均担当件数は 42.62 件相当となった。

目標にはわずかに届かなかったものの、要介護認定者の初回加算は 58 件を計上しており、前年比では 71 件の増加と、過去最高水準の実績となった。しかしながら、個々の介護支援専門員の担当件数にバラつきが生じていることが、目標未達の要因ともなっている。以上により当期活動増減差額は -870,901 円となった。

ケアマネジャーの職務に対しての処遇改善が社会的に求められる中で、法人として令和 6 年 10 月より、担当件数に応じたインセンティブ手当を導入したことにより、この職種への評価と位置づけを明確に示した。導入前と比較して担当件数は 73 件増加し、全体値として 10% の向上がみられており、所属介護支援専門員のモチベーション向上と成果に一定の効果を与えたと考えている。

最大では 50 件未満まで担当可能となったとはいえ、それに伴う業務負荷は極めて大きく、今後は黒字化という至上命題の達成に向けつつも、介護支援専門員が適正に職務を遂行できる業務量との均衡を図ることが課題である。

8 偕楽園ホーム居宅介護支援事業所北野

令和 4 年に開設したが、令和 5 年度の介護支援専門員による担当実績は月平均 29.2 件に留まり、地域の社会的ニーズに十分応えられているとは言い難い運営状況であった。

令和 6 年度の介護保険報酬改定により、介護支援専門員 1 人あたりの担当件数は、従来の 40 件未満から 45 件未満へと遅減性が緩和され、さらにケアプランデータ連携システムの活用および事務職員の配置を条件に、50 件未満まで担当可能となった。

これを受け、令和 6 年度は、担当件数を月平均 44 件相当（要支援認定者は 1/3 で換算）とすることを目標に掲げ、事業所の黒字化を図る計画を策定した。実績としては、要介護認定者 413 件、要支援認定者 124 件を担当し、介護支援専門員 1 人あたりの月平均担当件数は 37.86 件相当となったが、目標には到達しなかった。一人ケアマネジャーによる事業運営のため、所属介護支援専門員の経営意識が収支に直結している結果となっている。

また、要介護認定者の初回加算は18件を計上した。令和6年度は、ケアマネジャーの職務に対しての処遇改善が社会的に求められる中で、法人としては10月より担当件数に応じたインセンティブ手当制度を導入し、当該職種に対する評価と重要性を明示した。しかしながら、導入前と比較して担当件数は7件の増加、全体値として3%の向上に留まり、所属介護支援専門員のモチベーション向上と成果への効果は薄いものであったと言わざるを得ない。以上により当期活動増減差額は-2,386,811円となった。

一人ケアマネジャー体制において、管理者・主任介護支援専門員としての複数役割を担いつつ業務を遂行しているなか、恒常的な超過勤務が発生していることは課題である。現状、経理業務や事務用品の搬入などの支援は行っているが、在宅支援における介護支援専門員の職質上、また地理的に距離を有する状況に効率性からも担える支援には限界がある。恒常的な超過勤務の改善には、現状の実務に専念できる時間が短縮化する勤務体制の解消が有効であると分析するが、法人として具体的な解決策の策定には至っていない。

業務継続性の確保と処遇改善の両立が喫緊の課題となっている。

9 偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 偕楽園ホーム訪問介護事業所 偕楽園ホーム夜間対応型通所介護事業所

令和6年度の目標は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業、訪問介護事業、夜間対応型訪問介護事業の3事業（サテライト含む）において、当期活動増減差額6,600,000円の確保とした。これに対し、実績は5,437,977円となり、目標達成率は82.39%であった。

要因としては、人員確保のための対策が上手く機能せず、紹介会社も使用して採用するも1週間で退職されることがあり増員には至らなかったことで新規利用者の問い合わせも受ける事ができない状態があった。営業についてもFAX営業は行えるが、訪問営業を行えていなかったため居宅支援事業所の新規開拓が3件にとどまった。しかし、本拠点（宮下）では付き合いのある介護支援専門員は電話営業もでき良好な関係を築けている。サテライトの2拠点でもこの状態になれるよう介護の質を保ち営業の糧としたい。

また、もう一つの目標として、ICTの導入を掲げ、厚生労働省が進めるケアプランデータ連携システムの活用を進めるとともに、安価でセキュリティ性の高い「LINE WORKS」を用いた日々のアルコールチェックと研修報告体制の構築を目指した。

ケアプランデータ連携システムについては、法人内の居宅介護支援事業所との連携が開始されているが、マニュアル作成は作成中であり、完成には至ってはいない。

一方、LINE WORKSの導入については、ユーザを整理により無料版での運用が可能となり、日々のアルコールチェックは実現できている。情報共有にも頻繁に活用され、従来のLINEに近い操作性であることから、ソフトの使い方の教育は必要なく利用者の状況やシフト変更などを書き込むことで各自のスマートフォンにアラートが入るため、必要な時に必要な情報を得ながら支援が行えることで支援の一時中断もなくスムーズに運用されている。

研修報告書については未実現であり、現在はGoogleフォームなど、他のウェブツール

を検討中である。

利用者数については、年度末時点で、定期巡回 23 名（平均介護度 2.3）、訪問介護が 33 名、夜間対応で 12 名となった。それぞれ目標に対しては、定期巡回でマイナス 6 名、訪問介護でマイナス 3 名、夜間対応でマイナス 3 名と未達であったが、2、3 月において定期巡回利用者に介護度 4 および 5 の方が増加し、平均介護度が 2.3 に上昇したことにより、12 月時点 60% であった当期活動増減差額の達成率が、年度末には 78% まで改善したが、最終的には純利益目標の達成には至らなかった。

要因としては、年度初めに常勤換算 7.9 体制から年度末には 10.0 名体制へ増員を計画していたが、8 月に非常勤職員が負傷し、常勤換算 0.8 名分の欠員が年度末まで続いたことが大きく影響した。が年度末まで長引き法人内で異動となり利用者を受入れできない状態が 2 カ月程度あった事が大きく影響した。年度末の常勤換算は登録ヘルパー 2 名の退職もあり常勤換算 7.8 と目標未達の結果となった。

のことから、人員の増員について最重要課題であり、令和 7 年 4 月の介護報酬改定により訪問系事業の外国人支援が可能になったため、当法人で就労する外国人の訪問員起用を進めるとともに求人に力を入れていく必要がある。

10 デイサービスセンター初音の杜（地域密着型通所介護事業）

一層の利用率向上を図るため、令和 5 年度の利用相談において、入浴支援およびや筋力維持へのニーズが高いことが確認されたことから、令和 6 年度においては入浴介助職員を増員し、1 日あたりの入浴定員枠を 15 名から 20 名へ拡大するとともに、在宅生活における生活動作支援を強化する目的で、自宅とデイサービスでの入浴を併用している利用者を対象に、4 月より入浴介助加算 II の算定を開始することとした。

また、機能訓練指導員との連携により、身体の各部位に作用する動作を取り入れたレクリエーションを実施し、その内容を毎月配布するプログラム表に 4 月から明示することで、利用者の活動内容への理解を深める取り組みを進めた。

新規登録者の獲得に向けては、問い合わせ対応において生活相談員が迅速な対応を行えるよう、職員配置の増員を行い、併せて人件費の増加を抑制する目的で非常勤職員の採用を進めた。

また、営業活動としては、月初の実績配りを兼ねた訪問営業、地域包括支援センターおよびデイサービスを併設していない近隣の居宅介護支援事業所への営業、過去に紹介を受けたケアマネジャーを指名しての再営業、空き情報の一斉送信による FAX 営業、SNS による情報発信を展開し、毎月のミーティングにおいては PDCA シートを活用して取り組み内容の精査を行った。これらの取り組みにより、令和 6 年度における目標値としては、年度平均登録数 21 名、年度利用率 87% 以上、年度活動増減差額 750 万円以上を掲げた。

令和 6 年度の実績としては、平均登録者数 16 名、年度利用率 85.7% と、利用率については目標に 1.3% 届かず、当期活動増減差額は -19,018 円となった。

また、入浴介助加算 II の算定実績は 0 件であった。レクリエーションの内容については、毎月配布するプログラム表やフロアの様子を X（旧 Twitter）および広報誌にて情報

発信を行い、周知に努めたが、自宅およびデイサービス双方で入浴をされている利用者に対して加算算定の希望を得ることができなかった。

利用率未達の主因としては、当初予定していた職員体制の確保が困難であったことが挙げられる。具体的には、職員配置の目標であった常勤職員4人（うち1名産休）、非常勤職員7.5人換算、派遣職員0人に対し、実績は常勤職員4人（うち1名産休）、非常勤職員4.2人換算、派遣職員3人であり、想定通りの体制とはならなかった。このため、生活相談員がフロア業務にあたらざるを得ず、午前中の施設見学や契約は時間的調整がつかない状況であった。また、訪問営業や電話営業も行えない状況から、12月以降の問い合わせ件数が増えず、直接的に利用率の低下につながった。社会的な人材不足もあるなか、職員採用ありきの計画を立てる困難さを改めて痛感した。入浴介助加算Ⅱについては、サービス担当者会議参加時に、利用者・家族・ケアマネジャーを交えて説明を行ったが、自宅で入浴することへの安全性や介護労力への不安の声もあり、新たにデイサービスと自宅での入浴を併用とする意向は得られなかった。

今後の課題としては、新規利用者の獲得に向けて、午後にも入浴支援を実施できる体制づくりおよび入浴介助職員のさらなる増員が求められる。また、近隣の居宅介護支援事業所と顔なじみの関係性を再構築するためにも、生活相談員がフロア業務から離れ、定期的に訪問営業が行えるような業務体制への改善が必要である。

11 デイサービスセンター初音の杜（認知症対応型通所介護事業）

一層の利用率の向上を図るため、令和5年度の利用相談において、入浴支援および筋力維持への働きかけに対するニーズが高かったことを踏まえ、令和6年度においては入浴介助職員を増員し、1日の入浴定員枠を15名から20名に拡大した。また、在宅生活における生活動作の維持・向上を支援する目的、自宅とデイサービスの入浴を併用している利用者を対象に、4月より入浴介助加算Ⅱの算定を行うこととした。

さらに、周辺症状が強い利用者が継続的に通所できる体制を整備するため、職員が個別に対応できる体制の構築を目指し、4月よりボランティアを毎月1件以上（年間12件）新規に獲得し、1日あたりの受け入れ可能人数を1名から2名に増やすことを計画した。新規登録者の獲得を目的として、生活相談員が迅速に問い合わせ対応できるよう職員配置を増員するとともに、人件費増加を抑制するため非常勤職員の採用を進めた。

営業活動としては、月初の実績配布を兼ねた訪問営業、地域包括支援センターおよび近隣のデイサービスを所有していない居宅介護支援事業所への営業、過去に紹介があったケアマネジャーへの指名営業、空き情報の一斉送信によるFAX営業、ならびにSNSによる情報発信を行った。加えて、毎月のミーティングにおいてはPDCAシートを活用し、各種取り組みの精査を行った。

これらの取り組みにより、年度平均登録数14名、年度利用率90%以上、年度活動増減差額150万円以上の達成を目標としたが、令和6年度の実績としては、平均登録者数11名と目標に届かなかったものの、年度利用率90.9%を記録し、当期活動増減差額は1,978,800円となり、目標を達成した。入浴介助加算Ⅱの算定実績は0件であったが、ボランティアの受け入れは年間で15名増加しており、計画を上回る結果となった。

しかしながら、利用率に関しては、当初目標とした職員体制（常勤職員3人、非常勤職員7.5人換算、派遣職員0人）に対し、実際の配置は常勤職員4人（うち1名は産休）、非常勤職員4.2人換算、派遣職員3人と大きく乖離していた。その結果、生活相談員がフロア業務に従事することが多く、営業活動はFAX営業が中心となり、訪問営業による新しいケアマネジャーとの顔の分かる関係性の構築や、過去に紹介を受けたケアマネジャーへの電話営業を行うことによる、見学相談増加への働きかけが実施できなかった。これが新規登録者数の未達につながった要因と分析している。

また、ボランティアの受け入れ拡充は実現したものの、周辺症状が強い利用者の受け入れ体制強化には直接的な効果が現れなかつた。これは、ボランティアによる直接の係わりは難しいことはもとより、その活動内容は職員が1対1で対応できるためのものとは相違があったこともあり、ボランティアの活用とプログラム内容の見直しを併せて進める必要が課題として浮き彫りとなつた。今後は、午後にも入浴支援が実施可能な体制の整備および、それに伴う入浴介助職員の増員が重要な課題である。また、個別対応を充実させるためにも、引き続きボランティアの受け入れを推進するとともに、選ばれるデイサービスであり続けるために、プログラム内容の見直しおよび個別ケアの実施体制の整備が求められる。

さらに、近隣の居宅介護支援事業所との関係性を再構築するためには、生活相談員がフロア業務から離れ、定期的に訪問営業が行えるような業務体制への改善が急務である。

12 グループホーム初音の杜

令和5年度の平均稼働率は99.31%と過去最高水準となり、目標値の99.2%を達成した。しかし、稼働率を安定的に維持・向上させるためには、入院、認知機能の低下に起因する空所の発生を抑制する取り組みが必要であり、さらに新たな加算を算定して収益を増加させることも経営上の重要な課題であった。

そこで、令和6年度事業計画においては、同年度介護報酬改定に伴う新設加算の算定期件を精査し、4月から算定を開始できるよう手順整備を進めた。稼働率に関しては、利用者に自然な状態低下（食事摂取量の減少、食欲不振、体重減少など）が見られた場合には、主治医の所見確認のを行い、家族への看取り介護に関する説明と意向確認を実施し、入院に伴う空床発生を10%（8日）削減することを目標に掲げた。

また、グループホームの特性である自立的な生活の実現を目指し、居室担当を中心に、全利用者が有する能力を日常生活や家事活動に活かせるよう、個別活動の吟味とタイムスケジュールの作成・実施を行つた。これには、家事活動に限らず、各種行事や記念日などを全利用者が均等に参加できるよう配慮することも含まれる。

これらの取り組みにより、QOL（生活の質）の向上とともに、認知機能および身体機能の維持、さらには体調不良予防につなげ、認知症の進行による退所者ゼロを目指した。

令和6年度においては、新設加算である生産性向上加算の算定を実施した。また、稼働率維持のために、嘱託医・訪問看護・訪問歯科との連携を通じた体調管理を行つたが、11月および2月に肺炎による入院、1月には胸水による入院、4、8、9月には骨折による入院が発生した。肺炎ならびに胸水の要因は新型コロナウイルス感染予後によるもので

あった。また、自発的動作のなかでの骨折事例が多く、行動把握のために従来の眠りスキンに加えセンサーマットの活用も行っているが、同一利用者に 3 件の骨折を生じさせてしまったことからも、要因の把握から再発防止策の策定への過程と内容は、結果論ではなく、職員の危険予測を含めたリスク意識の低さを浮き彫りとしている。

さらに、7月および1月には新型コロナウイルス感染症が発生し、7月には1丁目において9名中8名が感染、20日間の療養を要した。1月には2丁目で9名中7名が感染し、22日間療養する状況となった。これにより、延べ入院日数は231日となり、前年より145日増加した。結果として、令和6年度の稼働率は98.72%となり目標を下回ったが、当期活動増減差額は2,609,833円となった。

自立支援に向けた家事活動などへの参加については、利用者の重度化により参加者が限られたものの、活動への参加や役割の付与を通じて、コミュニティ形成や活動性の向上に一定の成果が得られた。環境の変化が伴う新たな利用者においては、他の利用者との共同活動を通じて関係性が築かれ、安心感ある生活につながる効果がみられた。また、令和6年度においては、認知機能の低下を理由とする退所者は0名であった。

稼働率が目標値に達しなかった主因は、入院日数の増加にある。骨折については、体調不良の兆候の観察や、自発的動作に伴うリスクに対する安全性配慮が不十分であったことが一因である。今後は、生活環境の整備や介入時のリスク予見、予防対応を強化する必要がある。

感染症対策においては、職員の体調管理の徹底、出勤時の健康確認、換気・消毒などの基本的対策を継続し、職員が媒介とならないよう意識を持続させる必要がある。また、グループホームの構造上、教科書通りの隔離対応が困難である点も踏まえ、現場に即した書道対応のあり方について見直しが求められる。

催し物や活動の運営については、新たにおやつフレクリエーション等の楽しみある催しを提供できるようになっているが、業務としての頻度や内容の水準を明確化できておらず、個々の職員の判断にその係わり方を任せてしまったことから、担当職員によって実施内容や関与の程度に差が見られた。今後は、居室担当を中心とした業務として、ニーズ把握も含め、活動の頻度や内容は全職員が把握するように業務の標準化を図り、全利用者が均等に活動へ参加できる体制整備が求められる。

健康維持は利用者の安心した生活の基盤であり、肺炎の発生を受けて、訪問歯科からの助言を踏まえた口腔ケアの充実が重要である。また、生活上のリスクに対する職員の予見・予防能力の向上も喫緊の課題である。

なお、現在の職員配置では、入浴支援が超過勤務によって賄われている実情があり、業務の偏在を是正するために業務スケジュールの見直しが急務である。

13 偕楽園ホーム（八王子市通所型短期集中予防サービス）

令和5年4月1日より、介護予防・日常生活支援総合事業の一環である「通所型短期集中予防サービス（八王子では通称：ハチプロ）」新規受託した。本事業は、「日常生活が自分の力で継続できるようになること」を目標とし、リハビリ専門職が、利用者一人ひとりの状態や生活様式に合わせて、3か月間集中的に支援を行う個別プログラムである。

具体的には、専門的なマシンを使用するのではなく、心身の状態や生活環境に関する困りごとに対して助言を行い、気持ちに働きかけることを通じて、心身を健康な状態に回復させるための戻「コーチング型支援」を提供する内容である。

令和6年度は年間利用人数8名以上、当期活動増減差額268,840円の達成を目指とした。

しかし、実績としては利用者1名、当期活動増減差額-312,000円となり、目標の達成には至らなかった。

要因として、対象地域が八王子市地域包括支援センター（加住）の圏域に限定されていることが挙げられる。このため、生活支援コーディネーターを招いての現地説明会の開催や、通所C事業者シェアリング会議への参加、八王子市高齢者いきいき課、コネクト八王子との情報交換（広報・宣伝を含む）など営業活動を実施したが、事業対象者の紹介が得られなかつた。

実際には圏域内で対象となる利用者4名を確認していたが、サービス提供時間が合わないという理由により、近隣の毎日9時～17時まで営業している病院に紹介された経緯を確認している。当事業は特別養護老人ホームに所属する理学療法士が担っており、週1日の月曜日13時～14時をという限定的な枠での運用では、顧客のニーズとは合う可能性が低く見劣りすることは否めなかつた。このことから昨年度は途中から営業日を週2日の月曜日、水曜日の9時～17時で受付を開始した。

同行面接の機会はあったが、利用開始ともならなかつたケースも2件あり（面接はしたが気が進まないなど）結果令和6年度の利用者は1名のみだった。

のことから、さらに間口を広げ、まずは実施できる利用者を増やすために、営業時間の拡大を進めていく必要がある。

14 第二階楽園ホーム（地域密着型特別養護老人ホーム）

サテライト型地域密着型特別養護老人ホーム（定員29名）および併設型短期入所生活介護（定員9名）の事業は、平成30年9月13日 начиная с成立以来、6年半が経過した。

令和6年度においては、介護報酬改定に伴う新規加算を漏れなく取得することを目標とし、特養および短期入所を併せたサービス活動収益を年間221,628,000円（特養 165,703,000円、短期入所 52,875,000円、補助金 3,050,000円）当期活動増減差額 15,000,000円（特養 7,000,000円 短期入所 8,000,000円）と設定した。

また、稼働率については、特別養護老人ホームを10,178床/10,585床（98.5%） 短期入所生活介護を3,576床/3,285床（110%以上）両事業を合算して13,754床/14,039床（100%以上）とすることを目標とした。

しかしながら、当期活動増減差額の実績は、特養1,147,351円、短期入所2,678,773円 合計3,826,124円の結果となり目標値とは大きく乖離する結果となつた。

令和6年度の稼働率は、特養が96.15%、短期入所が108.86%、合算して99.16%であり、100%以上という目標には届かなかつた。これまでの稼働率の推移は、特養平成30年度94.90%、令和元年度97.98%、令和2年度97.47%、令和3年度は99.00%、令和4年度95.27%、令和5年度97.33% 特養と短期入所の合計で平成30年度92.25%、令和元年度97.98%、令和2年度99.28%、令和3年度は99.24%、令和4年度97.86%、令和5年度

99.97%と、安定して高水準を維持してきたものの、今回の結果はやや後退した。今年度の入所の稼働が伸びず、また、日常生活継続支援加算の要件を外してしまったことから、結果は低迷した。

加算に関しては、日常生活継続支援加算の要件を満たすことができず、7月から9月分の加算料金を返還する事態となった。これにより、処遇改善加算にも影響を及ぼした。

稼働率の低下の要因としては、長期入院および退所後からの次回入所までの期間が3.7日から8.7日へと長期化したことが挙げられる。これにより、入所待機者の減少および入所準備期間の不足が生じ、介護度の低い利用者の入所が重なり、結果として日常生活継続支援加算の要件を満たせなかった。加算の返還についての再発防止策としては、加算の要件を特定の職員だけでなく多職種で加算を理解していることが重要となる。例えば、多職種連携会議などで加算の要件や意味を一般職にも理解してもらい、対応できることが重要となる。また現在の状況を監視する仕組みとして、多職種会議、入所判定委員会で把握して全体で監視していく。

また、入所契約を成立させるためには、利用者の状況に応じた時にタイミングを合わせて入所案内業務を行いたいと考えているが、日々他の業務に追われ、利用者が声をかけてほしいと思うタイミングを外してしまうため、効率的な入所関係業務を行うことができなかつた。そのため、入所に至るまでの過程を細かく項目として見える化し、項目を網羅することで確実な入所につなげていくことが重要だと考えている。通常、入所申し込みが届いたら、入所申し込みの受付をしたとご家族に連絡し、施設見学の案内や説明を行い、施設を気に入ってもらい、家族の同意を得て、時にはお試しでショートステイの体験をするなどご本人ご家族に納得していただいてから、診療情報提供書の提出を要請したりなど、様々な準備を整えて入所に至ることになる。これまでの工程の進捗を見る化し、入所関係業務として適切にその方の状態にあった案内をすることで入所が確実なものになると考え、その対策として、営業を含め、入所関係業務の入退所業務進捗管理表を作成し、業務の細分化とタイムリーな進捗管理を徹底する体制整備を課題とした。

新規加算取得の目標に対しては、生産性向上推進体制加算Ⅱ 協力医療機関連携加算、高齢者施設等感染対策向上加算を取得し一部目標を達成した。一方で、認知症チーム加算口腔衛生管理加算については該当せず取得には至らなかつた。多職種連携による会議および書類作成業務を支える仕組みの整備を目指したが、現場の業務内容の理解および周知ができず、定着しなかつた。

虐待防止に関する調査の指摘を受けて虐待防止改善計画書を提出し、全職員によるチェック体制を運用開始した。これにより「見て見ぬふり」をせず利用者をみんなで守る虐待防止の意識を職員全員で持ち、「不適切ケアが行われたかもしれないが自分には関係ない」と行動を起こさない「傍観者的加担」「消極的加担」の意味の理解を図り、内部けん制の取り組みを継続している。当初ペアでロールプレイによる気づきを得ていこうと取り組んだが、研修としては取り扱いにくく方法を変更した。不適切ケアを現場で直接確認し、指摘するユニット巡回チェック表とため口虐待チェックリストをツールとして用いて、互いに気づきを表現し改善を図る練習の仕組みとし、不適切ケアに対し当事者意識を持つ風土を作っていく取り組みとし継続している。

看護課では介護と看護が一緒に利用者の状態を観察し、的確に伝達しケア会議を行い、

情報を共有することにより、新たな皮膚剥離などの処置を減少させ、年間処置件数を 36 件以内とすると目標を立てていたが、合計 22 件という結果となった。具体的な方法として、看護申し送り表を作成し、情報共有のツールとして運用を定着させた。

介護課では、記録の内容を充実させる一つの取組として、音声入力の機能を使いこなし、生産性の向上を図ろうとしたが、定着するところまで取り組むことができなかった。ケアパレットの手順書の作成やご家族あての 4 半期ごとのお知らせの作成など定着させることができなかった。

排泄については、排泄支援計画書の作成をユニット間で意見交換するためのツールとし、排泄支援委員会に計画書を提示し LIFE につなげていくことを定着させようと取り組んだがまだ、全体の取組とはなっていない。

介護課で目標として掲げていたレクリエーションの充実、生活リハビリの推進、居室担当の役割意識の向上については、担当者の変更などにより十分な取り組みが実施できなかった。これらは引き続き、ケアの質の向上に向けた重要課題として取り組むべき事項として認識している。

15 第二偕楽園ホーム（併設型短期入所生活介護事業）

稼働率については、3,576 床/3,285 床（110%以上）を目標としたが 108.86% であり目標値には届かなかった。これまでの稼働率の推移は、平成 30 年度 83.72%、令和元年度 99.64%、令和 2 年度 100.18%、令和 3 年度は 102.34%、令和 4 年度 106.21%、令和 5 年度 108.47% であり今回が過去最高値の稼働となった。特別養護老人ホームの稼働が下がると短期入所の稼働が高くなるが、当期活動増減差額の実績は、短期入所 2,678,773 円 の結果となり目標値には届かず低迷した。稼働率については、ショートステイの急なキャンセルや、特養利用者の入院による空床が主な要因となった。そのため、急な動きに対応できる情報を常時つかんでいてすぐに対応できるようにすることや、個別のニーズに対して情報を発信し、ショートステイの利用につなげるマッチングのしくみが弱いということではないかと考える。例えば、介護者のレスパイトでいつでも居室が空いたら使いたいとか、ロングショートを利用したいと探しているとか、お試しで短期間利用してみたいとか、のニーズをつかんでおいて、その方にとって、タイムリーな提案ができるなどのアプローチが個別にできることが重要となる。稼働率の安定化のために個別のフォローワー体制やキャンセル待ちの調整、他事業が一堂に会する法人内の営業会議での情報収集および情報交換を活用する。また、動きが激しいショートステイであるがゆえに、1 か月先の予約であればキャンセル待ちの仮予約を入れることで、利用できる可能性が高いことはリピーターの方々には周知のこととなっているため、その案内を行うことで稼働を高めることができる。他事業からの情報をつなげることで、困りごとを抱えた利用者の道を開き、利用者の個人の意思と可能性が尊重される場を提供することができ、互いの事業の稼働を上げることができると考える。

令和 6 年度は、安定した経営基盤の確保を目的に、介護報酬改定に伴う新規加算を漏れなく取得することを目標とした。そのなかで、生産性向上推進体制加算Ⅱは取得に至った。

また、看取り連携推進体制加算の取得を目指し、協力医療機関である右田病院との連携

強化を図ったが、バイタルデータの収集手段として使用していた眠りスキャンに対して医師より「医学的信頼性に欠ける」との評価があり、最終的に救急搬送対応を余儀なくされた事例もあったことから、加算取得には至らなかった。体重が減少し、食事がとれなくなったり眠りスキャンでみられる看取り期の状態で現れる異常値で赤く広がるデータを示したが、医療機関の検査では異常なしと判断され、数日後救急搬送となった。ショートステイ期間中の看取りの確定の難しさを考えさせられる事例となった。

稼働率については、年間 110%以上を目標としていたが、実績は 108.86%にとどまり、目標未達であった。稼働促進を目的として営業ツールの活用等も行ったが、十分な成果にはつながらず、空床情報を公開するなど法人のホームページの活用や目的を明確にした営業活動などの営業戦略や地域連携の見直しが今後の課題として残った。現在の空床状況がタイムリーに情報公開できる仕組みの構築が急がれる。

さらに、苦情対応の質的向上を図るために、請求業務の見直しや物品管理アプリの導入を検討していたが、いずれも導入には至らなかった。請求業務の担当者が分散していることや口座振替の手続きにおいて押印相違などの書類不備が多く発生し、手続きに時間がかかることにより、請求の時期が忘れた頃になってしまい、苦情につながるリスクが高い。これらについては、業務効率化や利用者満足度向上の観点からも、引き続き取り組むべき課題である。

加えて、ショートステイ利用時に対応困難なケースが生じた際、職員に心理的・身体的な負担が発生することが課題として顕在化している。そのため、現場間の連携強化を目的にインカムの活用を進めた。今後は教育訓練体制をさらに強化し、現場力の向上とともに、ショートステイを必要とする利用者を安心して受け入れられる体制構築を継続的な課題とした。

16 第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所

令和 6 年度は登録者数 23 名でスタートし、令和 7 年 3 月末時点における登録者数は 22 名(登録定員 29 名)、平均登録者数は 22.83 名であり、事業計画における目標値である 26.1 名には至らなかった。利用率は目標値の 90%に対し 74.87%、達成率は 83.19% に留まった。宿泊ベッド稼働率についても、目標値である 93.5%に対し 86.79% に留まり、いずれも目標未達となった。

利用率が目標に達しなかった主な要因は、平均登録者数が定員 29 名に満たなかったこともあるが、看護小規模多機能居宅介護事業所（以下、看多機）の利用者の多くが事業の性質上医療依存度が高く、宿泊サービスの利用を重視しており、宿泊ベッドの空きが少ない状況が成約を妨げる要因となっていた。実際に、登録定員に 6 枠の空きがあったとしても、週 2~3 日の宿泊を希望する利用者に対しては、空床がなく契約に至らないケースが年度内に 7 件確認された。

また、「たとえ月に 1, 2 回でも家に帰ることができるなら」と、病院や老人保健施設から退院し、看多機の利用を経て在宅復帰を目指す利用者は多く存在しているが、その多くは特別養護老人ホームへの入所を待機している状態（=在宅復帰が叶わなかつた場合の保険をかけている）であることも、事業運営における制約となっている。

医療的ケアなど、介護負担の大きい看多機利用者を支える家族にとって、レスパイトの有無（宿泊サービスの利用）が看多機契約における必須条件であることを表す結果となった。今後は利用率の向上を視野に、看多機登録者の中で特別養護老人ホームなどの入所系サービスの待機者である方に対しては入所系サービスへの移行を進め、新規登録者の獲得につなげる。

当期活動増減差額については、当初目標を 8,141,864 円と設定していたが、結果として 2,553,923 円に留まった。地域福祉部部長を中心に、八王子市内の居宅介護支援事業所を対象とした対面営業やポスティング、FAX 営業（ベッドの空き状況の明記を含む）を毎月最低 5 件以上実施した。また、YouTube を活用して事業所の特色を訴求するなど、多角的な営業活動を行ったが、成果にはつながらなかった。YouTube を活用した営業は、事業の紹介やストロングポイントのアピールには効果的であったが「営業相手がどのようなサービスを欲しているのか」など、ニーズの把握やそれに対する訴求には今一歩に欠けるものと推測される。営業活動の積み重ね、信頼関係の構築により、より個別的な営業活動の実現につなげたい。なお、令和 7 年度は一誠会の居宅介護支援事業所および八王子市内の在宅復帰型老人保健施設や地域包括ケア病棟を有する病院、加えて看多機を持たない近隣市に営業範囲を拡大し、営業頻度も毎月 3 日以上に増やすことで、目標達成への足掛かりとする方針である。

介護の質向上、虐待防止の強化、そして看多機の特徴である「終末期を含む状態が不安定な利用者への在宅支援」の充実を目的とし、令和 6 年度は利用者目線の支援体制を整備するため、全介護職員に対し認知症介護基礎研修を夜勤従事者全員に対しては喀痰吸引研修の受講を義務付け、いずれも修了させた。その結果、令和 6 年度は 1 名の利用者に対して看取り介護を提供するに至った（令和 5 年度の看取り実績は 0 件であった）。

職員の離職率については、令和 6 年度は 6.66%（年度内離職者は 1 名）であり、令和 5 年度の 9.09%（年度内離職者は 1 名）から改善が見られた。その要因としては、前述の教育訓練や貴重な看取り介護の経験によって看多機職員として必要とされる介護スキルが向上し、それが働きがいやモチベーションの向上にもつながったのではないかと推測される。

事故・苦情については、令和 6 年度の事故件数は 29 件（うち行政報告案件 4 件、苦情 2 件）であり、令和 5 年度の 18 件（行政報告案件 5 件、苦情 1 件）と比較して大幅に增加了。行政報告、苦情を除く事故 23 件のうち、9 件が内出血であり、その対象者全員が抗血栓薬を服薬されていた。幸い処置の必要もなく、大事にこそ至らなかつたが、抗血栓薬を服薬されている利用者は些細な圧迫や摩擦でも内出血につながりかねないため、職員は言うまでもなく、利用者家族に対しても注意喚起を行うことにより、事故の防止に努めている。

行政報告の内訳は、未与薬が 3 件、車椅子からの転落が 1 件であった。与薬に関する事故については、各事業所で毎年発生していることから、要因を明確に分析し、都度「与薬手順書」および利用者ごとのケアプランに反映させて標準化を図ることにより、事故防止と発生頻度の低下に努めている。

車椅子からの転落事故については、介助者が移乗後にフットサポートを探していた際に転落が発生した。当該利用者には前屈運動などの不随意運動が見られ、當時観察を要する状態であった。このため、「いかなる場合でも当該利用者から目を離さないこと」および「必要物品は移乗前に手の届く範囲に準備しておくこと」を再発防止策として明文化し、共有した。

17 第二偕楽園ホーム訪問看護ステーション

令和6年度は、看護師4名、作業療法士1名の計5名で事業を開始したが、同年12月に常勤看護師1名が退職した。退職理由は、当該看護師に対し他法人から高待遇での勧誘があり、引き留めのため複数回の面談を実施したもの、最終的に退職の意向は覆らず、令和6年度の離職率は前年度（16.7%）を上回る20%となった。当該看護師は入職時より、併設された看護小規模多機能型居宅介護に対する知識や経験を積み重ね、将来的な独立を視野に入れていた。その意向を踏まえ、さらなるスキルアップやモチベーションの向上につながる教育環境等が提供できていたとしたら、法人や所属事業への愛着、帰属意識も自然と向上し、別の結果が生まれたかもしれない。

このような状況を受け、訪問看護ステーション所長を中心に、離職率の低減および新規職員の採用に向けた取り組みを実施した。具体的には、就労条件(給与、休日、所定勤務時間等)について、近隣事業所と競合可能な水準となるよう法人上層部へ改善を働きかけるとともに、ハローワーク、ナースバンク、スカウト、紹介会社等を通じて毎月1回の求人掲載や説明会への参加、スカウト、紹介依頼を行い、採用活動を継続した。

その結果、令和6年12月末までに正看護師3名、理学療法士1名の採用に至ったが、採用した看護師のうち2名が年度内に退職したことから、職員体制は依然としては安定しているとは言い難く、令和7年度に向けた課題を残す結果となった。入職から短期間で退職に至った理由については、個人的要因に帰属するところが大きいかもしれないが、早期退職防止の観点から、職員が定着しなかった要因を組織的要因と捉えるなど、より内省的評価および対策が求められる。

経営面においては、訪問看護師の人員確保によって、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護、初音の杜への適正配置を図り、居宅介護支援事業所および医療機関への営業活動も行った。また、令和6年度制度改正に対する事業所内の共通理解を深めるために、毎月のミーティングの場において勉強会を開催した結果、職員全体において統一的なサービス提供が可能となり、取得可能な新規加算をすべて取得し、訪問看護ステーションとして過去5年間で最高となる収入25,390,686円、当期活動増減差額9,050,537円を記録した。前述の職員離職の影響により、年間利用率は令和5年度の135.71%から令和6年度は116.41%、年間訪問件数も2,117件から1,816件に低下したものの、年間登録者数については321人から409人に増加し、必要最低限の人員配置で過去最高益を生み出す結果となった。

なお、令和6年度の事故および苦情は2年連続で共に0件であり、利用者への安全かつ質の高いサービス提供が維持されていることがうかがえたが、同時に要望も0件であったことは課題となった。

18 企業主導型保育所かいらくえん

令和6年度は園児7名（企業枠2名、地域枠5名／0歳児2名、1歳児1名、2歳児4名）でのスタートとなり、年度末には園児が9名となったものの、定員である11名を満たした月はひと月もなかった。地域においても認可保育所の待機児はほとんどおらず、また当園は3歳児以上になると転園を余儀なくされるため、認可外保育所である当園への入所希望者は、認可保育園に入ることができず空きが出るまでの一時入園にとどまっていた。開設から6年を経過し、良好な運営をしていることで所管の児童育成協会により自社枠2名という条件が撤廃されたが、地域枠は定員の半数以下という制約があり、それを超えた場合には補助金対象外となっている。

開設に当たっては、地域密着型特別養護老人ホームである第二偕楽園ホーム開設に自社や地域連携企業職員の福利厚生の一環としての役割を果たす目的もあったが、開設7年目にして園児の定員充足が出来ず、自社職員からの入園希望が無いことが喫緊の課題となっている。

令和5年度より始めたドキュメンテーション（子どもの活動を写真や動画、音声、文字などで視覚的に記録する教育思想の一つ）が定着し、職員が毎月の会議で事例検討に使用したり、年度末の「成長展」では総まとめとして展示したりすることで、保護者や地域の方々にも子どもの成長を伝える機会となった。

なお、「成長展」は、第二偕楽園ホーム主催の「芋煮会」と同日開催としたため、法人職員、利用者、利用者家族、地域の方々にも広く参加してもらい、法人行事として大きな地域貢献となった。

地域へのPRとしては「かいらくえんだより」を隔月で発行し、地域の市民センター2か所や子ども家庭支援センターなどに掲示するとともに、近隣3町会にも回覧を行った。SNSはインスタグラムと法人ブログにおいて週1回の発信が定着し、回数を増やすことでフォロワー数も増え、同業者の保育内容や高齢者との関わりに関する情報収集にも役立っている。また、育児講座など行事のお知らせを発信することで参加者の入園に繋がった。

また、年度末の保護者アンケートでは満足度100%の高評価となり、職員の意欲向上やスキルアップにつながっている。

当期活動増減差額は令和5年度の-8,000,841円から、令和6年度は目標値である1,200,000円を大幅に下回る-7,336,472円となった。最大の要因としては、年間を通して定員充足に至らず、育休明けまでしっかり休業する家庭が増え、さらに近隣の認可保育園に空きがある状況のため利用単価の高い0歳児の受け入れが少なかったことや第3子以降で保育料徴収が無償化された園児が多かったことが挙げられる。

また、保護者のニーズにより朝の延長保育や土曜日保育を実施するための職員も必要となり、配置基準を満たすために超過勤務が生じた。職員のほとんどが非常勤であるため、それぞれの事情に合わせて勤務時間の調整を細かく行い、家庭との両立に配慮しながら、良好な人間関係を保つことができた。

光熱水費や食材費の高騰に対しては削減に努め、特に給食費については職員がスーパーで食材を購入するなどの工夫により、前年度比+1,776円に抑えることができた。

同一拠点の高齢者施設との交流については、令和5年4月よりリトミック（音楽遊び）

を毎週開催し、歌や手遊び・体操などを共に楽しむ活動が定例化されている。

事故・苦情については、年度を通して受診に至るような事故や怪我、苦情もなく、年度末に実施した保護者アンケートでは、異年齢保育・高齢者との関わり、食育や季節行事などの体験型保育および保護者への育児支援について高評価をもらい、満足度100%となつた。今後もさらに活動の充実を図りながら、保護者に安心して利用してもらえる地域の育児拠点に向けて邁進していく。

「主な活動」としては以下のとおりである。

【広報】

地域向け「かいらくえんだより」を年6回発行し、回覧板にて近隣3町会に配布・市民センターおよび事業所内に掲示した。また、ブログ・インスタグラムなどのSNSで日常の様子やお知らせなどを配信（毎週）、加えて連携企業に空き状況を随時報告し、保護者の職場にも園児募集依頼を行った。また、法人行事の際には職員が必ず参加し、園児募集をアピールする機会とした。

【食育】

年度を通して季節の野菜を栽培し、子ども達が収穫し手を加えながら給食時に提供した。また、日常においても給食に使う野菜の下処理を園児が手伝い、行事の際には行事食を楽しんだ。今年度は新たな取り組みとして、お弁当給食を戸外で食べる日を設け、令和7年1月より近隣の農園を借り、第二偕楽園ホーム全体で野菜栽培に取り組み始めた。年度末の成長展では、給食で使用する出汁や人気のおやつの試食、人気レシピ配布を行い、好評を博した。

【行事】

季節の行事において、同一拠点の高齢者施設を訪問した。秋の「ミニ運動会」や年度末の「成長展」と「芋煮会」の同日開催など、高齢者施設との関り強化に努め、お互いに徐々に定着化させてきている。

【職員研修】

毎月、基本全職員参加の保育課会議の場において、職員の共通認識を高めるための内部研修（フォトカンファレンス・人権擁護・保護者対応など）を実施。また、個人別研修計画の下で外部研修にも参加し、研修報告で周知した。

【保護者】

園だよりに子育て情報コラムを掲載（毎月）。懇談会では園児の日常の様子を写真・映像を交えながら解説した。また年度末の「成長展」では、園児の成長過程を写真とコメントで解説し、1年間の成長を感じてもらうことができた。

19 八王子市地域包括支援センター大和田

令和 6 年度は令和 9 年度までの八王子市との地域包括支援センター運営業務委託契約を締結した。その業務の中で、八王子市が新たに設けた「地域リハビリテーション活動支援事業利用率向上事業」（成果に連動した委託料）を重点目標のひとつに掲げ、令和 6 年 4 月から 11 月までの介護予防ケアマネジメントの実利用者数に対する、地域リハビリテーションまたは食ナビとの同行訪問件数を、八王子市から示された最大指標である「14%以上」とすることを目指した。

これまで、職員間でも同行訪問の活用を相談業務に結び付ける意識が希薄だったが、包括支援センター会議にて、同行訪問数の実績確認や同行訪問に結び付けた職員からの留意点の報告と共有などを重ね、職員が相談時に提案の一つとして紹介できるように努めた。日々の総合相談利用者を中心にアセスメントを実施し、住宅改修や転倒予防、日常生活の中での不安により、介護保険の申請や介護予防に向けて、同行訪問が有益と判断された方に対し、その必要性を説明するとともに、専門職からのアドバイスを在宅で受けられる機会として同行訪問を積極的に活用するよう促した。その結果、歩行状態が不安定な方が、理学療法士のアドバイスで通所 C を利用。本人に適した歩行器を選定してもらい、通所 C 利用終了後も歩行に不安なく、近隣の体操教室に通うことが出来ているなど介護予防に効果的につながったケースもみられている。

最終的には、介護予防ケアマネジメント 93 件に対し、同行訪問を 15 件実施し、16.1%と目標を上回る実績となった。これにより、成果連動委託料の満額である 600,000 円を獲得し、令和 6 年度の目標としていた受託収入 43,730,000 円を達成することができた。

なお、令和 7 年度分の同行訪問件数のカウントは、令和 6 年 12 月から令和 7 年 11 月までとされており、目標値は前年から 1 ポイント引き上げられた「15%以上」であるため、今後も継続的な取り組みを推進していく。

地域ケア会議については、令和 6 年度の委託契約仕様書において、「地域課題型」「自立支援型」「個別ケース型」をそれぞれ 3 回以上、合計 10 回以上開催することが明記された。センターでは、見守り体制の構築を重点としたことから、「地域課題型」を 4 回以上実施する計画を立てた。第 1 回は令和 5 年度の地域ケア会議にて開催した薬局とのつながりを目的とした会議の続編として、災害時に薬局ができることについての情報交換を行ったが、第 2 回以降は、見守り体制の構築に向けて「都営大和田 1 丁目アパート」にて開催し、協議体へとつなげた。第 3 回は、市営大谷団地と市営大和田団地の自治会役員と開催し、都営大和田 1 丁目アパートの取り組みを紹介することで、住民自らが見守り活動を考える機会とした。

「自立支援型」は、通所 C を利用した方を対象に年 3 回開催した。通所 C 利用終了後に在宅生活を継続し、その人らしく取り組める介護予防について、本人の意向を確認しながら検討した。

また、「個別ケース型」については、月 1 回の頻度で困難事例についての検討会議を実施しており、多様な課題を有するケースについては「個別ケース型」を活用した。検討されたケースとしては、介護者に精神疾患があることで、介護が必要である親に適切に支援が困難であるケースや、親子二人暮らしだったが地域とのつながりが希薄で、親が亡くな

っていることを認識できないまま、遺体が1年以上放置されていたケースなど、複合的な課題を抱えているケースが多く抽出された。これらのケースを「個別ケース型」にて検討したことで開催が6回となり、当初の予定を上回った。「自立支援型」と「地域課題型」については、それぞれ3回ずつ実施し、合計12回の開催となった。

地域ケア会議と併せて、「8050問題」や「ヤングケアラー」など、課題を抱える家族の実態把握、早期発見、早期対応に向けた取り組みとして、圏域周辺の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員を対象にアンケートを実施した。17事業所、37名から回答を得た結果、圏域内で8050問題として把握している件数は5件、ヤングケアラーは0件であった。自由意見の中には、同居家族の課題までは把握することが困難であるとの声もみられた。「個別ケース型」や「地域課題型」ケア会議にもあるように、多様な課題があり、自ら発信ができない状況である世帯であることに気づき、支援につなげていくためにも、地域での気づきと見守る体制が必要であることを改めて認識することができた。今後、はちまるサポートとも連携を図りながら、実態把握や早期発見ができる仕組みづくりとして、見守り協力者を増やしていくための地域住民への啓発活動を進めていく。

介護予防普及啓発事業の内、八王子市から年6回以上の開催が求められている「認知症サポーター養成講座」については、当初から予定していた大和田市民センターおよび南原台団地での開催に加え、八王子市の依頼を受け、市内センターが持ち回りで開催する形で市職員を対象とした講座を実施し、年間計6回の講座開催を達成した。

また、これまでセンターが主体的に実施してきた「ぽれぼれ体操」や「太極拳」については、準備や片付けに参加者が中心に携わるように働きかけ、令和7年度以降、参加者が主体的に運営できるような仕組みを検討し、説明も行った。

「家族介護者教室」では、男性介護者対象に、ボランティアによるコーヒーの淹れ方講座を開催した。コーヒーを飲みながら介護をしている男性同士で相談や、会話を楽しむ時間を設けることができた。コーヒーの淹れ方を学べたことで「介護の合間にリフレッシュするきっかけしたい」「同じ介護の悩みの共有や介護方法を参考にしながら、友人関係を築く機会となった」といった声を聞くことができた。今後も半年に1回の開催を継続し、情報共有や気分転換を図れる場としていく。

また、講義形式で11月に「落語調 終活相続セミナー」と2月に「エンディングノート」について外部講師を依頼して開催した。それぞれ10名前後の参加で、参加者アンケートによると、実際に介護しているもしくは介護経験がある方は半数程度であった。この結果を踏まえ、居宅介護支援事業所やデイサービスなどのサービス事業所の協力のもと、介護者が希望する介護者教室の内容や開催曜日・時間帯・開催場所に関する調査を行い、次回以降の開催内容にその結果を反映して企画する。

20 八王子市地域包括支援センター大和田（生活支援体制整備事業）

令和6年度は、前年度の地域課題型地域ケア会議で検討されていた防災に関する課題の中から、水害について検討する協議体の発足を目標とした。これに関しては、はちまるサポートと連携しながら協議を進めたが、水害に最も関係するエリアの複数の町会の中でも、町会独自で外部講師を招いて町会員向け防災講座を開くといった活発な活動が見られる

町会と、具体的な取り組みがされていない町会があり、複数の町会間で防災への関心や取り組み姿勢に差異があり、意見の対立や関係性の悪化が懸念された。そのため、防災に関する取組は、まずは町会とセンターで信頼関係を構築することを優先し、今後の協働に向けて慎重に進める方針とした。

一方で、センター内では、高齢単身世帯などの支援を要する住民が多く居住する「大和田一丁目団地」において、住民から「見守りの仕組みを住民主体でつくりたい」との相談が寄せられた。これを受け、大和田一丁目団地自治会をはじめ、住民、JKK 東京、くらしの友、ALSOK、民生委員などと連携し、見守り体制の構築を目的とした協議体を発足した。センターはアドバイザーとして継続的に関与し、通報体制や課題対応の仕組みについて意見交換を重ねながら、地域住民と協働して運用を開始した。運用を進める中で来年度以降の見守りの体制側のメンバー増員に伴い、住民の個人情報の管理やセンターとの連携方法の理解などについて、運用を進める中で新たな課題も見えてきており、体制の継続と定着を図るため、今後も定期的な協議の場への参画を継続していく予定である。

また、「スマホ教室」については、一定のスキルを習得した受講者が次のステップへ移行できるよう、「卒業」の仕組みを新たに導入した。その結果、令和6年度は11名がスマホ教室を卒業し、住民主体の「お茶会」という交流へと移行し、地域内での関係づくりを継続している。

これに伴い、目標として令和5年度の新規受け入れ人数である15名を上回り、令和6年度は19名を受け入れることができた。今後も、基本的なスマホ操作を習得した高齢者が、地域の交流の輪に加わることで社会的孤立を防ぎ、地域参加とデジタル活用を通じた介護予防へつなげる取組を継続していく。卒業生には「お茶会」などへの参加を促し、教室の新陳代謝を図るとともに、住民主体の活動への移行を推進していく。

21 八王子市地域包括支援センター大和田（認知症地域支援事業）

令和6年度は、「チームオレンジの拠点づくり」を重点目標として掲げ、その協力者および活動場所の確保に取り組んだ。認知症サポーター養成講座を受講した地域サポーターや職域サポーターを対象とした交流会の開催を計画し、そこからチームオレンジの拠点形成へつなげていくことを意図していた。

そのような中、日頃より当センター開催の認知症サポーター養成講座に積極的に参加し、関連のチラシ設置を継続して行っている圏域内の薬局より、「集いの場」として協力いただける旨の申し出があった。薬局を拠点として、近隣にある医療機関や居宅介護支援事業所、デイサービスの専門職の協力も得やすい上に、人の集まるスペースを確保できるという利点があった。そこで、この申し出を受け、当初4回を計画していた交流会の開催を1回に変更し、薬局との調整を行った。その結果、同薬局にて認知症サポーターの協力を得ながら、「ハートフルカフェ」を令和6年9月、12月および令和7年3月の計3回を実施することができ、認知症当事者、介護者、支援者が集う場所を立ち上げるに至った。

この「ハートフルカフェ」を開催したことをきっかけに、過去に認知症サポーター養成講座の受講者を対象に開催している「ステップアップ講座」を受講した約25名の中で、活動を積極的に希望されているサポーターに、協力を依頼した。その結果、これまで圏域

内の活動に参加した認知症サポーターは、令和5年度は0人だったが、令和6年度には「ハートフルカフェ」に6名、以前から開催していた「大和田オレンジカフェ」にも2名が活動の支援者として、参加するようになった。今後もチームオレンジの拠点としての機能をより高めるべく、参加者と意見交換を行いながら運営体制の強化を図っていく方針である。

また、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちづくりを目的とした全国的な取り組みである「オレンジガーデニングプロジェクト」にも参画した。本プロジェクトは、認知症について考える機会を提供し、地域住民が認知症の人と一緒に花を育てるなどの活動を通じて、地域社会とのつながりを深めることを意図している。

当センターでは、大和田圏域の中心に位置する大和田市民センターの協力を得て、市民センターの花壇において、認知症サポーターとともにマリーゴールドなどを植栽した。また、花壇のそばにプロジェクトの主旨を掲示し、地域住民に向けた啓発活動・PRを実施した。

22 八王子市地域包括支援センター大和田（介護予防支援事業）

令和6年度は、地域とのつながりを深め、地域住民に困りごとが生じた際には速やかに高齢者あんしん相談センター大和田へ連絡が入り、必要な方に対して介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業へと円滑につなげる体制を構築することを目標に取り組んだ。

そのために、ぽれぼれ体操、太極拳、スマホ教室などの介護予防教室や講座を、地域住民向けに毎月1回以上実施し、また、地域の自治会や町会が主催する各種イベントにも積極的に参加した結果、介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業の新規利用者件数は、当初目標である年間30件を大きく上回る81件となった。

事業利用の内訳としては、身体状況の改善によりサービスを終了した方が10件、身体状況の変化により要介護になった方が39件。その他、圏域からの引っ越しや施設入所、入院、逝去で終了となった方が7件となり、合計56件が利用を終了した。

令和6年度に新規で介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業を新規作成した件数は81件に上っており、令和5年度の51件と比較して30件増加している。介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント事業の利用対象者は、転倒不安など軽度な身体機能低下を感じて相談される方が多いが、退院時の医療機関の他、本人や家族が近隣住民や友人、民生委員からセンターへの相談を勧められることが多くなっている。

令和6年度に目標としていた自作の給付管理件数「月88件以上」についても令和6年9月に早期に達成し、その後も令和7年3月の給付管理に至るまで、90件を超える水準を安定的に維持することができた。

その結果、当該事業所による令和6年度の当期活動増減差額は、目標額である100,000円以上を大きく上回る425,000円となった。

23 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野

令和6年4月1日より指定管理を受託した八王子市高齢者在宅サービスセンター中野ならびに高齢者集合住宅（シルバーピア）において、地域に本事業を認知してもらい、地域とつながりを深め共生を図ることを目的として運営を開始した。

事業開始当初は、エアコンの故障、通信機器等の整備が遅れたことにより、サービス提供に専念できない状況でのスタートとなつたが、まずは法人が変わったことを地域に周知するため、4月29日「花まつり」を開催した。当日はデイサービス内を開放し、ボランティア、地域の皆様との交流の場を設け、法人の理解、職員との顔の見える関係の構築に努めた。そのことにより町会との結びつきを深められ、町会納涼祭に積極的に参加、協力したことにより今後のデイサービスセンター中野の期待も高まった。

さらに、ISO9001の認証取得に向けて、4月から関連する要領・手順を作成し運用を開始し、5月の内部監査を実施、サービスの標準化に向けた取り組みやマニュアル構築により8月に更新審査により認証を受けた。

サービス面では、利用者個々の機能に応じたレクリエーションを毎日行い、行事や買い物などの機会を毎月提供し、利用者満足度アンケートで効果測定を行った結果 97%の利用者家族から「満足している」ならびに「概ね満足している」と回答が得られたが 100%には至らなかった。3%対する要因としてご家族とスタッフとの関係構築ができておらず、家族の不安や連絡の周知が徹底できていない点などが挙げられた。これ以降連絡帳のこまめな情報活用で家族からは非常に高い信頼を得られるようになった。

財務面では、収支差額プラス 90,000 円を目標とした。利用率は4月に 67.6% から始まり、12月には 90% 台に達し、3月は 102% となった。利用率は向上しサービス活動収益は 71,329,063 円と増収したが、当期活動増減差額は 15,094,245 円の赤字という結果だったことに対し、稼働率の低迷、年間平均介護度が 1.6 であったことや前法人の 50 名規模の職員配置を引き継ぐ形となった業務体制などによる人員配置、移行時の業務過多による超過勤務など人件費率 94.49% と改善の余地があることが赤字の原因といえる。次年度の安定運営ならびに人件費削減についての対応策として、利用定員 30 名から 5 名増加し、年間利用率 93% を目標にすることで増収を見込む。超過勤務の時間数を前年比 30% 減にするとともに、非常勤看護職員 4 名を初音の社デイサービスへの派遣を行い人件費率 73% の目標とする。

さらに、機械浴層を導入した事で入浴サービスの幅を広げ、地域で過ごす中重度介護を要する方など幅広い利用につなげるため、居宅介護支援事業所にアピールしていく。

サービスの課題として、退院後の支援体制が十分ではなく、再入院や介護度の悪化が懸念されるほか、身体機能の低下や認知症予防プログラムの不足、レクレーション活動の選択肢の少なさなどが課題となっている。

総合的な課題として、地域の高齢者福祉の拠点としての機能強化を図り、利用者数の増加、サービスの充実、職員の労働環境整備が必要となっている。

24 シルバーピア中野

シルバーピア中野における生活援助員派遣業務においては、令和6年度は指定管理初年度として利用者が混乱することのないように全入居者に対し戸別訪問を行い法人変更の経緯、事業計画の概要など丁寧に説明し、信頼を得るように努めた。

一方で団らん室の活用による趣味いきがい活動などについて親族来園時に貸し出しなど行ったが、趣味生きがい活動にはつながらなかつたほか、買い物代行については前法人が取り組んでいたことに対してニーズが低いということで継続しなかつた。意向調査などの実施がなく、代替策や形になるような取り組みが必要である。

収入は4,422,840円で当期活動増減差額は、786,227円となつた。

こうしたことから、関係機関との連携強化、利用者との信頼関係の構築、地域交流の促進、配食サービスの維持・拡充・経営の効率化など課題が残つた。

25 第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅

令和6年度は当期活動増減差額120,000円（年間平均ベッド稼働率99%、支援費・共益費収入96%、食事代収入92%）の黒字達成を目標とし、地域福祉部部長および主任生活相談員が連携して、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、不動産業者などへの営業活動を行つた。

営業に際しては、直接訪問の際に、YouTube動画を活用し、サービス付き高齢者向け住宅の特色や法人の強みを分かりやすく説明した。併せて、当該事業のみならず法人内各事業の収益向上を図るため、入居契約時には法人内サービスの利用意向を確認し、関係各所への確実な引き継ぎを行つた。

その結果、年間の平均ベッド稼働率は99.60%、生活支援費収入94.61%、共益費収入100%、食費収入71.81%となつた。当期活動増減差-1,548,718円と黒字には至らなかつたものの、前年比では1,242,236円の改善をみせた。特に、平均ベッド稼働率（前年95.26%）の上昇、生活支援費および共益費収入（前年93.45%）の伸長、食費収入（前年66.83%）の増加など、いずれもの指標も前年度を上回る結果となつた。

この要因としては、主任生活相談員が中心となって入居者との日々のコミュニケーションを密に図つた結果、入居者の些細な体調変化を察することが可能となり、医療従事者などへの速やかな情報提供が実を結び、令和7年2月まで入院による長期不在が発生しなかつた。これにより家賃および共益費収入が安定していたことに加え、年度を通じて常時入居待機者が存在していたため、令和7年3月に2名の退去が生じた際も迅速な入居につながり、空室が生じなかつたことが挙げられる。通年にわたる入居待機者の維持・確保については、上記の営業努力の結果に他ならない。

一方で、選択サービスによる収入は、前年度の432,300円から22.88%減の333,400円となつた。令和7年度は入居者アンケートを実施し、入居者から「どのようなニーズの充足が不足していたのか?」、またそれに対し「どのような選択サービスを導入すべきなのか?」をアンケート結果から抽出し、外泊旅行支援など、より入居者のQOL（生活の質）を高める選択サービスの導入を検討する予定である。

事故・苦情については、令和6年度は事故が3件(うち行政報告案件2件)、苦情は0件であった。行政報告対象の内訳は、誤与薬が1件と入居者同士のトラブルによる頭部受傷1件であった。特に誤与薬については令和5年度にも発生しており、生命に関わる可能性のある重大事故であることから、再発防止が急務である。

これに対する対策として、薬剤提供時には、食事テーブルに表示された氏名と薬袋に印字された氏名を照合し、利用者に聞こえるように「○月×日 ○○様 夕食後薬」と読み上げること、さらにその内容を「サ高 配薬確認簿」に記録する対応を徹底した。

なお、令和7年3月末日現在、入居者12名中11名が、法人が運営する介護サービス（看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護）を利用している。

III. 施設の運営管理

1 各事業のできごと

4月

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	催業園ホーム	初音デイ	グループホーム	第二催業園ホーム	デイ中野
1	月	コングラミアンス委員会			ミーティング	PT体操 花見外出	SS第二連絡会	
2	火	らくらくサロン	火曜コンサート	麻雀				
3	水	買物外出		手芸、閉幕	音楽療法	多職種連携会議		
4	木			車輪送迎ミーティング 麻雀		安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント ト・拘束隊委員会 導入機器検討委員会	スマイルバンド	
5	金	令和5年度人材育成促進支援事業に係る基準報告書締切 地域交流会認知症サポート養成講座						
6	土	第59回滝山城跡校まつり			滝山城址祭り			
7	日							
8	月	管理課会議 品質管理室会議	介護支援専門員研修	火曜コンサート	麻雀	口腔ケア委員会		
9	火	VTR 雇保・育成委員会	らくらくサロン					
10	水		買物外出	カラオケ	閉幕	音楽療法		
11	木	苦情解決・リスク・拘束禁止委員会		2階理髪 キーボード Pトレ(外出)	麻雀	ブリザーブドフラワー		
12	金	医事委員会	介護支援専門員研修	ハーモニカボラ			伊東先生の会	
13	土	広報委員会	お花見会(皆) 勝手袖社祭礼				保育課会議	
14	日							
15	月	経営幹部会議、安全衛生・感染症 職員会議	介護支援専門員研修	火曜コンサート	日本舞踊、体操	初音の壮大規模修繕ワーク キンクチーム会議		
16	火	口腔ケア委員会	らくらくサロン					尺八
17	水	介護課長係長会議 専入機器検討委員会 員会	買物外出 機能訓練指導員研修 委員会	傾聴がラ(ハーモニ カ)		音楽療法	安全管理委員会 感染症対策委員会 医療行為検討委員会 食事委員会 訪問歯科高論会	
18	木	排泄制御委員会		訪問美容	麻雀、ハーモニカ演奏	訪問美容	褥瘡・排泄委員会	
19	金	品質管理室会議 相談支援課会議					訪問理髪 ホスピタリティ委員会	
20	土				園芸			
21	日							
22	月	経営人事戦略会議 営業会議	ケアマネジメント研修会議	茶道			経営コンサル会議	
23	火	災害対策委員会 訪問会議	らくらくサロン 総合防災訓練	火曜コンサート	麻雀、園芸	課長会議		
24	水	企画・情報室会議 カンファレン ス事前会議	買物外出 少年友の会総会	閉幕	音楽療法	カンファレンス事前会議	日本舞踊	
25	木		八王子社会福祉法人理事長会		麻雀、園芸		元気お届け隊	
26	金			3階理髪 わらべ歌				
27	土				園芸			
28	日							
29	月	DS中野 花祭り			DS中野 花祭り		花まつり	
30	火	らくらくサロン	火曜コンサート	麻雀、書道、音楽レク、 園芸				

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グレーフホーム	第二階楽園ホーム	トイ中野
1	水	買物外出		華道	編み物、開基、華道	音楽療法	多職種連携会議	
2	木	菖蒲湯（皆）自		麻雀、園芸				
3	金	菖蒲湯（皆）	2階理髪					
4	土	つづじ祭り 菖蒲湯（皆） 地域交流会 「介護アロマ」～香りに癒されながらハンドマッサージを体験しませんか ハート5～		園芸 つつじ祭り	つつじ祭り	つつじ祭り	つつじ祭り	
5	日							
6	月							
7	火	らくらくサロン	火曜コンサート	麻雀	訪問歯科			
8	水	買物外出	カラオケ	編み物、開基	アリザーフドフラー、 樂楽法	安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束機器検討委員会 導入機器・訪問歯科	閉基	
9	木			園芸				麻雀
11	土	広報委員会		風船バレー				スマイルバンド
12	日							
13	月	管理課会議 感知評ケア向上委員会 品質 内部監査事前会議						
14	火	火曜コンサート 一五戸共栄会 監事監査	火曜コンサート	麻雀、園芸	訪問歯科			
15	水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会 買物外出 ケアマネジヤー研修委員会		閉基	音楽療法			閉基、ハーモニカ演奏
16	木	締結相談委員会 入所判定委員会		訪問美容				麻雀
17	金	相談支援課会議		3階理髪				編み物、傾聴
18	土	介護職員研修会		園芸				傾聴、足ハ
19	日	経営幹部会議 安全衛生・感染症 会議 医療行為検討 看護課 職員						
20	月	看護職員研修委員会 監事監査 合和6年度第1回総会・講演会			PT体操			
21	火	口腔ケア委員会	火曜コンサート	日本舞踊、麻雀	訪問歯科			元気お届け隊、傾聴
22	水	企画・情報室会議 カンファレン	買物外出	手芸、閉基、音楽レク	音楽療法			訪問歯科 カンファレンス事前会議
23	木	合和6年度新規学校卒業者求人申込説明会		麻雀、書道、園芸	ユニットミーティング 1.27日			閉基
24	金	Pトレ（外出）	星食準備					傾聴
25	土	第1回 一五戸共栄会 理事会						
26	日	みんなの町の清掃デー						
27	月	経営・経営コンサル経営人事戦略 会議 営業会議	茶道	星食準備	PT体操			経営コンサル会議
28	火	災害対策委員会 訪問会議	らくらくサロン 内部監査 東京ケアリーターズ東京ケアリー	火曜コンサート	麻雀	訪問歯科	災害対策委員会 第二課長係長会議 内部監査	シルバーターボルズ
29	水	臨時定例会介護支援専門員研修会						内部監査
30	木	職員夜勤者健康診断 内部監査		閉基				内部監査
31	金	ボランティア懇親会	わらべ歌	園芸				麻雀

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	トイ中野
1	土	第1回 理事会		園芸		地域交流会	理事会	吉道
2	日							
3	月	コンプライアンス委員会			PT体操			
4	火			火曜コンサート	訪問歯科			傾聴
5	水	買物外出 機械訓練指導員のための多職種連携に活かすコーチングスキル講座	華道	用基、華道	音楽療法	訪問歯科	フルート演奏	
6	木	令和6年度定期会		麻雀				麻雀、尺八
7	金		2階理髪					
8	土	広報委員会	地域交流会 「夏を元気に過ごす健康レシピ」 懇問 お花と動物の映写会 (皆楽園ホーム)	園芸		保健課会議		
9	日				おやつレク			
10	月	管理課会議 品質管理室会議	東京純心大学令和6年度看護学実習の受け入れ	火曜コンサート	PT体操	第二家族親睦会		
11	火	V r 確保・育成委員会	らくらくサロン 東京純心大学令和6年度看護学実習の受け入れ	麻雀、園芸	訪問歯科			
12	水	買物外出 東京純心大学令和6年度看護学実習の受け入れ 東京都立南大沢学園見学会	カラオケ	用基	あじさい外出 音楽療法 ト・リストランチマネジメント・専門検査委員会	安全管理部門・苦情解決・リクルート・専門検査委員会 導入機器検討委員会 訪問歯科	明基	
13	木	苦情解決・リスク・拘束廃止委員会	令和6年度第1回 八王子施設会役員会	麻雀	アリザードアラワー			麻雀、伊藤先生の会
14	金	食事委員会		園芸				華道
15	土		風船バレー					
16	日				初音の杜大規模修繕ワーキングチーム会議 PT 体操			
17	月	経営幹部会議、安全衛生・感染症・職員 教育会議 医療行為検討会議		火曜コンサート	日本舞踊、麻雀、園芸	訪問歯科		
18	火	口腔ケア委員会						
19	水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会 貿易外出		用基	音楽療法	安全衛生委員会 感染症対策委員会 医療行為検討委員会 訪問歯科(高論会)	ハーモニカ演奏	
20	木	禡縄掛泄委員会	自衛消防審査会事前放水	書道 訪問美容	麻雀、ハーモニカ演奏、訪問美容	禡縄・掛泄委員会		麻雀、お手玉
21	金	介護課会議 品質管理室会議 生涯性向上委員会	自衛消防審査会事前放水 令和6年度雇用主研修会 パワーハラリ	3階理髪		訪問理髪 ホスピタリティ委員会		傾聴
22	土		第1回 評議員会					
23	日							
24	月	経営入軒戦略会議 営業会議	茶道	PT体操	経営コンサル会議			
25	火	災害対策委員会 訪問会議	施設管理者向けマネジメント研修第1回	麻雀	訪問歯科	第二黒長係長会議		
26	水	企画・情報室会議 カンファレンス事前会議	買物外出 合和6年度第1回障害者就職面接会	用基	あじさい外出 音楽療法	訪問歯科 カシファン・レンス事前会議	明基	
27	木		八王子勤労者浴仙サービスセンター定期総会 令和6年度八王子市高齢者教育医療体制広域連絡会定期総会	麻雀、書道		訪問美容		麻雀、傾聴
28	金	地域福祉部研修 「ユニチユード 高齢者が安心できるケア」 自衛消防訓練審査会 介護職員のオンライン情報交換会	わらべ歌 Pトレ (外) 園芸			編み物		
29	土	一五戸共栄会 社員総会	評議会 東京純心大学看護学部 宣誓式					
30	日							

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グレーフホーム	第二階楽園ホーム	トイ中山野
1	月				PT体操			
2	火	七夕飾り(僭) チームマネジメントを学ぶ研修会スタートアップ	華道	麻雀	手芸、開基	鑑木Dr診察 音楽療法	訪問歯科連携会議 多職種連携会議	傾聴
3	水			麻雀				開基
4	木			麻雀				麻雀
5	金	都議選、都知事選不在者投票 地城交渉会「看取り介護 施設で看取ること 在宅で看取ること」						
6	土	広報委員会 越野施設長	買物外出	カラオケ	開基	音楽療法	新谷Dr 診察	保育課会議
7	日			麻雀		ブリザーブドフラワー		傾聴
8	月	認知症ケア向上委員会 品質管理 ケアマネジャー研修委員会			告別解決・リスク・拘束緩和委員会	告別解決・リスク・拘束 緩和委員会		車道
9	火	防災担当職員研修 加住町・宮下町土地区画整理組合設立準備会		麻雀、園芸				スマイルパンド
10	水			カラオケ	開基			
11	木	告別解決・リスク・拘束緩和委員会 『つながれ ひろがれ ちいきの輪』in 東京』情報交換会・説明会		麻雀		告別解決・リスク・拘束 緩和委員会		元気お届け隊
12	金	会食委員会						
13	土							
14	日	加住町・宮下町土地区画整理組合						
15	月	管理課会議						
16	火	口腔ケア委員会						
17	水	経営幹部会議、安全衛生・感染症 対策会議行為検討看護課長係長会議 導入 機器検討委員会		日本舞踊、麻雀	開基	経営幹部会議・安全衛 生・感染症対策委員会 医療行為検査会議	慰靈祭	
18	木	相談指揮委員会		訪問美容	ハモニカ演奏、麻雀	訪問美容	総務・拠点会議 総務・拠点会議	
19	金	相談支援懇親会品質管理室会議 生産性向上委員会		Pトレ(外出)			訪問美容	福み物、傾聴
20	土			風船パレード				
21	日							
22	月	経営人事戦略会議		茶道	PT体操	経営コンサル会議		
23	火	災害対策委員会 訪問会議		火曜コンサート	麻雀		第二課長係会議	傾聴、フルート演奏
24	水	企画・情報室会議						
25	木							
26	金	火災対策委員会						
27	土							
28	日							
29	月							
30	火							
31	水	カンファレンス事前会議		麻雀	開基		訪問歯科	カンファレンス事前会議

1 木	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	トイ中野
2 金			2階理髪				麻雀
3 土							書道
4 日							
5 月	コンプライアンス委員会	らくらくサロン 次世代管理職研修「事業を推進していくリーダーの考え方を学ぶ」	頬聴ボラ	PT体操			
6 火			火曜コンサート	麻雀			傾聴
7 水	買物外出		華道	音楽療法 ふれあい訪問	訪問歯科	朋基、傾聴	
8 木		吉情解決・リスク・拘束禁止委員会 地域福祉研修「生産性向上推進体制加算取得と高齢者福祉施設における実効性のある生産性向上への取り組み」	麻雀	ブリザードフラー		麻雀、ハーモニカ演奏	朋基、傾聴
9 金	食事委員会	地域交流会					華道、傾聴
10 土	広報委員会					保健課会議	
11 日							
12 月	管理課会議 品質管理室会議	らくらくサロン 利用者メントダン サーベイランス審査	火曜コンサート	縁日			傾聴
13 火	Vr 確保・育成委員会	らくらくサロン 利用者メントダン サーベイランス審査	カラオケ	朋基、手芸	サーベイランス審査	安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束禁止委員会導入機器検討委員会訪問歯科	朋基、傾聴
14 水	買物外出 サーベイランス審査 「地域で話題の高齢者」調査統計	訪問美容	ハーモニカ演奏	ハーモニカ演奏	サーベイランス審査	サーベイランス審査	傾聴、麻雀
15 木	海産拠地委員会		3階理髪			サーベイランス審査	サーベイランス審査
16 金	支援課会議						
17 土							
18 日	新豊野郡会議、安全衛生・監査委員会	看護職員研修委員会	頬聴ボラ	初音の社大規模修繕ワーキングチーム会議	PT 依頼	訪問理髪	傾聴
19 月	新豊野郡会議、医療行為検討委員会	看護職員研修委員会				口腔ケア委員会	傾聴
20 火	口腔ケア委員会						
21 水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会	買物外出					
22 木	品質管理室会議 生産性向上委員会	研修会「先進法人から学ぶ生産性向上への取り組み～独自の技術を取り入れた業務改善～」機能訓練指導員研修委員会	わらべ歌 PTトレ(外)	日本舞踊、麻雀	音楽療法 ふれあい訪問員	安全衛生委員会 対策委員会 医療行為検討委員会 食事委員会 訪問歯科	伊藤先生の会
23 金	会議	八王子社会福祉法人理事長会PM パワーリハビリ					
24 土		第2回 理事会 一誠会納涼祭		朋基	音楽療法 ふれあい訪問員		
25 日						海苔・俳諧委員会	麻雀、傾聴
26 月	経営人事戦略会議 営業会議		茶道		PT体操	経営コンサル会議	
27 火	災害対策委員会 訪問会議	らくらくサロン 施設管理者向けマネジメント研修第2回	火曜コンサート 流しそうめん(偽)	麻雀		第二課長係長会議	
28 水	企画・情報室会議 カンファレンス事前会議	買物外出				訪問歯科 ファンフェレンス事前会議	スマイルバンド
29 木		「第13回全国社会福祉法人経営者大会」職員研修委員会【東京都】医療機関デジタル化推進ミーティング		麻雀	おやつレク	訪問美容	麻雀、傾聴
30 金					音楽クリエーション		
31 土							

日	曜	会議・委員会等	特別行事等		クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階演劇ホール	トイ中野
1	日	みんなの川と町の清掃デー							
2	月	「看護職員のためのオンライン情報交換会」		傾聴ボラ	ミーティング				傾聴
3	火	らくらくサロン		火曜コンサート	PT体操				傾聴
4	水	買物外出		華道、囲碁	音楽療法	訪問歯科		用基、傾聴	
5	木			麻雀				麻雀	
6	金		2階理髪	麻雀				傾聴	
7	土	第2回評議員会						書道	
8	日	管理課会議 品質管理室会議	認知症ケア向上委員会	経営協セミナー(前期)	傾聴ボラ				
9	月	会議	らくらくサロン 介護労働者の雇用管理責任者講習第1回	火曜コンサート	車輪送迎ミーティング	PT体操			
10	火		買物外出		書道、囲碁	音楽療法		安全管理制度・苦情解説・リスクマネジメント・拘束廢止委員会導入機器検討委員会訪問歯科	傾聴
11	水		八王子中学校職場体験		麻雀	アリザードフラー			鶴川さんの会、傾聴
12	木	告情解決・リスク・拘束廃止委員会食事委員会	八王子中学職場体験						華道クラブ、傾聴
13	金	会議	地域交流会「在宅医療の現状・社会医療法人社団愛有会さんあい介護医療院・宮下町会防災訓練						
14	土	会議	敬老会						
15	日								
16	月	看護課 導入機器検討委員会	敬老会手品		敬老会			尺八	
17	火	口腔ケア委員会	訪問会議	らくらくサロン ケアリーダースと学ぶ看取り介護～施設での看取り介護実践のために～	火曜コンサート	麻雀、日本舞踊、園芸			
18	水	経営幹部会議、安全管理委員会議同介護課長係長会議医療行為検討会議	介護職員が押さえておきたいポイントとは～		用基	音楽療法		安全衛生委員会医療行為検討委員会食事委員会訪問歯科	用基、傾聴
19	木	褥瘡排泄委員会	安全運営管理者講習 第2回沸く沸く介護勉強会		麻雀、ハモニカ演奏	ユニットミーティング	海苔・掛泄委員会	麻雀、ハーモニカ	
20	金	入所判定会議生産性向上委員会相談支援課会議	被 moda要	風船パレード				編み物、傾聴	
21	土								
22	日								
23	月	経営人事戦略会議	営業会議	茶道				経営コンサル会議	シルバータールズ
24	火	訪問会議 災害対策委員会						第二課長係長会議	元気お届け隊
25	水	カンファレンス事前会議 情報室会議	企画・アクティブライトin東京24 西脇基金チャリティーコンサート開催	手芸、囲碁	音楽療法	訪問歯科	カンファレンス事前会議	用基、傾聴	フルート演奏
26	木			訪問美容	ユニットミーティング			訪問美容	
27	金	品質管理室会議		麻雀、書道	ユニットミーティング			12月1日	
28	土	若松神社祭礼		3階理髪 わらべ歌	おやつレク				
29	日	※若松神社祭礼							
30	月				PT体操				

10月

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	トイ中野
1	火	らくらサロン		火曜コンサート	麻雀			
2	水	買物外出 医療機関デジタル化推進セミナー(第2回応用編)	華道 音楽練法	華道 開基		多職種連携会議 訪問歯科	明基	
3	木			麻雀				
4	金	令和6年度 隣かい者合同就職面接会					雀雀、傾聴	
5	土							
6	日						傾聴	
7	月	エンブライアンス委員会	傾聴ボラ	PT体操			傾聴	
8	火	Vt 離保・育成委員会	らくらサロン	火曜コンサート	麻雀		鶴川さんの会	
9	水	買物外出 入間准看護学校懇親式	カラオケ 音楽練法	開基		安全管理部門・苦情解決・拘束薬山委員会 導入機器検討委員会 訪問歯科	明基、ハーモニカ演奏 傾聴	
10	木	木 東京都高齢者福祉施設協議会 令和6年度第2回総会 東京都看護師等キャリアアップ支援事業シンポジウム開催第1回	訪問美容	麻雀	アリザードフラー		麻雀、ハーモニカ演奏 傾聴	
11	金	告別解決リスク・拘束施設委員会	2階理髪				華道クラフ、傾聴	
12	土	広報委員会						
13	日						保育会議	
14	月	管理課会議 認知症ケア向上委員会 品質管理室会議				初音の社大規模修繕チーム会議		
15	火	口腔ケア委員会 らくらサロン 介護労働者の雇用管理責任者講習第2回	火曜コンサート	日本舞踊 麻雀		初音の社大規模修繕チーム会議	口腔ケア委員会 傾聴	
16	水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会 買物外出 「組織をより良くするための環境づくり研修 マット乾燥	音楽練法	手芸、開基		安全衛生委員会 感染症対策委員会 医療行為検討委員会 食事委員会 訪問歯科	明基、伊藤さんの会	
17	木	樹脂拠地委員会						
18	金	ホスピタリティ向上委員会 相談支援 聽会議	八王子施設長会 職員ボーリング大会	傾聴ボラ		麻雀、ハーモニカ演奏 訪問美容	樹脂・排泄委員会	
19	土	地域交流会「わがくにすまい認知症への理解12」 鈴木理事長 介護職員のための情報交換会			おやつ会		訪問理髪	
20	日							
21	月	経営幹部会議、安全衛生・感染症対策会議 居宅介護支援事業所会議 ケアマネージャー研修委員会			PT体操		介護フェア	
22	火	災害対策委員会 訪問会議	らくらサロン 施設管理者向けマネジメント研修会	火曜コンサート	麻雀			
23	水	企画・情報室会議	買物外出 チームマネジメントを学ぶ研修会ホローアップ	音楽練法	開基		第二課長係長会議	
24	木	栄養士のための情報交換会					訪問歯科(高輪会) カンファレンス事前会議	
25	金	品質管理室会議 生産性向上委員会	八王子市高齢者医療体制広域連絡会(八高速)主催 研修会	3階理髪	麻雀、音楽♪、書道		傾聴	
26	土		第8回八王子介護フェア in 加住市民センター	八王子介護フェア	わらべ歌	八王子介護フェア	凡ハ	
27	日						ハ王子介護フェア	
28	月	経営人材戦略会議 営業会議	茶道		PT体操	経営コンサル会議	虹の会	
29	火				傾聴ボラ	麻雀		
30	水	カンファレンス事前会議			開基		明基	
31	木	ハロウインパーティー(皆)			麻雀			

11月

日曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	中野デイ
1 金			2階理髪				傾聴、フルート演奏
2 土	加住市民センター祭り 東京都看護師等キャリアアップ支援事業シンポジウム開催第2回 インフルエンザ予防接種	加住市民センター祭り インフルエンザ予防接種		加住市民センター祭り インフルエンザ予防接種	加住市民センター祭り インフルエンザ予防接種	告道	
3 日	加住市民センター祭り			加住市民センター祭り	加住市民センター祭り		
4 月		傾聴ボラ					傾聴
5 火	らくらくサロン	火曜コンサート 傾聴ボラ	麻雀				傾聴
6 水	買物外出	華道 音楽療法	囲碁	音楽療法	多職種連携会議 訪問歯科	傾聴、スマイルバンド	
7 木	吉野解決・リスク・拘束施止委員会	機能訓練指導員のための情報交換会 災害救助法勉強会 「災害現場に学ぶ」	麻雀	アリザードフラー		麻雀	華道クラブ 備み物 傾聴
8 金	食事委員会	地域交流会「介護予防」			保管課会議	シルバータールズ	
9 土	広報委員会						
10 日							
11 月	管理課会議 認知症ケア向上委員会	品質 内部監査事前会議	傾聴ボラ		PT体操	訪問理容、傾聴	
12 火		職員全員健康診断 第二階楽園ホーム	喫茶	麻雀			
13 水	食事委員会	買物外出 認知症の方の心に届く声かけ～心に届く声の掛け方と接し方・良い介護・悪い介護を考える～アクリティフ福祉in東京24つながり交流会	音楽療法 手芸	音楽療法 手芸	安全管理制度・苦情解決・リスクマネジメント・拘束施止委員会導入機器検討委員会 訪問歯科	用暮、傾聴	
14 木	相談支援課会議 入所判定委員会	職員全員健康診断 倍楽園ホーム	3階理髪	麻雀			麻雀、ハーモニカ演奏
15 金	相談支援課会議 入所判定委員会	職員風土を変えるチームマネジメント～アドラー流コーチング勉強会	コロナワクチン予防接種		コロナワクチン予防接種	コロナワクチン予防接種	
16 土	宮下町 ゲートボール大会						傾聴
17 日	経営幹部会議、安全衛生・感染症 医療行為検討会議 職員会議 屋宅介護支援事業所会議	看護職員研修委員会	傾聴ボラ		PT体操 おやつフレク		
18 月	口腔ケア委員会	らくらくサロン 公正採用選考人懇啓発推進員研修会	火曜コンサート	麻雀、日本舞踊			
19 火				音楽療法			
20 水	介護課長係長会議 尊人権啓発委員会 員会 呉解決・リスク・拘束施止委員会	JSTフェスティバルin滋賀	訪問美容 わらべ歌	麻雀、ハーモニカ演奏 囲碁	ユニットミーティング 1.2丁目 訪問美容 ユニットミーティング 1.2丁目 訪問美容	安全衛生委員会 感染症対策委員会 医療行為検討委員会 食事員会 訪問歯科 梅塙・排泄委員会	元気お届け隊 麻雀 傾聴
21 木	梅塙排泄委員会						
22 金	品質管理室会議 生産性向上委員会				PT体操	経営コンサル会議	傾聴
23 土			喫茶				
24 日	社会福祉法人が目指す地域包括ケアについて						
25 月	経営人事戦略会議 営業会議	茶道					
26 火	災害対策委員会 訪問会議	火曜コンサート 傾聴ボラ	麻雀			第二階長係長会議	傾聴
27 水	企画・情報室会議 カンファレン	音楽療法	囲碁	音楽療法	訪問歯科(高輪会)	カシファレンス事前会議	用暮
28 木	企画・情報室会議	買物外出 内部監査	麻雀、書道				麻雀、書道
29 金		内部監査 高齢者施設職員等を対象とした結核予防講演会					
30 土			喫茶				

1 日	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階樂園ホーム	中野デイ
2 月	コンプライアンス委員会			傾聴ボラ	ミーティング	PT体操 ンス委	
3 火				麻雀			傾聴
4 水	買物外出	音楽療法	用基	音楽療法	多職種連携会議 訪問歯科	フルート演奏、囲碁	
5 木	地域福祉研修「リスクマネジメントについて」	第2回 特養分科会	麻雀			傾聴	
6 金		2階理髪	麻雀			麻雀	
7 土		第3回 理事会					
8 日							
9 月	管理課会議 品質管理室会議	傾聴ボラ	麻雀	PT体操		床屋	
10 火	口腔ケア委員会 VR確保・育成委員会	社会福祉法人指導監査 スケッターア活用説明会	買物外出	音楽療法	用基	安全管理制度・苦情解決・リスクマネジメン ト・拘束具・除止委員会 訪問歯科(清掃会)	ハーモニカ演奏、麻雀
11 水				音楽療法	用基	音楽療法	用基、傾聴
12 木	苦情解決・リスク委員会食事委員会	ソーシャルワーク研修会in市ヶ谷「デジタル福祉 in 東京24」開催	麻雀	アリザードフラー			ハーモニカ演奏、麻雀
13 金	会	東京都看護師等キャリアアップ支援事業シンポジウム開催第3回	2階理髪 PTトレ				華道クラブ
14 土	広報委員会	地城交流会 「はるかなる八王子」～八王子市文化財講（郷土資料館）					
15 日	経営幹部会議、安全管理会議	コロナ後遺症オンライン研修会	傾聴ボラ	初音の杜大規模修繕ワーキングチーム会議	初音の杜大規模修繕ワーキングチーム会議	おやフレク PT体操	傾聴
16 月	対策会議 医療行為検討看護課 験員会議 居宅介護支援事業所会議			日本舞踊、麻雀	口腔ケア委員会		
17 火	訪問会議			音楽療法	用基、手芸	安全衛生委員会 医療行為検討委員会 食事委員会 訪問歯科	にりん草、囲碁、傾聴
18 水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会			書道 訪問美容	麻雀、ハーモニカ演奏	第三者評価場面観察 音楽療法	海賊・俳諧委員会
19 木	被服拠地委員会			3階理髪 傾聴ボラ			訪問理髪
20 金	品質管理室会議 相談支援課会議 生産性向上委員会	クリスマス会 第3回 評議員会					
21 土							伊東さんの会
22 日	経営人事戦略会議 営業会議						
23 月	介護支援専門員研修会		茶道	PT体操	経営コンサル会議		
24 火	災害対策委員会		マルメロ(露)	クリスマス会	第二課長係長会議		
25 水	企画・情報室会議 カンファレンス事前会	買物外出	華道 音楽療法	舞楽薙、華道	カンファレンス事前会 議・訪問歯科 第二クリスマス会		
26 木				麻雀、書道	おやフレク	麻雀	福み物
27 金							
28 土							
29 日							
30 月							
31 火					火曜コンサート		

1月

日	曜	会議・委員会等	特別行事等	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	中野デイ
1	水	買物外出			ミーティング			
2	木							
3	金		2階理髪					
4	土	地城交流会「八王子けんこう体操」		フルート演奏				
5	日							
6	月		傾聴ボラ			PT 体操	初詣外出(勝手神社参拝)	傾聴
7	火	らくらくサロン		火曜コンサート	麻雀		安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束施設委員会 訪問歯科多職種連携会議	
8	水	買物外出	音楽療法	開基	鈴木医師診察		麻雀、傾聴	
9	木	居宅介護支援課会議		麻雀	アリザーフドフラー		華道クラブ	
10	金	食事委員会			一誠会餅つき大会		一誠会餅つき大会	
11	土	広報委員会						
12	日				一誠会餅つき大会			
13	月	管理課会議 感知症ケア向上委員会						
14	火	内部監査フォローアップ会議	施設職員向け福利用具講習会(実践型講習会)	傾聴ボラ				
15	水	介護課長係長会議 導入機器検討委員会	買物外出	音楽療法	開基	音楽療法	安全衛生委員会 感染症対策委員会 食事委員会 訪問歯科	傾聴、開基
16	木	繊維排泄委員会		訪問美容	麻雀、ハーモニカ演奏	新年会	海苔・掛漆委員会	ハーモニカ演奏、麻雀
17	金	吉澤解説・リスク・拘束施設委員会 相談支援課会議	パワーリハビリ	3階理髪			訪問理髪	
18	土		介護職員研修委員会					
19	日							
20	月	経営幹部会議、安全衛生・感染症 球根行会議				PT 体操		
21	火	委員会議 居宅介護支援事業所会議 口腔ケア委員会	らくらくサロン	火曜コンサート	日本舞踊、麻雀			
22	水	企画・情報室会議	買物外出 南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム	音楽療法	鈴木医師回診 音楽療法			
23	木		令和7年八王子消防協働四団体合同賀詞交歓会	傾聴ボラ	エニットミーティング	訪問美容		
24	金	品質管理室会議 生産性向上委員会		わらべ歌				
25	土							
26	日							
27	月	経営人事戦略会議 営業会議	東京DWAT(災害派遣福祉チーム)登録研修会	茶道	PT 体操	経営コンサル会議		
28	火	災害対策委員会 訪問会議	生活相談員リスクマネジメント研修会	火曜コンサート	麻雀		第二課長係長会議	傾聴、元気お届け隊
29	水	カンファレンス事前会議	らくらくサロン	音楽療法	開基	音楽療法	カンファレンス事前会議 訪問歯科 サーベランス審査	サーベランス審査
30	木	サーベランス	買物外出	麻雀			サーベランス審査	サーベランス審査
31	金	サーベランス						

日	曜	会議・委員会等	特別行事等						
1	土	地域交流会「防犯について」	クラブ他	初音デイ	グレーフホーム	第二階楽園ホーム		中野デイ	告道
2	日	筋分							傾聴
3	月	コンプライアンス委員会	傾聴ボラ	ミーティング	PT体操				傾聴
4	火	らくらくサロン	火曜コンサート	麻雀					
5	水	チームマネジメントを学ぶ研修会グレードアップ	華道	華道、囲碁	音楽療法 Dr診察	多職種連携会議 訪問歯科		囲碁	
6	木			車両ミーティング、麻雀				麻雀、傾聴	
7	金							鶴川さんの会、傾聴	
8	土	広報委員会	令和6年度合同防災訓練	歌ボランティア		保育課会議			
9	日	八王子夢街道駅伝							
10	月	管理課会議 品質管理室会議	第2回障害者就職面接会（多摩会場）	火曜コンサート	アリの解体ショー、麻雀	安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束廃止委員会 導入機器検討委員会 訪問歯科		傾聴	
11	火	VTR確保・育成委員会	らくらくサロン	音楽療法	囲碁	音楽療法		床屋	
12	水		買物外出 第3回看護管理者連絡会議	音楽療法	麻雀	アリザーブドフラワー		ハーモニカ	華道クラブ、傾聴
13	木	苦情解決・リスク・拘束廃止委員会	八王子社会福祉法人理事長会議	2階理髪 Pトレ					
14	金	食事委員会	地域福祉研修 ともにケアを担うパートナーとして						
15	土								
16	日								
17	月	経営幹部会議、安全衛生・感染症 会議 行為検討看護課職員 居宅介護支援事業所会議	高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会	傾聴ボラ	PT体操 初音の大規模修繕ワーキングチーム 会議			伊東先生の会	
18	火	口腔ケア委員会							
19	水	介護認知症委員会 員会	買物外出	音楽療法	手芸、囲碁	音楽療法 Dr回診 医療行為検査委員会 訪問歯科		安全衛生委員会 感染症対策委員会 医療行為検査委員会 訪問歯科	囲碁
20	木	品質管理室会議 ホスピタリティ 委員会	八王子プロック会 生活相談員研修会		麻雀、ハーモニカ演奏	訪問美容		海苔・拂拭委員会	麻雀
21	金	向上委員会 検査拂拭委員会 相談支援懇親会議	八王子施設会員会 パブリックリハビリ	3階理髪 倾聴ボラ				訪問理髪 編み物	
22	土								
23	日								
24	月	経営人事戦略会議 営業会議	茶道					経営コンサル会議	
25	火	災害対策委員会 訪問会議	火曜コンサート	麻雀				介護課長係長会議	傾聴
26	水	企画・情報室会議 カンファレンス 会議事前会議	買物外出 介護支援専門員研修会	音楽療法	囲碁			カンファレンス事前会議	囲碁
27	木	ボランティア連絡会			麻雀、書道				麻雀
28	金	八王子市施設長会総会	わらべ歌			訪問美容		傾聴	

1 土	会議・委員会等	特別行事等	地域交流会合同実践研究発表大会	クラブ他	初音デイ	グルーフホーム	第二階楽園ホーム	中野デイ
2 日								書道
3 月	ひな祭り 「医療・福祉組織のマネジメント」研修会			ミーティング	ひなまつり	PT体操		傾聴
4 火								
5 水	買物外出			麻雀	音楽療法 ユニットミーティング Dr.診察 1.2工目	多職種連携会議 訪問歯科	明基、傾聴	
6 木	「地域の多様な主体から見た地域活動における社会福祉法人への期待」第2回 採用担当者研修・情報交換会			囲碁			麻雀、磯川さんの会 傾聴	
7 金			Pトレ	麻雀				
8 土 宏報委員会	第2回一五〇共栄会理事会 苛煮会			フルート演奏	ハーモニカ演奏 苛煮会	苛煮会議 保健課会議	苛煮会	
9 日	宮下町会 防災器材の点検・棚卸実施							
10 月 委員会	品質管理室会議 認知症ケア向上				PT体操		床屋	
11 火	東京ケアリーダーズ主催介護技術研修会 合同防災訓練			麻雀			傾聴	
12 水	買物外出			囲碁	音楽療法	安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束廢止委員会 導入機器検討委員会 訪問歯科	明基、傾聴	
13 木				麻雀			ハーモニカ演奏	
14 金 吉澤解決・リスク・拘束廢止委員会	生活相談員研修委員会 全体会						華道クラブ	
15 土	第4回 理事会 介護職員研修委員会							
16 日	東京都在宅療養推進シンポジウム							
17 月 経営幹部会議 介護課長係長会議 等八機器検討委員会 安全衛生・感 染症対策・医療行為検討看護課 居宅介護支援事業所会議					PT体操 おやつレク		元気お届け隊、麻雀	
18 火 口腔ケア委員会							口腔ケア委員会	
19 水	買物外出 主任介護支援専門員連絡会 全体会				日本舞踊、麻雀			
20 木 被服拝地委員会					音楽療法	安全衛生委員会 感染症対策委員会 医療行為検討委員会 食事委員会 訪問歯科	明基、傾聴	
21 金 品質管理室会議 生産性向上委員会 相談支援課会議	被服法要 パワーリハビリ		3階理髪		ハーモニカ演奏	被服・排泄委員会	麻雀、ちぎり紙	
22 土								
23 日								
24 月 経営人事戦略会議 営業会議			茶道		PT体操	経営コンサル会議	にりん草	
25 火 災害対策委員会 訪問会議	らくらくサロン		火曜コンサート	麻雀		介護課長係長会議		
26 水 企画・情報室会議 事前会議	買物外出		音楽療法	明基	音楽療法	訪問歯科	麻雀、閉塞	
27 木 入所判定委員会					書道		訪問美容	麻雀、傾聴
28 金							わらべ歌	
29 土	第4回 評議員会				音楽クリエーション			
30 日								
31 月					PT体操			

2 事故防止対策

事故（ヒヤリハット含む）の発生状況

令和6年度の件数【ヒヤリハット含む】（ ）うち行政（区市町村）に届け出た件数	
法人	
偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）	1(0)
偕楽園ホーム（短期入所生活介護）	230(15)
偕楽園ホーム（居宅介護支援事業）	5(0)
偕楽園ホーム（居宅介護支援事業 北野）	0(0)
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）	5(1)
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護 北野）	0(0)
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護 小比企）	0(0)
デイサービスセンター初音の杜（地域密着型・認知症対応型）	14(7)
グループホーム初音の杜（認知症対応型共同生活介護）	22(7)
第二偕楽園ホーム（地域密着型特別養護老人ホーム）	93(9)
第二偕楽園ホーム（短期入所生活介護）	91(16)
第二偕楽園看護小規模多機能型居宅介護看護	26(4)
第二偕楽園ホーム訪問看護ステーション	0(0)
企業主導型保育所	59(0)
第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅	3(2)
配食サービス	1(0)
高齢者あんしん相談センターハ和田	7(1)
八王子市高齢者在宅サービスセンター中野	16(1)
シルバービューア	1(0)
計	572
うち行政（都）に届け出た件数	63

生じた事故には、一件毎に是正予防処置報告書を作成し、再発防止策の策定からその効果の測定を経て終結とする仕組みを行なっている。緊急性のある場合、緊急リスク会議を開催し、情報の共有化及び周知徹底を図り、速やかな改善を図るための取り組みを実施。

損害賠償等に向けた保険の加入

苦情・要望等に対する体制等

有
有

苦情および要望の発生状況

法人		
偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）		1
偕楽園ホーム（短期入所生活介護）		3
偕楽園ホーム（居宅介護支援事業）		0
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）		0
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護看護 北野）		0
偕楽園ホーム（定期巡回・随時対応型訪問介護看護 小比企）		0
デイサービスセンター初音の杜（地域密着型・認知症対応型）		0
グループホーム初音の杜（認知症対応型共同生活介護）		0
第二偕楽園ホーム（地域密着型特別養護老人ホーム）		4
第二偕楽園ホーム（短期入所生活介護）		10
第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護看護		3
第二偕楽園ホーム訪問看護ステーション		0
企業主導型保育所		0
第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅		0
八王子市高齢者在宅サービスセンター中野		4
シルバービア		0
配食サービス		0
高齢者あんしん相談センター大和田		4
計		29

3 是正予防苦情集計表

		4月			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			合計	
		發生	終結	發生	終結	發生	終結	發生	終結	發生	終結																												
是正	14	9	18	11	44	10	21	6	40	3	40			35	3	34	6	25		25	1	23	3	17	1	336	53												
予防	22	17	32	10	22	8	21	2	16	1	19	1	20	1	20	2	21		16		17	1	16									242	43						
苦情	2		2	2	3	1	3	1	4					4		5	3	1	2		2	1	1									29	8						
要望														1	1		1															2	1						
合計																																							
是正	3	2	4		31		10		24		24		17		15		16		10		10		8		8								170	2					
予防	12	10	19		11		3		1		1		3		2		2		4		2		2		2								60	10					
特養																																							
苦情																																							
要望																																		3					
短期																																							
是正																																							
予防																																							
苦情																																							
要望																																							
居宅																																							
通所																																							
苦情																																							
要望																																							
G H																																							
苦情																																							
要望																																							

4 災害対策

(1) 避難訓練等実施状況（併設する施設を含む）

	項目	R6/ 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7/ 1月	2月	3月	
訓練の内容	避難訓練											○		
	火災想定訓練			○			○		○		○	○	○	
	地震想定訓練										○			
	夜間訓練 (夜間想定を含む。)	○									○			
	通報訓練		○		○					○		○		
	図上訓練	○						○						
	その他の訓練	○			○	○		○		○		○	○	
	その他の訓練の内容	の第二 浸水倍 被害 被 害 樂園	初期対応訓練	審査会	事前放水訓練	自衛消防訓練	台風10号の接近	消火訓練	シナリオ	合同防災訓練	消防訓練	支援の状況確認	ライフライン等の	協定による訓練
参加人数	職 員	5	6	5	5	6	6	6	8	6	11	10	1	
	消防署への通知の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	
	訓練実施記録の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	

(2) 防災管理体制等の状況

- ア 防火管理者の届出年月日 令和3年7月12日
- イ 防火管理者の職名 管理部 部長
- ウ 消防計画の届出年月日 令和3年7月12日
- エ 帰宅困難者対策の有無 有
- オ 消防設備点検の消防署への報告年月日 令和6年11月22日
- カ 宿直者の有無 無

(3) 非常時の備え

- ア 避難者名簿作成 有
- イ 緊急時連絡網 有
- ウ 備蓄食品 有
- エ 備蓄量 3日分
利用者・職員分
- オ 備蓄食品等の内容

非常食糧（簡易食品、栄養補助食品、備蓄飲料水1.5L×80本）スプリンクラー用含む発電機2機、プロパンガス、受水槽15t

(3) 地域との応援協定の有無

有

応援協定の名称

災害活動相互応援協定

応援協定の内容

火災・地震等の災害発生時に宮下町会、偕楽園ホーム・初音の杜、桙の里、シルバービレッジ八王子西、さんあい介護医療院が互いに連絡を取り、人員、物資の援助など、相互協力するものとして年1回以上の合同訓練を実施

5 諸会議・委員会

会議名	開催形態		年間開催回数	会議記録有無	主な参加職種											備考
	定期	不定期			理事長	常務理事	施設長	事務	生活相談員	介護支援専門	看護職員	介護職員	栄養士	リハビリ	その他	
経営幹部会議 MR	○		12	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員会議	○		12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経営人事戦略会議	○		12	○			○	○	○	○		○				○
ICT・介護ロボット検討委員会	○		4	○			○	○	○							○
研修委員会	○		3	○			○			○		○				○
企画・情報室会議	○		12	○			○	○	○	○						○
品質管理室会議	○		24	○			○	○	○	○	○					○
安全衛生委員会	○		12	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	産業医
内部監査		○	2	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
相談支援課会議	○		6	○					○	○						
管理課会議	○		12	○				○								
看護課会議	○		2	○							○					
広報委員会	○		7	○			○	○	○		○	○				○
ボランティア確保育成委員会	○		6	○			○	○	○	○		○				
コンプライアンス委員会	○		6	○				○				○				
ホスピタリティ向上委員会	○		5	○			○		○			○				○
認知症ケア向上委員会	○		5	○			○					○				○
営業会議	○		6	○			○	○				○				○
安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束廃止委員会(偕楽園ホーム)	○	(○)	27	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
安全管理部門・苦情解決・リスクマネジメント・拘束廃止委員会(第二偕楽園ホーム)	○	(○)	29	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
安全衛生委員会(偕楽園ホーム)	○	(○)	12	○	○		○	○			○	○				○
安全衛生委員会(第二偕楽園ホーム)	○	(○)	12	○	○						○	○				○
食事サービス委員会	○		12	○					○		○	○	○			○

食事サービス小委員会	○		12	○				○		○	○	○		○	
感染症対策委員会 (偕楽園ホーム)	○		12	○	○		○	○		○	○			○	
感染症対策委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		12	○	○				○	○	○			○	
医療行為検討委員会	○		12	○	○		○	○		○	○			○	
医療行為検討委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		12	○	○				○	○	○			○	
災害対策委員会 (偕楽園ホーム)	○		12	○				○			○			○	
災害対策委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		12	○						○				○	
褥瘡委員会 (偕楽園ホーム)	○		11	○				○		○	○	○	○		
褥瘡委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		12	○						○	○				
排泄委員会 (偕楽園ホーム)	○		11	○				○		○	○	○	○	○	業者
排泄委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		10	○						○	○			○	業者
口腔ケア委員会 (偕楽園ホーム)	○		12	○						○	○	○		○	歯科
口腔ケア委員会 (第二偕楽園ホーム)	○		0	○				○	○	○	○				
カンファレンス事前会議 (偕楽園ホーム)	○		12	○				○	○	○	○	○	○		
カンファレンス事前会議 (第二偕楽園ホーム)	○		5	○				○	○	○	○				
介護課長係長会議	○		4	○							○				
介護課長係長会議 (第二偕楽園ホーム)	○		6	○							○				
各ユニット会議	○		0	○							○				
訪問会議	○		12	○							○				
居宅介護支援課会議	○		12	○					○					○	
デイサービスミーティング	○		11	○	○			○	○	○				○	
ユニットミーティング (1・2丁目)	○		12	○						○					
保育課会議	○		12	○										○	
支援センター会議	○		12	○				○						○	
車両送迎ミーティング (初音の杜DS)	○		11	○				○		○	○			○	
車両送迎ミーティング (第二偕楽園ホーム)	○		12	○				○		○	○			○	

看多機会議	○		12	○					○	○		○			○	
経営会議 (第二偕楽園ホーム)	○		12	○		○		○	○	○	○	○	○			○
経営コンサルタント会議	○		12	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○
運営推進会議 偕楽園ホーム定期巡回 型訪問看護・介護 初音の杜デイサービス グループホーム初音の 杜 第二偕楽園ホーム	○		6	○			○			○		○				○
入所判定委員会	○		6	○			○		○	○						

6 研修参加状況

月/日		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
時間	開始							
場所								
区分								
内容	虐待防止研修 身体拘束	104	110	107	24	24	107	95
参加者	法定研修 高齢者虐待と身体拘束						10	43
	虐待防止研修 法定研修						91	96
	安全衛生・感染症講習							
	地域福祉研修 得生性向上推進体制加算 実効性のある取組における 高齢者福祉施設における 組合の取り組みについて							
	認知症の種類・ケアについて							
	法定研修 プライバシーパーク 個人情報保護法							
	感染症対策 ガウンテクニック							
	高齢者虐待防止							
	法定研修 浴介助研修・上手な伝え方入門 浴介助りハントの大しさ・方々							
	法定研修 順守と職業倫理 介護令状における接遇 マナーマナー							

月/日	11月	12月	1月	2月	3月
開始時間	14日 18:00	5日 16:00		14日 16:00	
場所	偕 研	偕・WEB 研	研	偕・WEB 研	研
区分					
内容	介護度進行法 における予防についての 基本知識 ・ 接遇向上研修	リスクマネジメント による非常災害対応 法の実践研修	止りスクマネジメント による虐待が起きる前に防 止する地域福祉研修	看取り介護の法的研修	感染症と法定研修 による食中毒
参加者	103	30	93	14	89
					90

7 出張・研修参加一覧：常務

月日	時間	研修名	会場	主催	研修・出張・職免
4/25	18:00～20:00	八王子社会福祉法人理事長会	京王プラザホテル八王子	八王子理事長会	出張
5/17	10:30～12:00	関東ブロック老人福祉施設研究総会実行委員会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター4階4G	東社協	出張
6/13	16:00～	八王子施設長役員会	たちばな	八王子施設長会	出張
6/28	15:00～	八王子施設長会総会	京王プラザ八王子4階宴の間	八王子施設長会	出張
7/18	14:00～16:00	東社協東京都高齢者福祉施設協議会令和6年度第1回特養分科会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター5階ホール5A	東社協東京都高齢者福祉施設協議会	研修
8/2～8/3		八王子施設長会 石川県支援視察旅行	石川県	八王子施設長会	視察旅行
8/23	18:00～20:00	八王子社会福祉法人理事長会	京王プラザホテル八王子15階日本料理「みやま」	八王子市理事長会	出張
10/11	14:00～16:30	東京都高齢者福祉施設協議会令和6年度第2回総会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター4階ホール4A	東社協	出張
1/8	12:30～14:00	令和7年東京都社会福祉協議会「新年賀詞交歓会」	京王プラザホテル	東社協	出張
2/7	14:00～16:30	東社協東京都高齢者福祉施設協議会令和6年度第3回総会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター5階ホール5A	東社協	出張
2/13	18:00～20:00	八王子社会福祉法人理事長会	京王プラザ八王子15階日本料理「みやま」	八王子理事長会	出張
2/21	16:00～20:00	八王子施設長会役員会	たちばな	八王子施設長会	出張
2/28	15:30～	令和6年度第2回八王子施設長会総会	京王プラザホテル八王子	八王子施設長会	出張

出張・研修参加一覧

研修日	時間	内 容	会場	主催	参加者	
5/20	14:00～16:30	令和6年度第1回総会・講演会およびセンター分科会	WEB配信	東社協センター分科会	二村 俊行	研修
5/23	14:00～16:00	令和6年度新規学校卒業者求人申込説明会	クリエイトホール	ハローワーク八王子	針替 真理子	研修
5/28	10:00～17:30	東京ケアリーダーズ 定例研修	飯田橋レインボービル7階大会議室	東社協	レーイエンニー	出張
5/28	10:00～17:30	東京ケアリーダーズ 定例研修	飯田橋レインボービル7階大会議室	東社協	山崎 樹里	出張
6/13～8/19 7/11		令和6年度在宅難病患者訪問看護師等養成研修	オンデマンド・東京都医学総合研究所	東京都医療保険局	山口 登大	研修
6/13～8/19 7/11		令和6年度在宅難病患者訪問看護師等養成研修	オンデマンド・東京都医学総合研究所	東京都医療保険局	山口 亜里沙	研修
6/14	14:30～17:30	令和6年度 第1回 長寿社会開発センター 研究セミナー「拒否、依存、攻撃・・・そのときどうする?精神科医からのアドバイス」	WEB研修	長寿社会開発センター	芦田 弥生	研修
6/25	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略(誰に、何を、どのように)づくりを学ぶ~黒字経営はすべて施設長次第~」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	鷹野 賢一	研修
6/25	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略(誰に、何を、どのように)づくりを学ぶ~黒字経営はすべて施設長次第~」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	芦田 弥生	研修

出張・研修参加一覧

6/28	15:00～	八王子施設長会総会	京王プラザハ王子4階宴の間	八王子施設長会	鷹野 賢一	出張
7/4	15:00～17:00	八王子市版ケアプランの考え方の基礎とケアマネジャーに求められる役割	WEB	八王子介護支援専門員連絡協議会	芦田 弥生	研修
7/5	14:00～16:30	令和6年度 第1回 長寿社会開発センター 研究セミナー「拒否、依存、攻撃・・・そのときどうする？精神科医からのアドバイス」	YouTube	長寿社会開発センター	関口 和子	研修
7/6	13:30～15:00	令和6年度 第1回 長寿社会開発センター 研究セミナー「拒否、依存、攻撃・・・そのときどうする？精神科医からのアドバイス」	YouTube	長寿社会開発センター	伊藤 美智子	研修
7/16	10:00～12:00	令和6年度東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業説明会	新宿第一生命ビルディング ¹⁹ 階多目的室 ²	東京都福祉保健財団	沢田 敏彦	研修
7/18	14:00～16:00	東社協東京都高齢者福祉施設協議会令和6年度第1回特養分科会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター5階ホール5A	東社協東京都高齢者福祉施設協議会	鷹野 賢一	研修
7/20	14:30～16:30	介護職員研修委員会	アゼリア会 あかね苑	東社協	山口 公司	出張
7/23	13:30～17:00	東京ケアリーダーズ 定例研修	飯田橋レインボービル2階C会議室	東社協	山崎 樹里	出張
7/23	13:30～17:00	情報・広報室 広報戦略推進委員会	飯田橋レインボービル2階中会議室	東社協	山口 公司	出張
7/25	9:00～17:00	令和6年度第2回東京都認知症対応型サービス事業管理者研修他施設実習	地域ケアサポート館 福は家・グループホーム	人材センター	二村 俊行	研修
8/2～8/3		八王子施設長会 石川県支援視察旅行	石川県	八王子施設長会	鷹野 賢一	視察旅行
8/2～8/3		八王子施設長会 石川県支援視察旅行	石川県	八王子施設長会	芦田 弥生	視察旅行
8/7	9:30～17:00	令和6年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修 「権利擁護テーマ別実践研修（第1回）」	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京都福祉保健財団	勝呂 舞	研修
8/9	14:00～16:30	アクティブ福祉「効果的なプレゼンテーションに向けて」	飯田橋セントラルプラザ12階BCD会議室	東社協	守屋・ガルド	研修
8/19	14:00～16:00	看護職員研修委員会	オンライン会議	東社協	加藤 美鈴	出張
8/20	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元1「地域づくりの基本理念と全体像」	研究社英語センタービル 地下2階大会議室	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
8/27	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略（誰に、何を、どのように）づくりを学ぶ～黒字経営はすべて施設長次第～」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	鷹野 賢一	研修
8/27	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略（誰に、何を、どのように）づくりを学ぶ～黒字経営はすべて施設長次第～」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	芦田 弥生	研修
8/29	15:00～17:00	職員研修委員会	飯田橋セントラルプラザビル12階AB会議室	東社協	山口 公司	出張
8/30	15:00～16:30	八王子ブロック会 生活相談員研修会	第二青陽園	東社協	佐々木 信雄	研修
9/3	13:30～17:00	情報・広報室 広報戦略推進委員会	飯田橋レインボービル2階中会議室	東社協	山口 公司	出張
9/9	14:00～15:00	「ライフステージに応じた意思決定支援～意思の尊重・尊厳の確保～」	WEB	長寿社会開発センター	芦田 弥生	研修
9/12	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元2「協議の場づくりとネットワーキング」	飯田橋レインボービル7階 大会議室	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
9/12	14:00～16:30	アクティブ福祉in東京24 事前説明会	飯田橋セントラルプラザビル12階AB会議室	東社協	山口 公司	出張
9/17	10:00～17:30	東京ケアリーダーズ定例研修	研究社英語センタービル地下2階大会議室	東社協	山崎 樹里	出張

出張・研修参加一覧

9/25	10:00～	アクティブ福祉in東京24 当日係員	京王プラザホテル 新宿	東社協	山崎 樹里	出張
9/25	10:00～	アクティブ福祉in東京24 当日係員	京王プラザホテル 新宿	東社協	山口 公司	出張
9/25	10:00～15:40	アクティブ福祉in東京24	京王プラザホテル 新宿	東社協	服部小川藤井萩島野島勝 呂鷹野芦田	研修
10/2	15:30～17:00	ライフステージに応じた意思決定支援～意思の尊重・尊厳の確保～	WEB	長寿社会開発センター	高瀬 直子	研修
10/8	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元3「協議の場の運営とファシリテーション」	飯田橋レインボービル7階 大会議室	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
10/11	14:00～16:30	東京都高齢者福祉施設協議会令和6年度第2回総会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター4階ホール4A	東社協	鷹野 賢一	出張
10/22	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略（誰に、何を、どのように）づくりを学ぶ～黒字経営はすべて施設長次第～」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	鷹野 賢一	研修
10/22	13:00～17:00	令和6年度施設管理者向けマネジメント研修第3弾「持続可能な経営戦略（誰に、何を、どのように）づくりを学ぶ～黒字経営はすべて施設長次第～」	家の光会館7階コンベンションホール	東社協施設管理検討委員会	芦田 弥生	研修
11/7	12:00～14:00	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ	町田市小山田桜台商店街 ほっとスペースさくらさくら	東京都社会福祉協議会	岡部 奈々美	研修
11/19	14:20～16:00	令和6年度障害者雇用納付金制度に基づく助成金及び65歳超雇用推進助成金制度説明会	亀戸文化センター	独立行政法人高齢障害求職者雇用支援機構	針替 真理子	研修
11/26	10:00～17:00	東京ケアリーダーズ定例研修	飯田橋レインボービル1階B会議室	東社協	山崎 樹里	出張
11/28	9:30～17:00	令和6年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修 「権利擁護テーマ別実践研修（第3回）」	あいおいニッセイ同和損保 新宿ビル 地下階	東京都福祉保健財団	勝呂 舞	研修
12/10	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元4	研究社英語センタービル	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
12/12	13:30～16:30	デジタル福祉in東京” 24	研究社英語センタービル大会議室	東社協	沢田 敏彦	研修
1/13～2/7		令和6年度八王子市介護事業研修 運営の効率化、ステップアップ講座について	オンライン	八王子市福祉部高齢者いきいき課	山口 登大	研修
1/20～2/21		令和6年度外国人介護従事者受入れ支援セミナー	オンライン	東京都福祉保健財団	山口 登大	研修
1/24		支援力アップ塾 (TVC)	地域共生サービスセンター結・しぶや	東京ボランティア市民活動センター	芦田 弥生	研修
1/24	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元5	家の光会館	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
2/10	10:00～16:30	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ 単元6	飯田橋レインボービル7階 大会議室	東京都福祉局	岡部 奈々美	研修
2/20	10:00～16:00	安全運転管理者講習	なかのZERO	東京都交通安全協会	藤井 秀樹	研修
2/25	14:00～16:30	老舗旅館「加賀屋」の経営戦略に学ぶ 36年連続日本一の秘訣	家の光会館コンベンションホール	東社協	鷹野 賢一	研修
2/25	14:00～16:30	老舗旅館「加賀屋」の経営戦略に学ぶ 36年連続日本一の秘訣	家の光会館コンベンションホール	東社協	山口 公司	研修
2/25	14:00～16:30	老舗旅館「加賀屋」の経営戦略に学ぶ 36年連続日本一の秘訣	家の光会館コンベンションホール	東社協	土手下 朝子	研修
2/26	14:00～16:30	「アクティブ福祉in東京’ 25」発表者事前研修会	家の光会館7階コンベンションホール	東京都社会福祉協議会	岡部 奈々美	研修
3/5		令和6年度ナースプラザ東京研修摂食・嚥下障害の看護	オンライン	東京都ナースプラザ	六角 雅美	研修
3/11	10:00～17:30	東京ケアリーダーズ定例研修	研究者英語センター 地下2階大会議室	東社協	山崎 樹里	出張

8 職員配置

偕楽園ホーム 特別養護老人ホーム

(人)

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
施設長(管理者)	1 常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
生活相談員	1 常勤	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
看護職員	3 常勤	3.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
非常勤	2.5	2.3	2.3	2.4	2.4	1.7	2.1	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8
介護職員	31 常勤	22.0	22.0	22	24.0	23.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	21.0	22.0	23.0	23.0
非常勤	12.6	13.5	11.6	10.5	9.6	9.9	14.1	13.3	12.3	13.4	12.7	12.7	12.8		
看護介護職員計	34	40.1	38.8	36.9	37.9	36.3	36.0	39.8	39.0	38.1	38.1	38.4	38.4	39.6	
管理栄養士	1 常勤	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
機能訓練指導員	1 常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
非常勤	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
介護支援専門員	1 常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
医師	0.1 非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他	常勤	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
非常勤	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
常勤の看護職員 及び介護職員の 採用・退職者数	採用														
非常勤の看護職員 及び介護職員の 採用・退職者数	看護職員 介護職員	2.0													
その他採用・退職者数	その他 職種														

○偕楽園ホーム 定期巡回随時対応型訪問介護看護・訪問介護、夜間対応型訪問介護事業所、訪問介護事業所(実人數) (人)

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
介護職員		常勤	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0
常勤の介護職員の採用・退職者数	非常勤	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	0.9	0.9	0.9	1.7	1.6	2.0	2.0	2.6	1.5
非常勤の介護職員の採用・退職者数	介護職員	採用									1.0			1.0	
常勤の介護職員の採用・退職者数	常勤職員	退職									1.0				
非常勤の介護職員の採用・退職者数	非常勤職員	採用									1.0				
常勤の介護職員の採用・退職者数	常勤職員	退職	1.0							1.0					

○偕楽園ホーム 居宅介護支援事業所

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
介護支援専門員		常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
常勤の介護支援専門員の採用・退職者数	採用														
常勤の介護支援専門員の採用・退職者数	退職														

○デイサービスセンター初音の杜(地域密着型通所介護) 定員18名

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
施設長(管理者)	1	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
生活相談員	1	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
介護職員	1.5	常勤		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機能訓練指導員	1	常勤		2.9	2.2	1.9	3.1	3.1	2.1	2.7	2.7	3.0	2.5	3.0	3.1
常勤の介護職員の採用・退職者数	介護職員	採用													
常勤の介護職員の採用・退職者数	常勤職員	退職													
非常勤の介護職員の採用・退職者数	介護職員	採用													
非常勤の介護職員の採用・退職者数	常勤職員	退職	1.0												
その他採用・退職者数	その他	採用													
その他採用・退職者数	職種	退職	1.0												

○ディサービスセンター初音の社（認知症対応型通所介護）定員12名

(人)

職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
施設長（管理者）	1	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
生活相談員	1	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
介護職員	2	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
機能訓練指導員		非常勤		1.7	1.5	1.3	1.2	1.7	2.0	2.8	2.5	2.5	2.7	2.6
常勤の介護職員の採用・退職者数	1	常勤		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
非常勤の介護職員の採用・退職者数		介護職員												
採用		職員												
採用		退職												
非常勤の介護職員の採用・退職者数		介護職員												
採用		職員												
採用		退職												

○グループホーム初音の社

(人)

職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
介護職員	6	常勤		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	8.0	8.0
		非常勤		5.5	5.5	5.4	5.4	5.5	5.0	4.4	4.5	4.4	4.3	3.8
介護職員		採用		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		介護職員		2.9	2.2	1.9	3.1	3.1	2.1	2.7	3.0	2.5	3.0	3.1
非常勤の介護職員の採用・退職者数		介護職員												
採用		職員												
採用		退職												

○第二階層園ホーム 地域密着型特養看護老人ホーム

(人)

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
施設長（管理者）	1	常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
生活相談員・介護支援専門員	1	常勤		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
看護職員		常勤		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		非常勤		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	13	常勤		12.0	12.0	12.0	12.0	13.0	13.0	14.0	15.0	14.0	15.0	14.0	14.0
		非常勤		3.7	4.1	4.1	4.2	5.1	6.0	5.2	5.1	4.7	4.6	5.1	
看護介護職員計	13			18.7	19.7	18.4	18.7	18.7	19.5	19.5	19.3	18.8	17.2	16.3	17.8
管理栄養士	1	非常勤		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医師		非常勤		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他		非常勤		1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8
常勤の看護職員 及び介護職員の採用・退職者数		看護職員	採用												
		退職													
非常勤の看護職員 及び介護職員の採用・退職者数		介護職員	採用												
		退職													
その他採用・退職者数	その他	職種	採用												
		退職													

○第二階楽園ホーム 看護小規模多機能型居宅介護

(人)

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
介護職員	常勤	7	常勤	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	非常勤		非常勤	3.1	3.4	3.7	3.7	3.7	3.9	4.0	4.2	4.5	4.4	4.5	4.3
看護職員	常勤	2.5	常勤	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	非常勤		非常勤	0.9	1.9	1.9	2.3	2.4	2.3	2.7	2.3	2.3	2.5	2.6	2.3
その他	常勤		常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	非常勤		非常勤	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	0.9
常勤の看護職員 及び介護職員の採用・退職者数	採用		看護職員												
	退職		介護職員												
非常勤の看護職員 及び介護職員の採用・退職者数	採用		看護職員												
	退職		介護職員												
採用・退職者数	採用		看護職員												
	退職		介護職員												

○第二階楽園ホーム 保育

	職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
保育職員	子供年齢による	常勤	常勤	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		非常勤	非常勤	3.6	3.4	4.1	4.1	3.8	4.1	4.1	4.1	4.1	3.8	3.8	4.0
常勤又は非常勤の保育職員採用・退職者数	保育士	採用													
	常勤	退職													
その他	保育士	採用													
	非常勤	退職													
その他	その他	採用													
	職種	退職													

○八王子地域包括支援センター大和田

(人)

職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
センター長（管理者）	常勤	常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
社会福祉士	常勤	常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
主任介護支援専門員	常勤	常勤	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
保健師	常勤	常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
職員	常勤	常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
非常勤	非常勤	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
常勤又は非常勤の職員採用・退職者数	採用	退職	1.0						1.0					

○八王子市高齢者在宅サービスセンター中野

(人)

職種	基準配置	勤務形態	R6.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7.1月	2月	3月
センター長（管理者）	常勤	常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
介護職員	常勤	常勤	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
看護師	非常勤	非常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
その他	非常勤	非常勤	12.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	12.0	12.0	12.0
常勤又は非常勤の職員採用・退職者数	採用	退職	18.0	3.0	1.0				1.0			1.0		1.0

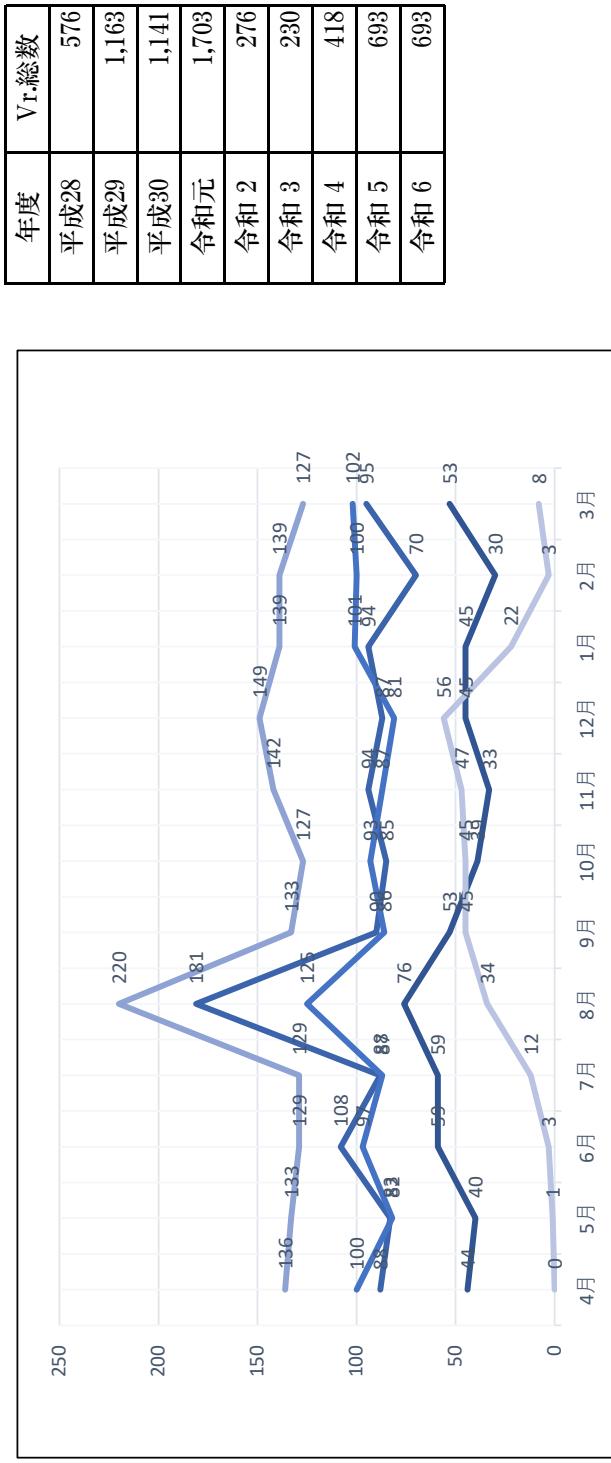
9 ボランティア活動者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
平成28年度	44	40	59	59	76	53	39	33	45	45	30	53	576
平成29年度	88	83	108	88	181	90	85	94	87	94	70	95	1,163
平成30年度	100	82	97	87	125	86	93	87	81	101	100	102	1,141
令和元年度	136	133	129	129	220	133	127	142	149	139	139	127	1,703
令和2年度	0	1	3	12	34	45	45	47	56	22	3	8	276
令和3年度	18	20	24	16	12	12	7	34	35	26	13	13	230
令和4年度	20	44	51	20	8	26	44	32	60	39	26	48	418
令和5年度	38	72	72	44	61	59	57	65	58	71	41	55	693
令和6年度	66	114	110	97	116	126	114	110	96	86	88	90	1,213

年度別推移

(人)



10 サービス向上に向けた取組

(1) 内部または外部によるサービス評価等の実施

取組	内 容	実施年月日
第三者評価の実施 ISO9001 内部監査 ISO9001 外部監査 更新審査	法人本部（品質管理室、企画情報室、管理） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、栄養、リハビリテーション、訪問介護、訪問介護北野） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、一般通所、認知通所、一般通所、認知通所、グループホーム） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、短期入所） 第二階楽園ホーム（相談支援、介護、看護、短期入所） 第二階樂園ホーム（訪問看護、看護小規模多機能住宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、企業主導型保育、通所介護、生活援助業務）	令和7年3月2日 令和7年3月9日 令和6年12月18日 令和6年12月18日 令和7年3月4日 看護
ISO9001 内部監査	法人本部（品質管理室、企画情報室、管理・栄養） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、短期入所、訪問介護、訪問介護北野） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、一般通所、認知通所、一般通所、認知通所、グループホーム） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、短期入所） 第二階樂園ホーム（相談支援、介護、看護小規模多機能住宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、企業主導型保育、通所介護、生活援助業務） 第二階福祉部（訪問看護、看護小規模多機能住宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、企業主導型保育、通所介護、生活援助業務） 地域共生部（地域包括支援センター大和田、介護予防支援）	令和6年5月28日 ～30日
ISO9001 外部監査 更新審査	法人本部（品質管理室、企画・情報室、管理） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、一般通所、認知通所、認知通所、一般通所、認知通所、グループホーム） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、一般通所、認知通所、一般通所、認知通所、グループホーム） 第二階樂園ホーム（相談支援、介護、看護、短期入所） 第二階福祉部（訪問看護、看護小規模多機能住宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、企業主導型保育、通所介護、生活援助業務） 地域共生部（地域包括支援センター大和田、介護予防支援）	令和6年8月13日 ～8月15日
ISO9001 内部監査 サードパーティ審査	法人本部（品質管理室） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、栄養、リハビリテーション、訪問介護、訪問介護北野） 施設サービス部（訪問看護、看護小規模多機能住宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、企業主導型保育、通所介護、生活援助業務） 地域共生部（地域包括支援センター大和田、介護予防支援）	令和6年11月27日 ～28日
ISO9001 外部監査 サードパーティ審査	法人本部（品質管理室） 施設サービス部（相談支援、介護、看護、栄養、リハビリテーション） 施設サービス部（訪問介護北野） 第二階樂園ホーム（相談支援、介護、看護、短期入所） 第二階福祉部（通所介護、生活援助業務） 地域共生部（通所介護、生活援助業務）	令和7年1月29日 ～1月30日

11 内部の会計チェック
毎月1回福祉会計サービスセンターによる仕分け伝票等の照合、小口現金出納帳、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書等の各種帳票類のチェック、ならびに預金残高の確認を実施 各種帳票類のチェックならびに現金、普通預金の残高確認を実施した。法人の取支に関わる懸念事項があるときは、相談、アドバイスをもらい、透明性のある会計処理を実施した。

12 広報誌発行回数
黎明からGreenDaysへ題目と内容を令和2年5月号（Vol.101）より、リニューアルし地域への広報活動の一ひとつとして毎号1650部を発行、各事業の理解と地域貢献のPRに取り組んだ。広報誌は利用者家族をはじめ加住地区の3,300余りの世帯へ回覧するほか、行政やボランティア新規利用希望者へ配布した。**効果については、宮下町、加住町における広報活動に対しての効果は一定数得られた。**
SNSの活用については、継続し更新しているが、地域や学生へ影響を及ぼす効果は確認がないため、次年度は学生目線でSNSの更新ができるよう取り組みに期待したい。

GreenDays 6回

発行日	号数	備考
令和7年 5月15日	※Vol.125号	16ページ
令和7年 5月15日	※Vol.126号	16ページ
令和6年 9月15日	Vol.127号	16ページ
令和6年11月15日	Vol.128号	16ページ
令和7年 1月15日	Vol.129号	16ページ
令和7年 3月15日	Vol.130号	法人設立記念号 ※不備があり、発行が遅れた

13 職員処遇

(1) 一般職員及び介護業務従事者健診の実施 (実施している検査項目等に○を記入すること。)

		実施月			労基署への報告		体重	視力	胸部X線	血圧	尿検査	血液検査	心電図	腰痛
常勤	一般職員	6	年	11	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	深夜及び介護業務従事者(1回目)	6	年	5	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	深夜及び介護業務従事者(2回目)	6	年	11	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般職員	6	年	11	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非常勤	深夜及び介護業務従事者(1回目)	6	年	5	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	深夜及び介護業務従事者(2回目)	6	年	5	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	常勤	6	年	12	月	○								ストレスチェック
	非常勤													

(2) 新入職員に対する入職時または配置時の健康診断を行っている場合

常勤	一般健康診断	○
	腰痛検診	○
非常勤	一般健康診断	○
	腰痛検診	○

(3) 労務災害予防・防止のため実施している対策(具体的に記入すること。)

定期健康診断、事故報告書の活用、朝礼での注意喚起、理学療法士による腰痛体操

(4) 労働基準監督署への届出(職員数50人以上の事業所)

衛生管理者届出・産業医の届出・安全衛生委員会の設置

14 メディア関連
メディア関連

	掲載年月日	雑誌・番組名	出版社・TV局	内容
1	令和6年5月24日	軽井沢ラジオ大学	FM軽井沢	終末期にどう向き合えばいい? 看取りケア／介護スタッフのための医療の教科書
2	令和7年2月7日	軽井沢ラジオ大学	FM軽井沢	2025年問題が目前に迫る介護業界 外国人材とICTの活用で変わる介護の現場
3	令和7年3月28日	東京新聞	東京中日新聞社	もぎたて情報館

15 指導検査

令和6年5月21日(火) 企業主導型保育所 かいらくえん

検査担当 八王子市福祉部指導監査課

企業主導型保育所 かいらくえん

検査担当 児童育成協会

企業主導型保育所 かいらくえん

検査担当 八王子市保育幼稚園課

令和6年11月14日(火) 社会福祉法人一誠会

検査担当 八王子市福祉部指導監査課

令和6年12月10日(火) 社会福祉法人一誠会

検査担当 八王子市福祉部指導監査課

16 実習生の受け入れ

実習生受け入れ実績

アルファ医療福祉専門学校 社会福祉士・精神保健福祉士通信課	1人	令6年9月 26日～令和6年10月9日 1名
和泉短期大学	1人	令6年10月 28日～令和6年11月23日 1名

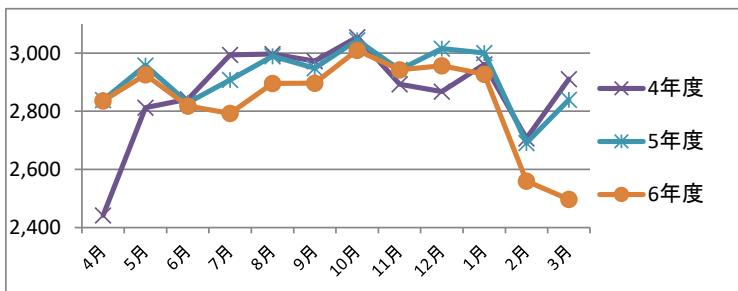
実習生を受け入れる意義

私達、介護福祉士、介護職は将来の介護福祉士になる人材を育成する大切な役割を担っています。

IV. 偕楽園ホーム（特別養護老人ホーム）

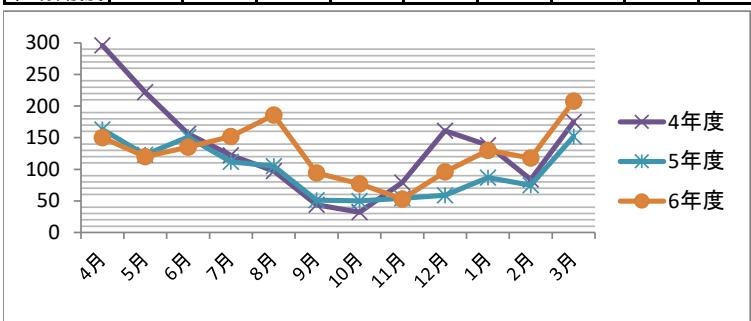
1 利用状況実績

特別養護老人ホーム	延べ人数 (定員100名)												平均介護度は当月末の利用者の平均	目標	96%
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
4年度	2,442	2,813	2,842	2,994	2,997	2,973	3,055	2,893	2,868	2,961	2,707	2,911	34,456		
平均介護度	3.94	3.93	3.94	3.94	3.97	4.01	4.02	3.98	4.01	4.04	4.11	4.13	4.00		
5年度	2,839	2,958	2,829	2,908	2,948	3,045	2,943	3,016	3,001	2,691	2,840	35,007			
平均介護度	4.12	4.13	4.15	4.16	4.18	4.20	4.21	4.21	4.18	4.23	4.23	4.18			
6年度	2,836	2,926	2,818	2,793	2,896	2,897	3,010	2,943	2,957	2,928	2,560	2,497	34,061		
平均介護度	4.25	4.23	4.22	4.23	4.25	4.22	4.25	4.25	4.23	4.23	4.24	4.25	4.24		



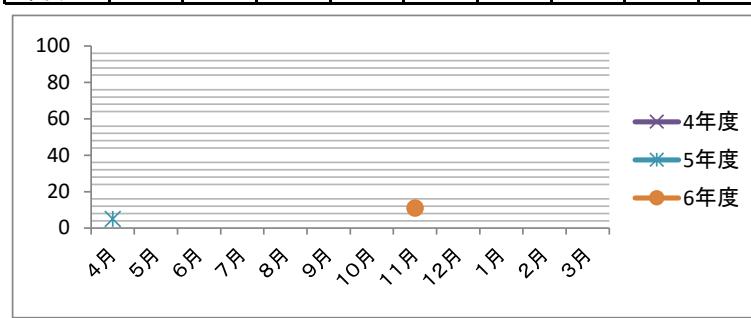
年度計	延人数	利用率
26年度	34,440	94.30%
27年度	34,595	94.52%
28年度	35,378	96.93%
29年度	35,287	96.68%
30年度	34,914	95.65%
元年度	34,752	94.95%
2年度	33,831	92.69%
3年度	33,327	91.31%
4年度	34,456	94.40%
5年度	35,007	95.65%
6年度	34,061	93.32%

短期入所生活介護空床型	延べ人数 (定員空床10名)												平均介護度は当月の利用者の平均	目標	3.7%
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
4年度	296	222	156	122	97	44	32	79	161	138	84	175	1,606		
平均介護度	3.25	2.93	2.67	2.71	2.5	2.67	2.80	2.29	2.5	2.7	3	3.10	2.76		
5年度	163	123	151	112	105	51	50	54	59	87	75	152	1,182		
平均介護度	3.44	3.56	3.40	4.10	3.44	3.83	4.20	4.00	3.75	3.75	4.00	3.50	3.75		
6年度	150	120	135	152	186	94	77	53	96	130	118	208	1,519		
平均介護度	3.33	2.36	3.10	2.50	2.81	2.67	3.29	2.14	2.50	2.89	3.13	3.33	2.84		



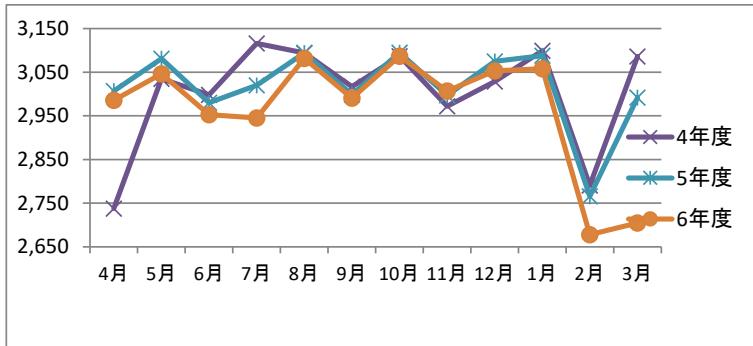
年度計	延人数	利用率
26年度	1,033	2.83%
27年度	1,543	4.22%
28年度	993	2.72%
29年度	1,032	2.83%
30年度	1,271	3.48%
元年度	1,360	3.72%
2年度	2,165	5.93%
3年度	2,485	6.81%
4年度	1,606	4.40%
5年度	1,182	3.23%
6年度	1,519	4.16%

予防短期入所生活介護	延べ人数 (定員10名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
4年度													0	
5年度		5											5	
6年度										11			11	



年度計	延人数	利用率
26年度	0	0.00%
27年度	7	0.02%
28年度	18	0.05%
29年度	43	0.12%
30年度	12	0.03%
元年度	0	0.00%
2年度	5	0.01%
3年度	0	0.00%
4年度	0	0.00%
5年度	5	0.01%
6年度	11	0.03%

特養・短期・予防短期 計	延べ人数 (定員100名)												目標 99.7%
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年度	2,738	3,035	2,998	3,116	3,094	3,017	3,087	2,972	3,029	3,099	2,791	3,086	36,062
5年度	3,007	3,081	2,980	3,020	3,094	2,999	3,095	2,997	3,075	3,088	2,766	2,992	36,194
6年度	2,986	3,046	2,953	2,945	3,082	2,991	3,087	3,007	3,053	3,058	2,678	2,705	35,591



年度計	延人数	利用率
26年度	35,473	97.19%
27年度	36,145	98.76%
28年度	36,389	99.70%
29年度	36,362	99.62%
30年度	36,197	99.17%
元年度	36,112	98.67%
2年度	35,996	98.62%
3年度	35,812	98.12%
4年度	36,062	98.62%
5年度	36,194	99.16%
6年度	35,591	97.51%

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入額(イ)	40,819	42,327	41,310	42,447	43,134	48,441	46,020	45,022	44,492	43,248	41,916	40,308	519,484
支出額(口)	41,147	38,465	38,506	40,118	40,257	41,778	45,806	41,464	42,422	41,737	43,263	31,111	486,074
内訳	職員給与	13,498	11,653	11,510	12,066	11,928	12,278	13,816	12,546	11,931	12,237	12,720	12,687
	賞与引当金、繰入	3,808	3,961	3,965	3,965	5,227	4,142	4,555	4,847	2,768	4,786	4,760	-9,257
	非常勤職員給与	6,132	5,340	5,481	4,950	4,923	4,691	6,246	5,106	6,659	5,083	5,173	7,215
	派遣職員費	678	880	629	1,419	1,212	2,649	2,647	2,141	1,652	1,608	2,032	19,636
	退職給付費用	513	715	510	551	504	558	625	580	547	547	489	549
	法定福利費	2,936	2,707	2,092	3,322	2,430	3,892	2,913	2,785	5,005	2,579	3,722	3,777
	給食業務委託費	3,288	3,288	3,292	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	3,288	39,460
	清掃業務委託費	304	304	230	230	304	304	304	304	304	304	304	3,500
	人件費計(八)	31,157	28,848	27,709	29,791	29,816	31,802	34,394	31,597	32,154	30,432	32,488	20,652
	対収入割合(八)÷(イ)	76.3%	68.2%	67.1%	70.2%	69.1%	65.7%	74.7%	70.2%	72.3%	70.4%	77.5%	51.2%
対支出割合(八)÷(口)	75.7%	75.0%	72.0%	74.3%	74.1%	76.1%	75.1%	76.2%	75.8%	72.9%	75.1%	66.4%	74.05%
	損益	-328	3,862	2,804	2,329	2,877	6,663	214	3,558	2,070	1,511	-1,347	9,197
	収支差額率	-1%	9%	7%	5%	7%	14%	0%	8%	5%	3%	-3%	23%
													6%

2 施設入所者の平均年齢等（短期入所者除く）

入所期間別入所（居）者数（令和7年3月31日現在）

入所期間	1か月以内	1月超～6月以内	6月超～1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超
男 性	1 人	4 人	4 人	5 人	1 人	3 人
女 性	1 人	7 人	9 人	29 人	9 人	23 人
合 計	2 人	11 人	13 人	34 人	10 人	26 人
平均入所期間	3 年	4 月				

入所（居）者の平均年齢

平均年齢	男	82.3	歳	女	85.8	歳	全体	85.1	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

認知症高齢者の数（医師が認知症と診断した者）

70 人

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1				
要支援2				
要介護1				
要介護2				
要介護3	2	15	17	17.7%
要介護4	7	32	39	40.6%
要介護5	9	31	40	41.7%
その他				
合計数	18	78	96	100%
介護度平均	4.39	4.21	4.24	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし								
	I			1		1			2
	II a			5	3	4	1	1	14
	II b			2	5	2		1	10
	III a		1	9	4	9		5	28
	III b		1	3		5		1	10
	IV		1	5		16		5	27
	M			1		1		3	5
	不明								
自立度 合計			3	26	12	38	1	16	96

5 入所(居)者 の 在籍状況及び理由別入退所(居)

在籍数	初日	入 所					退 所					
		在 宅	医療機関	社会福祉施設	介護老人保健施設	その他の計	在 宅	長期入院	社会福祉施設	介護老人保健施設	死 亡	そ の 他
2024年4月	98	4	1			5					3	3
5月	99	2	1			3		1			5	6
6月	96	2	2			4		1			3	4
7月	96	3				3					2	2
8月	97		1			1					1	1
9月	97	1				2					2	2
10月	97	1		1	2	4					1	1
11月	100					0					1	1
12月	99	2			1	3		1			2	3
2025年1月	99	1	1		2	4		1			3	4
2月	99	2	1			3		1			6	7
3月	95		1		1	2					1	1
計	1172	16	9	2	7	0	34	0	5	0	30	35

(1)死亡者の退所(居)状況について
注1 医療機関は、療養型を含む。注2 その他は、短期入所から引き続く入所(居)を含む。

6 退所者の状況

(1)死亡者の退所(居)状況について

番 号	死 亡 時 の 年 齡	死 亡 年 月 日	死 亡 理 由	死 亡 場 所 (該 当する場合)	遺 留 金 品 の 处 理 状 況		遺 言 状 の 有無	
					福 祉 事 勿 所 (該 当する場合)	引 渡 し 年 月 日 の 続 柄		
1	95	令和6年 4月12日	心不全	入院先		令和6年 6月 8日	長男	無
2	93	令和6年 4月15日	急性呼吸不全	施設内		令和6年 6月14日	長男	無
3	77	令和6年 4月27日	急性呼吸不全	施設内		令和6年 6月 9日	二男	無
4	82	令和6年 5月 4日	虚血性疾患	入院先		令和6年 6月30日	夫	無
5	89	令和6年 5月21日	急性呼吸不全	施設内		令和6年 7月12日	長女	無
6	90	令和6年 5月24日	誤嚥性肺炎	施設内		令和6年 7月16日	長女	無
7	88	令和6年 5月25日	急性呼吸不全	施設内		令和6年 7月 7日	二男	無
8	82	令和6年 5月28日	胃がん	施設内		令和6年 8月14日	長女	無
9	90	令和6年 6月13日	急性呼吸不全	施設内		令和7年 1月 1日	後見人	無
10	78	令和6年 6月18日	老衰	施設内		令和7年 8月13日	長男	無
11	80	令和6年 6月26日	虚血性疾患	入院先		令和7年 5月 3日	施設長	無
12	86	令和6年 7月 6日	急性呼吸不全	施設内		令和6年 9月 3日	養子	無
13	92	令和6年 7月27日	急性呼吸不全	施設内		令和6年10月 6日	長女	無

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所 (該当する場合) 福祉事務所	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					引渡し年月日	受領者の続柄	
14	96	令和6年8月10日	急性呼吸不全	施設内	令和6年10月7日	長女	無
15	92	令和6年9月12日	急性呼吸不全	施設内	令和6年11月14日	施設長	無
16	92	令和6年9月29日	急性呼吸不全	施設内	令和6年11月2日	長男	無
17	75	令和6年10月9日	多臓器不全	入院先	令和6年12月3日	後見人	無
18	96	令和6年11月26日	急性呼吸不全	施設内	令和7年1月17日	長女	無
19	89	令和6年12月8日	急性呼吸不全	施設内	令和7年1月31日	保佐人	無
20	98	令和7年1月8日	急性呼吸不全	施設内	令和7年3月20日	長男	無
21	87	令和7年1月8日	急性呼吸不全	施設内	令和7年3月24日	長女	無
22	84	令和6年1月28日	急性呼吸不全	施設内	令和7年4月24日	保佐人	無
23	96	令和7年2月1日	肺炎	入院先	令和7年3月20日	弟	無
24	81	令和7年2月3日	老衰	入院先	令和7年4月25日	後見人	無
25	82	令和7年2月10日	急性呼吸不全	施設内	令和7年4月1日	長男	無
26	86	令和7年2月11日	急性呼吸不全	施設内	令和7年3月17日	妹	無
27	56	令和7年2月25日	虚血性心疾患	入院先	令和7年4月26日	夫	無
28	92	令和7年2月28日	肺炎	施設内	令和7年5月7日	二女	無
29	83	令和7年3月21日	肺炎	入院先	令和7年4月16日	長男	無

(2)死亡による退所(居)者および死亡以外の退所(居)者のうち、遺留金品の引渡しが完了していないケース

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所 (該当する場合) 福祉事務所	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					引渡し年月日	受領者の続柄	

(3)死亡以外の退所(居)者の状況

番号	退所時の年齢	退所年月日	退所理由	(該当する場合) 福祉事務所	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					引渡し年月日	受領者の続柄	
1	82	令和6年5月31日	長期入院		令和6年12月5日	長女	無
2	90	令和6年6月30日	長期入院		令和6年8月28日	妻	無
3	73	令和6年12月11日	長期入院		令和7年1月29日	八王子市	無
4	84	令和7年1月20日	長期入院		令和7年2月1日	長女	無
5	101	令和7年2月28日	長期入院		令和7年4月9日	長女	無

7 日常生活に対する介助等の状況(令和7年3月31日現在)

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食事	自立	35人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。
	見守り	11人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	22人	
	全部介助	28人	
着替え	自立	9人	一部：手を貸せば着替えができる。
	見守り	3人	全部：自分でできないので全て介助を要する。
	一部介助	32人	
	全部介助	52人	
整容	自立	9人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、
	見守り	1人	一部介助すれば行うことができる。
	一部介助	34人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、
	全部介助	52人	全て介助を要する。
移動	自立	12人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	見守り	10人	
	一部介助	19人	全部：全て介助を要する。
	全部介助	55人	
移乗	自立	14人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	見守り	8人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	22人	
	全部介助	52人	

8 入浴の実施状況(令和7年3月31日現在)

ア 入浴時の健康状態のチェックの有無

イ 入浴介助の状況（人数は概数で可）

	個浴	介助浴（チエア浴）	機械浴
1人1回あたりの回数	2回	2回	2回
入浴対象者数	10人	32人	54人
1人1回あたりの入浴時間	15分	15分	15分
入浴時の実施曜日	月火水木金土曜日	月火水木金土曜日	月火水木金土曜日
1回あたりの入浴人員	1人	2人	3人
1人あたりの介助人員	1人	2人	3人
入浴できない者への対応 (該当欄に“○”を記入すること)	○	当日に清拭を行っている。 ○	代替日を設定し、入浴を行っている。 ○
			次回の入浴日まで入浴等は行わない。

(注) 入浴時間には更衣のための時間を含まない、実際の入浴時間を記入すること。

9 排せつ介助の状況（令和7年3月31日現在）

おむつ使用者数	常時 92人	夜間のみ 0人	布パンツ+パット	2名
1人1日あたりの定時交換回数	4回		ポータブルトイレ	7名
トイレ誘導者数	14人		入院者	15名
1人1日あたりの誘導回数	5回			
自立者数	10人			
排せつの自立に関する施設としての取組（自然排せつへの取組、自立への援助等）			排せつ自立の取組みとして尿量測定や排泄パターンの把握に努めてきた。	

10 理美容の機会 リネンの機会等

理美容の機会 理髪 月2回 美容（カラー・ペーマ有） 月1回 計 31回
実施人数 延べ457人

品名	交換状況	リースの有無
シーツ	週 1回	有
布団	年 2回	有
布団乾燥	年 1回	

11 行事開催状況

行事名	参加人数	行事内容	実績
お花見	85名	桜を眺めながら昼食やおやつを召し上がってもらう。	37,533円
花見外出	5名	車で公園に行き桜を見ながら季節を感じ、心身共に気分転換をしてもらう。	実費
花まつり	8名	八王子市高齢者住宅サービスセンター中野の花まつりに参加する。	実費
つつじ祭り	28名	初音の杜にて地域交流の催としてつつじ祭りに参加する。	実費
盆供養	3名	故人を偲び合同盆供養を行う。	78,436円
流しそうめん	26名	夏の風物詩である流しそうめんに参加し、季節感、涼を感じ楽しい一時を過ごしてもらう。	12,025円
納涼祭	25名	屋台等を出店し夏の風物詩を楽しんでもらう。	215,657円
敬老記念会食	17名	敬老記念をお祝いし、ご家族とお祝い膳を召し上がってもらう。	190,884円
秋の彼岸法要	2名	無量寺で故人の供養をさせてもらう。	38,300円
若松神社例大祭	10名	地域にある若松神社のお祭りに参加してもらう。	実費
介護フェア	13名	一般の方々に介護の大切さや素晴らしさを身近に感じてもらう。	実費
ハロウィン	100名	職員が仮装しおやつハイキングを実施する。	30,000円
加住市民センター祭り	3名	日頃の活動の中で生まれた利用者の作品を出品させてもらい、地域行事へ参加する。	実費
クリスマス会食	10名	職員出し物と一緒にご家族と昼食を召し上がってもらう。	83,333円
もちつき大会	28名	新年を祝う行事と餅つきを楽しんでもらう。	101,469円
初詣	5名	新年の季節行事として初詣に行く。	実費
節分	65名	年男・年女の方には絆を身に着けての記念撮影を行い、鬼役の職員に豆まきを行ってもらう。	2,963円
芋煮会	8名	第二偕楽園ホームにて春の息吹を感じながら、地域の方と交流をはかる。	実費
春の彼岸法要	2名	無量寺で故人の供養をさせてもらう。	39,400円

12 クラブ開催状況

クラブ名	参加総人数	ボランティア	※開催状況	利用者負担
書道	6名	有	年間 1回	有
茶道	241名	有	年間11回	有
華道	98名	有	年間 9回	有
わらべうた	160名	有	年間 6回	無
園芸	22名	無	年間 4回	無
カラオケ	1,056名	無	年間 57回	無
風船バレー	21名	無	年間 3回	無
レクリエーション (工作、おやつレク、外出、塗り絵等)	321名	無	月1~2回 (基本 金)	有
ピューマンマインドエクササイズ音楽療法	402名	無	月4回 年間 41回	無

※コロナの影響でボランティア来園できず、未開催にて回数が少ないクラブあり

喫茶いこい	304名	有	不定期 (基本 火・木・金)	有
-------	------	---	----------------	---

13 福祉用具等の保有状況(令和7年3月31日現在)

	施設保有台数	使用者数	うち個人持込	合計
車いす	82台	79台	6台	88台
歩行器	13台	7台	1台	14台
エアマット	19台	15台	0台	19台
ポータブルトイレ	9台	9台	0台	9台

14 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

疾患群	男	女	計	%
神經系 脳血管障害 脳変性疾患	11	32	43	10.4%
循環器 高血圧 動脈硬化心不全・不整脈刺激伝導系障害	14	49	63	15.3%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害（前立腺・膀胱炎）	9	19	28	6.8%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	8	45	53	12.9%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	13	43	56	13.6%
血液 貧血 その他の血液疾患	1	1	2	0.5%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	7	22	29	7.0%
運動器 骨疾患 関節疾患	12	61	73	17.7%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	9	28	37	9.0%
精神系	1	21	22	5.3%
婦人系	0	6	6	1.5%
合計	85	327	412	
利用者1名あたり疾患を有する数				4.24

15 入院状況 年度別推移

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計†	平均
平成 26 年	延人数	3	1	6	3	0	3	4	3	4	5	5	3	40	3.33
	延日数	61	10	237	59	0	21	120	74	75	85	63	73	878	73.2
平成 27 年	延人数	8	10	9	9	12	8	2	6	4	4	5	3	80	6.7
	延日数	69	157	94	161	198	151	69	64	44	20	60	73	1,160	96.7
平成 28 年	延人数	5	2	2	0	6	5	4	4	5	3	6	5	47	3.9
	延日数	70	5	15	0	68	108	58	39	60	55	60	76	614	51.2
平成 29 年	延人数	4	3	0	0	1	2	1	1	4	2	1	0	19	1.6
	延日数	19	55	0	0	32	38	3	115	58	75	28	0	423	35.2
平成 30 年	延人数	3	2	3	2	2	2	7	4	6	4	3	4	42	3.5
	延日数	12	14	89	104	35	98	112	169	135	149	60	87	1,064	88.7
令和元年	延人数	7	4	1	0	0	4	9	7	8	8	6	4	29	2.4
	延日数	118	68	11	0	0	76	121	130	139	108	121	76	968	80.7
令和 2 年	延人数	0	1	3	5	4	1	5	9	5	1	1	5	40	3.3
	延日数	0	6	160	172	89	38	99	240	157	6	12	191	1,170	97.5
令和 3 年	延人数	1	5	5	3	8	9	10	14	14	7	7	14	97	8.1
	延日数	1	50	93	55	125	198	213	301	187	143	90	237	1,693	141.1
令和 4 年	延人数	7	2	3	2	2	2	2	2	3	0	2	7	34	2.8
	延日数	97	62	49	38	61	22	5	28	49	0	12	95	518	43.2
令和 5 年	延人数	4	7	4	7	2	0	3	1	1	2	7	3	41	3.4
	延日数	75	152	199	108	40	45	67	49	49	53	124	158	1,229	102.4
令和 6 年	延人数	6	5	7	12	7	4	4	3	8	7	18	22	103	8.6
	延日数	133	115	73	193	93	22	47	48	116	124	171	479	1,614	134.5

16 医療的な処置をする入所者への対応

状況	人 数	施設で行っている対応（注意点などを書くこと。）
経管栄養（胃ろう・鼻腔）	2	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間に基づきベッド上ギヤッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	受診までの応急対応として実施
常時吸引	26	口腔・鼻腔（医師の指示箋の下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150 mmHg
バルーンカテーテル留置	3	
在宅酸素	0	
褥瘡	24	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	2	自己血糖チェック及び皮下注見守り 1名、 定時インシシリン注射 1名
人工肛門（ストーマ）	0	

17 感染症の状況

感染症名	人数	発症場所・まん延状況等
インフルエンザ	0	
ノロウイルス	12（内、入院2名）	施設内
疥癬	1	
結核	0	
MRSA	5	1名鼻腔保菌、4名咽頭保菌、他者へ感染なし
肝炎	4	他者への感染なし
COVID-19	41（内、入院名）	施設内
その他	1	1名綠膿菌

18 入退院の状況

入院期間	1~30日	31日~60日	61日~90日	91日以上	計
入院者実数() 内は3月31日現在 入院中の者の再掲	48人(8人)	17人(6人)	0人(0人)	1人(1人)	66人(15人)

19 入所(居)者等の診療状況

区分	嘱託医による 診療実績		医療機関での診療実績 (協力医療機関及び協力医療機関以外の双方)		
	通院実数	往診実数	通院実数	往診実数	入院実数
内科	延人数 4,313	実人數 132	延人数 10	実人數 2,495	延人数 132
外科	0	0	6	5	0
整形外科	0	0	36	33	0
耳鼻咽喉科	0	0	4	1	0
眼科	0	0	7	20	4
皮膚科	0	0	34	10	0
婦人科	0	0	6	2	0
泌尿器科	0	0	15	13	0
精神神経科	0	0	0	411	20
歯科	0	0	0	0	0
その他	0	0	71	52	0
合計	4,313	132	189	146	274
					69
					66

20 嘱託医師の状況

番号	診療科目等	常勤・非常勤の別	配置契約書の有無
1	内科 外科	非常勤	有
2	内科	非常勤	有
3	内科 泌尿器科	非常勤	有
4	内科・循環器科	非常勤	有
5	精神科	非常勤	有
6	訪問歯科	非常勤	有

21 協力医療機関

(協力歯科医療機関を定めている場合診療科目に歯科と記入すること。)

医療機関名	主な診療科目	契約書等の有無	所要時間(車で)
新谷医院	内科	有	60分
高輪会・八王子歯科	歯科	有	60分
高月病院	精神科	有	5分
右田病院	内科 外科	有	20分

22 家族との連携

(1) 面会状況等

家族等の面会があつた入所(居)者 有り 92人 無し 30人	外泊したことがある入所(居)者 0人
(2) 家族との交流等	
ア 家族会開催 無	イ 家族懇談会 無

23 預り金の收支状況の報告（令和7年3月31日現在）

ア 報告の際の施設長の決裁の有無 有	イ 入所(居)者への報告の有無 有	ウ 本人への報告 有	エ 家族等への報告 有
(1) 施設で保管している遺言状の件数 0件			
(2) 預り金・遺留金等から寄附があつた場合の件数 0件			
区分・預貯金			

預り人員	預り金総額	一人当りの預金	個人別 最高額	個人別 最低額
97名	36,070,525円	371,861円	4,467,092円	1,000円

24 行事食一覧表

月日	行事	メニュー
4月 9日	イースター	オムライス デミソースがけ コーンスープ トマトサラダ
4月10日	駅弁の日	(宇都宮 餃子弁当) ご飯 餃子 中華スープ 筍の煮物 華風和え ザーサイ
4月13日	お花見会食	ちらし寿司 清汁(素麺・三つ葉) 精進揚げ 鶏の照り焼き 炊き合わせ 菜の花の胡麻和え 白花豆 オレンジ
4月23日	選択食	カツミックスフライと海鮮ミックスフライの選択食
5月 1日	八十八夜	(おやつ) お茶饅頭
5月 5日	端午の節句	太巻き・いなり 清汁(素麺・三つ葉) 炊き合わせ ほうれん草のお浸し
5月20日	選択食	赤魚の粕漬焼きと牛肉じやがの選択食
5月22日	おやつバイキング	抹茶パウンドケーキ 二色ゼリー いちごババロア 羊羹 フルーツパフェ ロールケーキ やわらかサブレ
6月 7日	駅弁の日	(東京都 チキン弁当) チキンライス 赤だし汁(庄内麩・豆苗) 鶏のから揚げ ポテトサラダ ピクルス
6月18日	おにぎりの日	おにぎり 味噌汁(もやし・ゆず) はんぺんとひき肉炒め 里芋の煮物 金時豆
6月21日	選択食	エビフライと牛肉のおろし煮の選択食
7月 7日	七夕	七夕そうめん 葉味 コロッケ バナナ
7月23日	選択食	鮭のラビゴットと牛肉じやがの選択食
7月24日	土用の丑	うな重 清汁(卵豆腐) 即席漬け
7月25日	おやつバイキング	バームクーヘン オムレット フレンチトースト 星型ゼリー プリン
8月 4日	涼風御膳	冷や汁うどん ゴーヤカレーチャンブル 竹輪の香り揚げ レモンゼリー
8月15日	終戦記念日	おにぎり すいとん汁 野菜サラダ スイカ
8月16日	駅弁の日	(岩手県 豚肉南部焼き弁当) ご飯 のっぺい汁 豚肉南部焼き コロッケ ポテトサラダ 煮物 玉子焼き 青菜のお浸し
8月24日	納涼祭	焼きそば フランクフルト やきとり ビール 枝豆 かき氷 わたがし えびせん
9月 9日	重陽の節句	栗ご飯 赤だし汁 肉じやが 菊入り和風サラダ フルーツカクテル
9月16日	敬老会祝膳	握り寿司(マグロ・鯛・サーモン・太巻き) 清汁(松茸麩・三つ葉) 野菜の天ぷら 炊き合わせ 茶碗蒸し フルーツ(梨・ぶどう)
9月18日	選択食	ホタテ風味フライと南蛮チキンカツの選択食
9月22日	お彼岸	(おやつ) おはぎ
9月25日	郷土料理の日	(北海道) 豚丼 三平汁 ジャガイモバター メロンゼリー
10月 5日	秋御膳	栗ご飯 清汁(豆腐・三つ葉) 鮭の塩焼き 茄の天ぷら 柿
10月18日	駅弁の日	(秋田県 黒豚カツ弁当) ご飯 味噌汁(しめじ・蒲鉾) ひじきの煮物 ポテトサラダ 玉子焼き オレンジ
10月26日	八王子弁当	さつま芋ご飯 すまし汁 桑都揚げ なすの田楽 ふんわり豆腐の銀あん しめじと小松菜のマリネ 焼き銀杏 柿
10月30日	選択食	ハンバーグきのこソースとアジフライの選択食
10月31日	おやつバイキング	紫芋のパウンドケーキ スイートポテト ブチケーキ ぶどうゼリー おばけマシュマロクッキー フルーツシュークリーム ココアワッフル どら焼き
11月 6日	秋の味覚ランチ	おろし人参ときのこのピラフ さつま芋と南瓜のシチュー 彩りサラダ ぶどうゼリー
11月18日	選択食	豚肉のスタミナ焼きとえびかつの選択食
11月20日	おやつバイキング	ブッシュドノエル コーヒーブリンク バームクーヘン 紅白饅頭 クリスマスクッキー いちごババロア 一口ケーキ

12月10日	選択食	カニチャーハンと焼き鳥丼の選択食
12月12日	駅弁の日	(福岡県 牛めんたい弁当) ご飯 味噌汁(人参・春菊) 唐揚げ カリフラワーのサラダ 高菜漬け
12月21日	冬至	小豆粥 味噌汁(蓮根・葉) カレイの柚子風味焼き 南瓜の煮物 春菊の白和え
12月21日	クリスマス祝食	チキンライス クラムチャウダー ミートローフ エビフライ ほうれん草とチーズのキッシュ ミニトマト サーモンポテトのサラダ巻き フルーツポンチ
12月31日	年越しそば	年越しそば 海老と玉ねぎのかき揚げ 鮭の塩焼き かぶの柚子和え
1月 1日	元旦祝い膳	赤飯 初春汁(手鞠麩・三つ葉) 祝い肴 煮しめ 紅白なます 黒豆
1月 7日	七草粥	(朝食) 七草粥 味噌汁(玉ねぎ・なると) 厚揚げの生姜煮 大根とツナのソテー
1月11日	鏡開き	(おやつ) おしるこ
1月15日	小正月	小豆粥 赤だし汁(人参・ごぼう) 豚すき焼き 冬瓜の銀あん 野沢菜漬け(おやつ) お餅ムース
1月18日	選択食	そぼろ丼と玉チリ丼の選択食
1月20日	大寒	ご飯 味噌汁(いた麩・さや) ブリの照り焼き 冬瓜と車麩の煮物 金時豆
2月 2日	節分	太巻き けんちん汁 いわしの佃煮 菜の花のお浸し
2月14日	駅弁の日	(福岡県 かしわ弁当) ご飯 かきたま汁 鶏ひき肉甘辛煮 炒り卵 ひじきの煮物 即席漬け 桜漬け
2月14日	バレンタインデー	(おやつ) 生チョコケーキ
2月15日	冬の味覚御膳	生姜ご飯 豆乳鍋 さつま芋の柚子煮 ブロッコリーの塩麹 ナムル
2月19日	選択食	スタミナ焼きとエビのかき揚げ丼の選択食
2月23日	創立記念祝い食	赤飯 清汁(あさり・柚子) マグロの刺身 天ぷら盛り合わせ 春菊の胡麻和え 茎
3月 3日	ひな祭り	桜ちらし 清汁(とろろ昆布・菜の花) 春野菜の炊き合わせ 茎 (おやつ) 茎ババロア
3月 7日	芋煮会	芋煮 おにぎり 唐揚げ 煮物 漬物
3月18日	お米の日	おにぎり 赤だし汁(筍・ネギ) さばの塩焼き 高野豆腐の煮物 たくあん漬け
3月21日	お彼岸	赤飯 清汁(卵豆腐) 精進揚げ 大豆と昆布の煮物 たくあん漬け (おやつ) ぼたもち

25 検査予防対策

(1) 椎間板ヘルニアの把握方法	栄養ケアマネジメント	椎間板ヘルニアの既往がある者（椎間板ヘルニアの皮膚状態の意見等（入浴時）
看護師からの意見等（入浴時）	看護師からの意見等（入浴時）	椎間板ヘルニアの皮膚状態の意見等（入浴時）
(2) 椎間板ヘルニアに対する検査予防計画	有り	
(3) 椎間板ヘルニアに対する検査予防計画	有り	
(4) 椎間板ヘルニアの設置	有り 12 回/年	工 力
開催		椎間板ヘルニアの整備 椎間板ヘルニアを有する入所（居）者の状況等（令和 7 年 3 月 31 日現在）
		特養 10 名

番号	年齢	入所年月日	発祥場所【施設・病院】	発祥に至った原因
1	84 歳	2021 年 2 月 17 日	施設	仙骨部 左第 1 趾部付け根 左第 1 趾部
2	92 歳	2019 年 11 月 20 日	施設	右外踝部
3	89 歳	2015 年 3 月 18 日	施設	右足外側 左臀部
4	90 歳	2017 年 1 月 21 日	施設	右第 5 趾付け根 左第 5 趾付け根 左外踝部
5	75 歳	2017 年 5 月 3 日	施設	左外踝部
6	69 歳	2022 年 12 月 16 日	施設	左臀部
7	84 歳	2025 年 1 月 25 日	施設	左腰部 右第 1 趾付け根
8	84 歳	2022 年 11 月 6 日	施設	背部
9	95 歳	2024 年 7 月 16 日	施設	腸骨（大転子）部 右臀部
10	83 歳	2025 年 3 月 27 日	施設	右踵

26 身体的拘束等廃止への取り組み

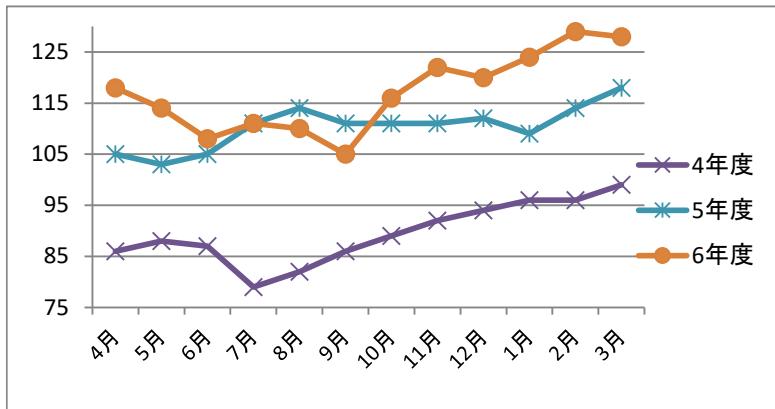
- (1) 身体的拘束を実施した入所（居）者数 0 人
 (2) 身体的拘束を廃止するための委員会の設置 有 委員会開催回数 12 回

V. 偕楽園ホーム居宅介護支援事業所

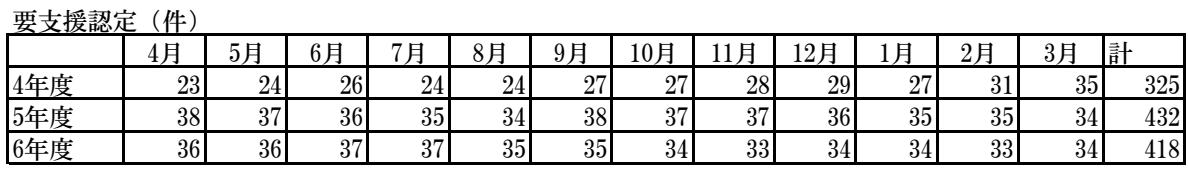
1 利用状況実績（偕楽園ホーム）

要介護認定（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	86	88	87	79	82	86	89	92	94	96	96	99	1074
5年度	105	103	105	111	114	111	111	111	112	109	114	118	1324
6年度	118	114	108	111	110	105	116	122	120	123	126	122	1395



26年度	542	
27年度	621	+79
28年度	643	+22
29年度	985	+342
30年度	1,085	+100
元年度	1,060	-25
2年度	1,044	-16
3年度	1,025	-19
4年度	1,074	+49
5年度	1,324	+249
6年度	1,395	+71



26年度	189	
27年度	283	+94
28年度	339	+56
29年度	421	+82
30年度	477	+56
元年度	411	-66
2年度	308	-103
3年度	284	-24
4年度	325	+41
5年度	432	+113
6年度	418	-14

要介護度分布及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	52	53	56	59	58	57	65	71	68	72	76	75
要介護2	36	35	30	30	29	27	28	28	30	30	30	29
要介護3	16	14	12	11	12	10	11	11	12	11	11	10
要介護4	8	6	6	7	6	7	9	9	7	6	6	6
要介護5	6	6	4	4	5	4	3	3	3	4	3	2
合計	118	114	108	111	110	105	116	122	120	123	126	122
平均介護度	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入額(イ)	1,787	1,601	1,603	1,658	1,564	1,541	1,991	1,706	1,634	1,677	1,877	1,909
支出額(ロ)	1,626	1,679	1,619	2,002	1,716	1,593	1,923	1,752	1,982	1,689	1,867	1,982
内訳	職員給与	1,086	1,085	1,087	1,089	1,096	1,089	1,281	1,171	1,182	1,167	1,178
	賞与引当金、繰入	278	279	280	278	278	117	227	227	227	227	330
	非常勤職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	33	42	34	32	34	32	32	32	32	32	32
	法定福利費	126	130	133	285	126	214	134	215	365	137	215
	給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計(ハ)	1,523	1,536	1,534	1,684	1,534	1,452	1,674	1,645	1,806	1,563	1,652

2 介護支援専門員の配置状況

介護支援専門員（常勤換算）	3人	【内訳】	常勤専従	3人
---------------	----	------	------	----

3 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男 83.1 歳	女 86.5 歳	全体 85.1 歳
------	----------	----------	-----------

4 介護度別利用者数の割合

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
54.6%	25.9%	10.1%	6.0%	3.4%

5 加算・減算の適用と算定額

加算項目	単位	円	件数	算定額
初回加算	300	3,315	58	192,270
入院時情報連携加算 I	250	2,762	3	8,286
入院時情報連携加算 II	200	2,210	2	4,420

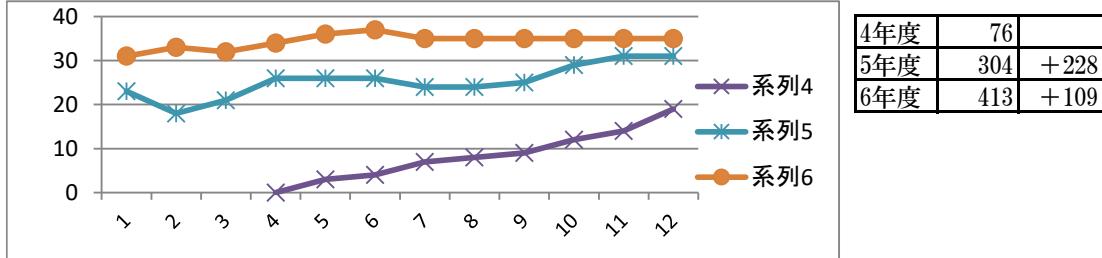
6 終了件数内訳

事由	件数
入所等（長期入院含む）	21 件
死亡	16 件
変更（居宅介護支援事業所の変更、予防給付への移行含む）	5 件
	42 件

7 利用状況実績（偕楽園ホーム北野）

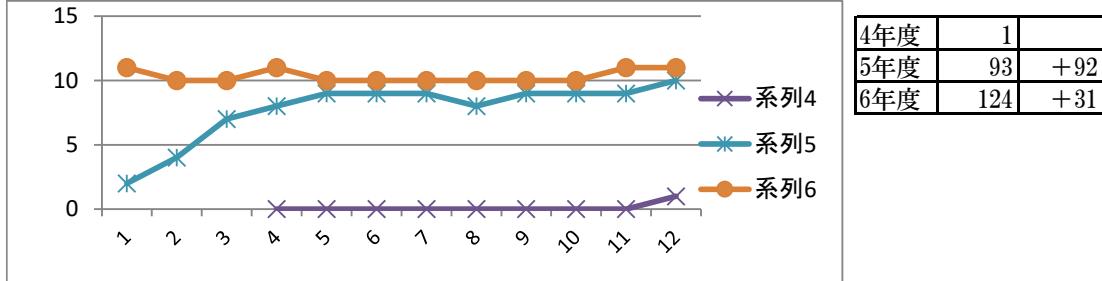
要介護認定（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度				0	3	4	7	8	9	12	14	19	76
5年度	23	18	21	26	26	26	24	24	25	29	31	31	304
6年度	31	33	32	34	36	37	35	35	35	35	35	35	413



要支援認定（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度				0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5年度	2	4	7	8	9	9	9	8	9	9	9	10	93
6年度	11	10	10	11	10	10	10	10	10	10	11	11	124



要介護度分布及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	22	24	23	23	24	24	23	24	24	23	23	23
要介護2	6	4	5	6	7	7	6	7	7	7	7	7
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
要介護4	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	31	31	32	35	35	33	35	35	35	35	35
平均介護度	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6

単位千円													
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入額(イ)		414	425	435	455	502	478	610	561	488	467	533	534
支出額(ロ)		670	722	667	723	707	609	717	711	671	669	721	702
内訳		職員給与	409	411	408	411	416	413	476	435	438	423	447
		賞与引当金、繰入	91	92	90	90	90	-17	70	70	-37	70	70
		非常勤職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退職給付費用	11	13	13	10	13	10	10	10	10	10	10
		法定福利費	60	66	60	108	62	89	58	89	124	60	89
		給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費計(ハ)	571	582	571	619	581	495	614	604	535	563	616
		対収入割合(ハ) ÷ (イ)	137.9%	136.9%	131.3%	136.0%	115.7%	103.6%	100.7%	107.7%	109.6%	120.6%	115.6%
		対支出割合(ハ) ÷ (ロ)	85.2%	80.6%	85.6%	85.6%	82.2%	81.3%	85.6%	85.0%	79.7%	84.2%	85.4%
		損益	-256	-297	-232	-268	-205	-131	-107	-150	-183	-202	-188
		損益累計(年度純利益)	-256	-553	-785	-1,053	-1,258	-1,389	-1,496	-1,646	-1,829	-2,031	-2,219
		収支差額率	-62%	-70%	-53%	-59%	-41%	-27%	-18%	-27%	-38%	-43%	-35%
													-31%
													-40%

8 介護支援専門員の配置状況

介護支援専門員（常勤換算）	1人	【内訳】	常勤専従	1人
---------------	----	------	------	----

9 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男 77.7 歳	女 87.0 歳	全体 81.3 歳
------	----------	----------	-----------

10 介護度別利用者数の割合

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
69.7%	18.9%	1.0%	10.4%	0.0%

11 加算・減算の適用と算定額

加算項目	単位	円	件数	算定額
初回加算	300	3,315	18	59,670
入院時情報連携加算 I	250	2,762	2	5,524
入院時情報連携加算 II	200	2,210	0	0

12 終了件数内訳

事由	件数
入所等（長期入院含む）	8 件
死亡	5 件
変更（居宅介護支援事業所の変更、予防給付への移行含む）	4 件
	17 件

VI. 偕楽園ホーム定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業所

1 利用状況実績

定期巡回・随时対応型訪問介護看護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度登録者数	13	14	14	15	18	16	12	12	12	14	19	21	180
4年度訪問回数	472	650	597	610	661	684	588	573	578	617	623	890	7,543
4年度平均介護度	1.5	1.7	1.7	1.9	1.8	2.1	1.5	1.5	1.5	1.4	1.8	1.8	20.2
5年度登録者数	22	22	20	23	23	21	20	21	22	21	19	20	254
5年度訪問回数	949	932	867	897	1020	796	886	864	953	1059	931	980	11,134
5年度平均介護度	2.0	1.9	2.3	2.2	1.8	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8	1.9	1.9	2.0
6年度登録者数	21	23	23	20	21	22	18	20	21	23	24	23	259
宮下	15	17	17	14	13	14	12	12	14	13	12	13	166
北野	4	4	4	4	6	6	5	7	6	8	10	8	72
小比企	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2
6年度訪問回数	949	830	789	822	770	809	738	781	862	915	889	1024	10,178
6年度平均介護度	2.1	2.0	2.0	1.8	1.6	1.9	2.0	2.0	2.1	2.0	2.3	2.3	2.0

訪問介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度登録者数	26	27	25	29	29	31	30	25	23	26	32	28	331
4年度訪問回数	232	304	301	391	296	254	314	302	291	245	251	279	3,460
5年度登録者数	29	29	30	28	26	23	25	33	32	31	32	32	350
5年度訪問回数	211	215	223	198	161	249	309	266	228	241	267	241	2,809
6年度登録者数	32	33	34	37	34	35	31	32	34	33	34	33	402
宮下	21	20	20	25	20	21	20	22	24	24	25	26	268
北野	8	9	10	10	10	10	8	7	8	7	8	6	101
小比企	3	4	4	2	4	4	3	3	2	2	1	1	33
6年度訪問回数	322	250	228	241	211	230	227	258	231	254	280	319	3,051

夜間対応型訪問介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度登録者数	6	7	6	9	8	8	6	6	7	7	11	10	91
4年度訪問回数	1	0	1	3	0	0	1	1	3	6	4	3	23
5年度登録者数	10	11	11	10	5	5	7	17	17	16	18	18	145
5年度訪問回数	0	1	1	8	2	1	1	10	6	1	1	1	33
6年度登録者数	13	15	14	15	12	12	10	11	11	11	12	12	148
宮下	7	8	8	9	6	8	5	7	8	8	9	9	92
北野	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	33
小比企	3	3	3	3	3	1	2	2	1	1	1	0	23
6年度訪問回数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3

令和4年度（定期+訪問+夜間）

年度目標【年度純利益320万】

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
損益	-227	-56	-393	-795	-308	61	-197	-318	-333	-514	114	1,669
損益累計（年度純利益）	-227	-283	-676	-1,471	-1,779	-1,718	-1,915	-2,233	-2,566	-3,080	-2,966	-1,297

令和5年度（定期+訪問+夜間）

年度目標【年度純利益450万】

単位千円

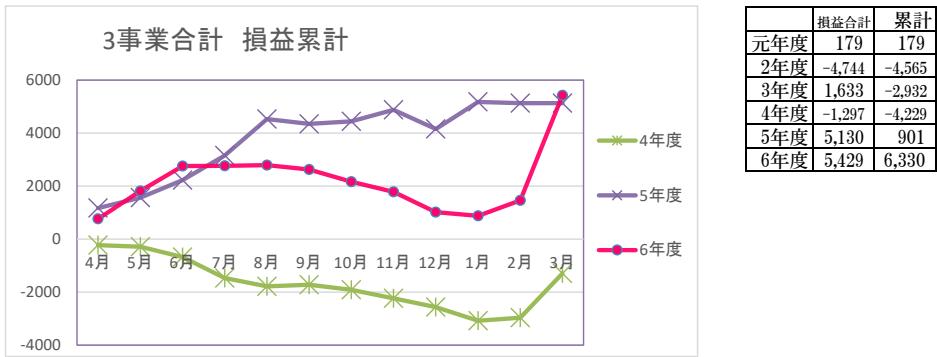
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
損益	1,171	395	664	925	1,376	-186	102	434	-727	1,022	-46	0
損益累計（年度純利益）	1,171	1,566	2,230	3,155	4,531	4,345	4,447	4,881	4,154	5,176	5,130	5,130

令和6年度（定期+訪問+夜間）

年度目標【年度純利益660万】

単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
損益	763	1,051	944	5	32	-166	-462	-383	-769	-132	576	3,970
損益累計（年度純利益）	763	1,814	2,758	2,763	2,795	2,629	2,167	1,784	1,015	883	1,459	5,429



	損益合計	累計
元年度	179	179
2年度	-4,744	-4,565
3年度	1,633	-2,932
4年度	-1,297	-4,229
5年度	5,130	901
6年度	5,429	6,330

2 利用者の平均年齢（定期巡回・隨時対応型訪問介護看護事業）

(令和7年3月31日現在)

平均年齢	男	81.2	歳	女	86.1	歳	全体	84.2	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1				
要支援2				
要介護1	3	6	9	39.1%
要介護2	1	1	2	8.7%
要介護3	2	4	6	26.1%
要介護4	3	2	5	21.7%
要介護5		1	1	4.3%
その他 区変中				
合計数	9	14	23	100%
介護度平均	2.56	2.36	2.43	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし	2	1	2	1			1	7
	I			1	1				2
	IIa								0
	IIb		2	1	5				8
	IIIa			1	1		1	1	4
	IIIb								
	IV								
	M								
	不明	3							
自立度 合計		5	3	5	8			1	23

5 利用者の平均年齢（訪問介護事業）

(令和7年3月31日現在)

平均年齢	男	76.6	歳	女	83.9	歳	全体	80.8	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

6 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1				
要支援2			1	1 3.0%
要介護1	5	8	13	39.4%
要介護2	5	3	8	24.2%
要介護3		1	1	3.0%
要介護4		2	2	6.1%
要介護5	4	4	8	24.2%
その他 区変中				
合計数	14	19	33	100%
介護度平均	2.50	2.39	2.44	

7 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし	2		5	1				8
	I		3	1	5				9
	IIa								0
	IIb		1	1	2	1	1		6
	IIIa				2		1	1	5
	IIIb								0
	IV						2	2	4
	M								
	不明	1							
自立度 合計		3	4	7	10	1	2	3	33

8 利用者の平均年齢（夜間対応型訪問介護事業）

(令和7年3月31日現在)

平均年齢	男	74.3	歳	女	77.4	歳	全体	75.6	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

9 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1				
要支援2				
要介護1	3	2	5	38.5%
要介護2	2	2	4	30.8%
要介護3			0	0.0%
要介護4			0	0.0%
要介護5	2	2	4	30.8%
その他 区変中				
合計数	7	6	13	100%
介護度平均	2.43	2.67	2.54	

10 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

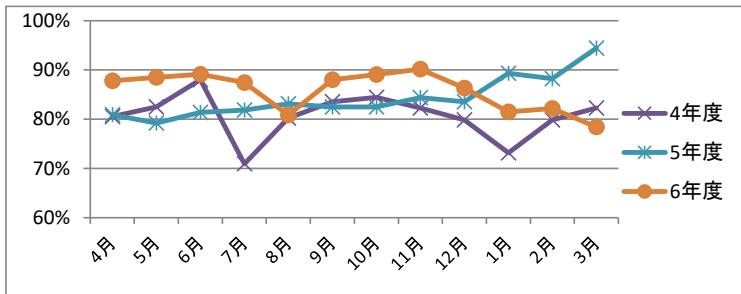
(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし			2	1				3
	I				2				2
	IIa								0
	IIb				1	1			2
	IIIa				1		1	1	3
	IIIb								
	IV							1	
	M								
	不明								
自立度 合計				2	5	4	1	1	13

VII. デイサービスセンター初音の杜

1 利用状況実績（地域密着型通所介護事業）

	延べ人数 (定員18名)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	377	386	412	332	390	391	380	385	388	316	345	400	4502
営業日数	26	26	26	26	27	26	25	26	27	24	24	27	310
月間利用率	80.56%	82.48%	88.03%	70.94%	80.25%	83.55%	84.44%	82.26%	79.84%	73.15%	79.86%	82.30%	80.64%
平均介護度	1.5	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.7	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.48
5年度	364	385	381	383	404	386	386	395	391	386	397	442	4700
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
月間利用率	80.89%	79.22%	81.41%	81.84%	83.13%	82.48%	82.48%	84.40%	83.55%	89.35%	88.22%	94.44%	84.28%
平均介護度	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.53
6年度	411	430	401	425	393	396	433	422	404	352	355	367	4789
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310
月間利用率	87.82%	88.48%	89.11%	87.45%	80.86%	88.00%	89.09%	90.17%	86.32%	81.48%	82.18%	78.42%	85.78%
平均介護度	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.58



単位千円													
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入額(イ)		4,758	4,801	4,641	4,855	4,426	4,461	5,141	4,837	4,224	4,231	4,156	4,309
支出額(ロ)		4,031	3,667	4,127	3,862	4,080	4,052	4,327	4,016	4,427	3,779	4,099	2,442
内訳	職員給与	1,066	732	900	858	837	872	922	844	841	836	825	830
	賞与引当金、繰入	326	362	363	496	491	505	374	434	173	404	396	-1,386
	非常勤職員給与	558	761	586	470	499	490	597	601	826	607	560	827
	派遣職員費	384	226	455	416	468	356	643	462	472	479	493	500
	退職給付費用	30	80	41	31	33	32	33	39	37	37	37	467
	法定福利費	156	115	117	226	118	256	166	261	291	147	263	260
	給食業務委託費	220	228	220	220	220	220	220	220	220	220	220	220
	清掃業務委託費	13	13	11	10	13	13	13	13	13	13	13	151
	人件費計(ハ)	2,753	2,517	2,693	2,727	2,679	2,744	2,968	2,874	2,873	2,743	2,743	31,615
	対収入割合(ハ) ÷ (イ)	57.9%	52.4%	58.0%	56.2%	60.5%	61.5%	57.7%	59.4%	68.0%	64.8%	66.0%	30.2%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)													
損益													
損益累計(年度純利益)													
収支差額率													

2 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男	83.3	歳	女	86.0	歳	全体	85.2	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	3	3	5.7%
要支援2	1	3	4	7.6%
要介護1	4	21	25	47.2%
要介護2	8	5	13	24.5%
要介護3	1	3	4	7.6%
要介護4	1	2	3	5.7%
要介護5	0	1	1	1.9%
その他 区変中				
合計数	15	38	53	100%
介護度平均	1.93	1.45	1.69	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし								
	I	14	5	5	2	1			27
	IIa	4	1	5	3	2			15
	IIb		1	1	4	1			7
	IIIa		1	2					3
	IIIb					1			1
	IV								
	M								
	不明								
自立度 合計		18	8	13	9	4	1		53

5 日常生活に対する介助等の状況

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食 事	自立	20人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。 全部：全て介助を要する。
	見守り	28人	
	一部介助	4人	
	全部介助	1人	
着替え	自立	10人	一部：手を貸せば着替えができる。 全部：自分でできないので全て介助を要する。
	見守り	23人	
	一部介助	20人	
	全部介助	0人	
整 容	自立	10人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 一部介助すれば行うことができる。
	見守り	23人	
	一部介助	17人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 全て介助を要する。
	全部介助	3人	
移 動	自立	12人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に 介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	見守り	21人	
	一部介助	19人	全部：全て介助を要する。
	全部介助	1人	
移 乗	自立	12人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	見守り	21人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	19人	
	全部介助	1人	

6 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

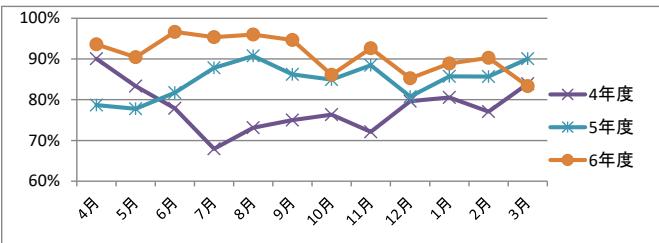
疾 患 群	男	女	計	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	3	13	16	19.5%
循環器 高血圧 動脈硬化 心不全・不整脈刺激(伝導系障害)	5	16	21	25.6%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害(前立腺・膀胱炎)	3	0	3	3.7%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	0	0	0	0%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	0	1	1	1.2%
血液 貧血 その他の血液疾患	0	1	1	1.2%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	2	7	9	11.0%
運動器 骨疾患 関節疾患	3	12	15	18.3%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	5	3	8	9.8%
精神系	0	8	8	9.8%
婦人系	0	0	0	0%
合計	21	61	82	100%
利用者1名あたり疾患有する数			1.2件	

7 医療的な処置をする利用者への対応

状 況	人 数	施設で行っている対応(注意点などを書くこと。)
経管栄養(胃ろう・鼻腔)	0	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間を基にベッド上ギャッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	
常時吸引	0	口腔・鼻腔(医師の指示箇所)下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150mmHg
バルーンカテーテル留置	2	
在宅酸素	0	
褥瘡	0	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	0	血糖チェック
人工肛門(ストーマ)	0	

8 利用状況実績（認知症対応型通所介護事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(定員12名)
4年度	281	260	243	212	237	234	229	225	258	232	222	272	2905
営業日数	26	26	26	26	27	26	25	26	27	24	24	27	310
利用率	90.06%	83.33%	77.88%	67.95%	73.15%	75.00%	76.33%	72.12%	79.63%	80.56%	77.08%	83.95%	78.09%
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	2.0	2.1	1.8	1.9	1.9	1.9	2.09
5年度	236	252	255	274	294	269	265	276	252	247	257	281	3158
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
利用率	78.67%	77.78%	81.73%	87.82%	90.74%	86.22%	84.94%	88.46%	80.77%	85.76%	85.67%	90.06%	84.88%
平均介護度	2.0	2.0	2.0	2.1	2.3	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.13
6年度	292	293	290	309	311	284	279	289	266	256	260	260	3389
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	24	26	310
利用率	93.59%	90.43%	96.67%	95.37%	95.99%	94.67%	86.11%	92.63%	85.26%	88.89%	90.28%	83.33%	91.10%
平均介護度	2.2	2.0	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.14



年度計	延人数	利用率
2年度	3,329	89.16%
3年度	3,009	80.60%
4年度	2,905	78.09%
5年度	3,158	84.88%
6年度	3,389	91.10%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)	3,682	4,098	4,028	4,183	3,983	4,001	4,214	3,982	3,632	3,576	3,666	3,618	46,663
支出額(ロ)	3,830	3,593	3,891	3,797	3,960	3,843	4,018	3,888	4,202	3,712	3,917	2,063	44,714
内訳	職員給与	1,197	826	1,028	978	955	995	1,055	965	960	953	942	11,800
	賞与引当金、繰入	378	426	423	582	577	601	440	512	215	476	466	-1,671
	非常勤職員給与	649	896	685	547	581	570	699	701	964	710	653	970
	派遣職員費	461	271	545	574	645	426	609	554	565	574	591	599
	退職給付費用	38	97	45	37	41	38	39	47	44	44	44	558
	法定福利費	160	144	154	270	142	267	199	272	349	177	274	311
	給食業務委託費	121	121	114	121	121	121	121	121	121	121	110	11
	清掃業務委託費	8	9	10	10	8	8	8	8	8	8	8	101
	人件費計(ハ)	3,012	2,790	3,004	3,119	3,070	3,026	3,170	3,180	3,226	3,063	3,088	1,218
	対収入割合(ハ)÷(イ)	81.8%	68.1%	74.6%	74.6%	77.1%	75.6%	75.2%	79.9%	88.8%	85.7%	84.2%	74.98%
対支出割合(ハ)÷(ロ)	79%	78%	77%	82%	78%	79%	79%	82%	77%	83%	79%	59%	77.48%
損益	-148	505	137	386	23	158	196	94	-570	-136	-251	1,555	1,949
損益累計(年度純利益)	-148	357	494	880	903	1,061	1,257	1,351	781	645	394	1,949	

9 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男	84.0	歳	女	86.0	歳	全体	85.0	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

10 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	0	0	0%
要介護1	2	7	9	32.1%
要介護2	1	8	9	32.1%
要介護3	2	3	5	17.9%
要介護4	0	4	4	14.3%
要介護5	0	1	1	3.6%
その他 区変中				
合計数	5	23	28	100%
介護度平均	2.00	2.13	2.06	

11 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし								
	I								
	IIa		4	7	1				11
	IIb		1	2					3
	IIIa		1	4	3	2	1		11
	IIIb						1		1
	IV						1		1
	M								
	不明								
自立度 合計			6	13	4	2	3		28

12 日常生活に対する介助等の状況

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食事	自立	0人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。 全部：全て介助を要する。
	見守り	26人	
	一部介助	1人	
	全部介助	1人	
着替え	自立	0人	一部：手を貸せば着替えができる。 全部：自分でできないので全て介助を要する。
	見守り	5人	
	一部介助	23人	
	全部介助	0人	
整容	自立	0人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 一部介助すれば行うことができる。
	見守り	3人	
	一部介助	24人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 全て介助を要する。
	全部介助	1人	
移動	自立	10人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。 全部：全て介助を要する。
	見守り	7人	
	一部介助	10人	
	全部介助	1人	
移乗	自立	10人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。 全部：全て介助を要する。
	見守り	7人	
	一部介助	10人	
	全部介助	1人	

13 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

疾 患 群	男	女	計	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	5	23	28	56.0%
循環器 高血圧 動脈硬化 心不全・不整脈刺激(伝導系障害)	2	7	9	18.0%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害(前立腺・膀胱炎)	2	0	2	4.0%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌				
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患				
血液 貧血 その他の血液疾患				
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	1	4	5	10.0%
運動器 骨疾患 関節疾患	1	3	4	8.0%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	1	1	2	4.0%
精神系				
婦人系				
合計			50	100%
利用者1名あたり疾患有する数			1-2件	

14 医療的な処置をする利用者への対応

状 況	人 数	施設で行っている対応(注意点などを書くこと。)
経管栄養(胃ろう・鼻腔)	0	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間に基づきベッド上ギャッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	
常時吸引	0	口腔・鼻腔(医師の指示箋の下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150mmHg)
バルーンカテーテル留置	0	
在宅酸素	0	
褥瘡	0	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	0	血糖チェック
人工肛門(ストーマ)	0	

15 介護サービスの提供状況

(1) 地域密着型通所介護事業

	月	火	水	木	金	土	日	サービス提供時間
サービス提供日	○	○	○	○	○	○	○	9時20分～16時30分
機能訓練実施日	○	○	○	○	○	○	○	午前9時40分～11時00分 午後13時00分～16時00分
入浴実施日	○	○	○	○	○	○	○	午前9時40分～12時00分 午後13時30分～16時00分
その他の休業日	年末年始	1月1日	から	1月3日	まで			

(2) 認知症対応型通所介護事業

	月	火	水	木	金	土	日	サービス提供時間
サービス提供日	○	○	○	○	○	○	○	9時20分～16時30分
機能訓練実施日								午前9時40分～11時00分 午後13時00分～16時00分
入浴実施日	○	○	○	○	○	○	○	午前9時40分～12時00分 午後13時30分～16時00分
その他の休業日	年末年始	1月1日	から	1月3日	まで			

16 運営推進会議

平成28年度より地域密着事業へ移行したことにより、地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護で2回運営推進会議を開催した。

一誠会で取り組んでいる地域行事への参加、交流から地域の方が事業に興味を持ち、理解を示していただくことにつながっている。委員からの意見も、デイサービスの取り組みに対してだけでなく地域での活動の情報もいただけけるようになり、会議の活性化にもつながったと評価する。

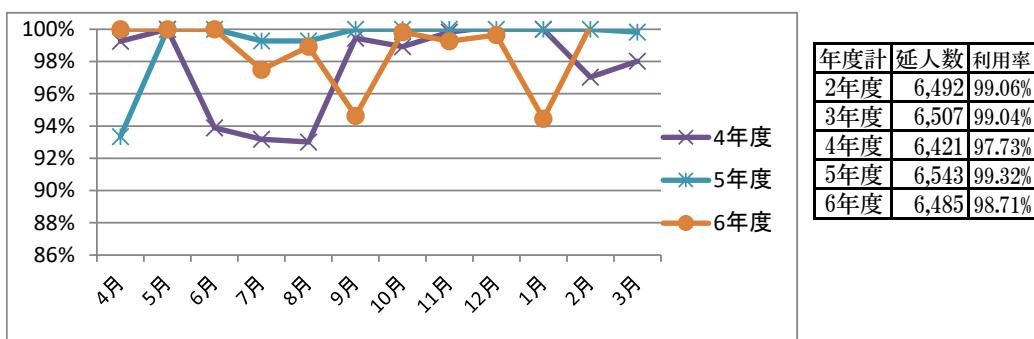
開催日と主な内容

	開催日	主な内容
①	令和6年5月17日(金)	事業概要、活動報告、意見交換
②	令和6年11月15日(金)	事業概要、活動報告、意見交換

VIII. グループホーム初音の杜

1 利用状況実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	M
4年度	536	558	507	507	468	507	534	538	533	558	489	547	6282	
	99.26%	100.00%	93.89%	90.86%	83.87%	93.89%	95.70%	99.63%	95.52%	100.00%	97.02%	98.03%	95.64%	
短期利用	0	0	0	13	51	30	18	1	26	0	0	0	139	
	0.00%	0.00%	0.00%	2.33%	9.14%	5.56%	3.23%	0.19%	4.66%	0.00%	0.00%	0.00%	2.09%	
合計	536	558	507	520	519	537	552	539	559	558	489	547	6421	
	99.26%	100.00%	93.89%	93.19%	93.01%	99.44%	98.92%	99.81%	100.18%	100.00%	97.02%	98.03%	97.73%	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
欠延べ人数	4	0	33	38	39	3	6	1	-1	0	15	11	149	
5年度	496	546	540	541	536	540	558	540	558	558	522	555	6490	
	91.85%	97.85%	100.00%	96.95%	96.06%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	99.46%	98.51%		
短期利用	8	12	0	13	18	0	0	0	0	0	0	2	53	
	1.48%	2.15%	0.00%	2.33%	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.36%	0.80%	
合計	504	558	540	554	554	540	558	540	558	558	522	557	6543	
	93.33%	100.00%	100.00%	99.28%	99.28%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	99.82%	99.31%		
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
欠延べ人数	36	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	1	45	8
6年度	525	558	540	544	552	475	534	536	527	504	476	554	6325	
	97.22%	100.00%	100.00%	97.49%	98.92%	87.96%	95.70%	99.26%	94.44%	90.32%	94.44%	99.28%	96.25%	
短期利用	15	0	0	0	0	36	23	0	29	23	29	5	160	
	2.78%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6.67%	4.12%	0.00%	5.20%	4.12%	5.75%	0.90%	2.46%	
合計	540	558	540	544	552	511	557	536	556	527	505	559	6485	
	100.00%	100.00%	100.00%	97.49%	98.92%	94.63%	99.82%	99.26%	99.64%	94.44%	100.20%	100.18%	98.72%	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
欠延べ人数	1	0	0	14	6	29	1	4	2	31	-1	-1	86	-33



区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)		8,449	8,692	8,766	8,698	8,687	8,193	9,624	8,207	9,862	8,517	8,310	10,291	106,296
支出額(ロ)		8,393	8,107	7,991	8,424	8,505	8,374	9,333	8,601	8,878	8,486	9,234	9,397	103,723
内訳	職員給与	2,921	2,657	2,666	2,672	2,807	2,794	3,321	2,873	2,905	3,187	3,281	3,068	35,152
	賞与引当金、繰入	748	792	788	798	1,095	817	849	922	-6	878	1,002	538	9,221
	非常勤職員給与	1,983	1,612	1,626	1,569	1,764	1,640	2,151	1,646	2,135	1,505	1,506	1,957	21,094
	派遣職員費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	121	234	123	121	120	120	117	112	112	112	112	112	1,516
	法定福利費	581	587	621	1,062	626	909	657	930	1,128	562	965	969	9,597
	給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計(ハ)	6,354	5,882	5,824	6,222	6,412	6,280	7,095	6,483	6,274	6,244	6,866	6,644	76,580
	対収入割合(ハ)÷(イ)	75.2%	67.7%	66.4%	71.5%	73.8%	76.7%	73.7%	79.0%	63.6%	73.3%	82.6%	64.6%	72.3%
対支出割合(ハ)÷(ロ)		76%	73%	73%	74%	75%	75%	76%	75%	71%	74%	74%	71%	73.8%
損益		56	585	775	274	182	-181	291	-394	984	31	-924	894	2,573
損益累計(年度純利益)		56	641	1,416	1,690	1,872	1,691	1,982	1,588	2,572	2,603	1,679	2,573	
収支差額率		1%	7%	9%	3%	2%	-2%	3%	-5%	10%	0%	-11%	9%	2%

2 入所者の平均年齢等（短期入所除く）

入所期間別入所（居）者数（令和7年3月31日現在）

入所期間	1か月以内	1月超～6月以内	6月超～1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超
男 性	0 人	0 人	1 人	2 人	0 人	0 人
女 性	0 人	0 人	1 人	7 人	5 人	2 人
合 計	0 人	0 人	2 人	9 人	5 人	2 人
平均入所期間	3 年	0 月				

入所（居）者の平均年齢

平均年齢	男	87.4	歳	女	89.9	歳	全体	89.5	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

認知症高齢者の数（医師が認知症と診断した者）

18 人

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	0	0	
要支援2	0	0	0	
要介護1	0	3	3	16.7%
要介護2	1	3	4	22.2%
要介護3	2	4	6	33.3%
要介護4	0	0	0	
要介護5	0	5	5	27.8%
その他 区変中	0	0	0	
合計数	3	15	18	100%
介護度平均	2.67	3.07	3.00	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし								
	I			1					1
	IIa								
	IIb			3	3				6
	IIIa				1				1
	IIIb			1	1		1		3
	IV				4	2		1	7
	M								
	不明								
自立度 合計			5	9		2	1	1	18

5 入所(居)者の在籍状況及び理由別入退所(居)

初日 在籍数	在宅	医療機関	社会福祉施設	介護老人保健施設	その他	計	退所(居)			
							在宅	長期入院	社会福祉施設	介護老人保健施設
4月 18	1					1		1		
5月 18						0				0
6月 18						0				0
7月 18						0				0
8月 18						0				0
9月 18						0				0
10月 18						0				0
11月 18						0				0
12月 18						0		1		1
1月 17	1						1			0
2月 18						0				0
3月 18						0				0
計	215	2	0	0	0	2	0	2	0	2

注1 医療機関は、療養型を含む。 注2 その他は、短期入所から引き続く入所(居)を含む。

6 退所者の状況

死亡者の退所(居)状況について

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所	福祉事務所(該当する場合)	遺留金品の処理状況
なし						

7 日常生活に対する介助等の状況（令和7年3月31日現在）

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食事	自立	7人	
	見守り	2人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。
	一部介助	3人	
	全部介助	6人	全部：全て介助を要する。
着替え	自立	3人	
	見守り	1人	一部：手を貸せば着替えができる。
	一部介助	5人	
	全部介助	9人	全部：自分でできないので全て介助を要する。
整容	自立	3人	
	見守り	0人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、一部介助すれば行うことができる。
	一部介助	5人	
	全部介助	10人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、全て介助を要する。
移動	自立	4人	
	見守り	3人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	一部介助	5人	
	全部介助	6人	全部：全て介助を要する。
移乗	自立	6人	
	見守り	1人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	一部介助	4人	
	全部介助	7人	全部：全て介助を要する。

8 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

疾患群	男	女	計†	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	3	15	18	100%
循環器 高血圧 動脈硬化 心不全・不整脈刺激伝導系障害	2	12	14	77%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害（前立腺・膀胱炎）	1	1	2	9%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	0	4	4	5%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	1	4	5	4%
血液 貧血 その他の血液疾患	0	1	1	2%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	1	7	8	44%
運動器 骨疾患 関節疾患	0	11	11	61%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	1	5	6	30%
精神系	0	0	0	0%
婦人系	0	2	2	9%
合計	9	62	67	
利用者1名あたり疾患有する数			3.7件	

9 入院状況 年度別推移

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
平成 26 年	延人数	1	0	1	0	2	0	2	4	2	3	3	3	20	1.66
	延日数	11	0	9	0	44	7	0	15	69	41	24	31	251	20.91
平成 27 年	延人数	3	1	2	1	0	1	2	2	1	1	1	1	16	1.33
	延日数	69	31	28	6	0	25	28	40	4	15	29	1	276	23
平成 28 年	延人数	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0	8	0.66
	延日数	0	8	11	20	0	0	2	5	20	8	0	0	74	6.16
平成 29 年	延人数	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	5	0.41
	延日数	0	0	25	31	1	0	0	2	0	0	0	16	75	6.25
平成 30 年	延人数	1	2	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	9	0.75
	延日数	17	29	28	0	0	1	15	0	9	15	0	0	114	9.5
令和元年	延人数	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	2	2	11	0.91
	延日数	23	0	6	10	0	0	18	5	5	12	35	47	161	13.41
令和 2 年	延人数	0	1	2	2	2	1	0	0	0	1	0	1	10	0.83
	延日数	0	17	19	30	9	17	0	0	0	11	0	18	121	10.1
令和 3 年	延人数	1	1	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	9	0.75
	延日数	3	7	19	16	12	0	0	10	8	0	0	0	75	6.25
令和 4 年	延人数	0	0	1	3	2	0	1	0	0	1	1	1	9	0.75
	延日数	0	0	4	43	31	0	16	0	0	16	1	1	111	9.25
令和 5 年	延人数	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	7	0.58
	延日数	47	13	0	7	15	0	0	0	0	0	4	86	7.17	
令和 6 年	延人数	1	1	0	1	3	1	1	1	2	2	1	1	15	0.8
	延日数	30	8	0	15	6	67	25	5	24	28	29	5	222	18.5

10 医療的な処置をする入所者への対応

状況	人數	施設で行っている対応（注意点などを書くこと。）
経管栄養（胃ろう・鼻腔）	0	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間を基にベッド上ギャッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	
吸引指示	4	口腔・鼻腔（医師の指示箋の下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150mmHg
バルーンカテーテル留置	0	
在宅酸素	0	医師の指示書のもと
褥瘡	3	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	0	血糖チェック
人工肛門（ストーマ）	0	

11 運営推進会議

年次で6回の開催を行い、活動や取り組みについて各委員に対して事業の報告など情報提供を行った。

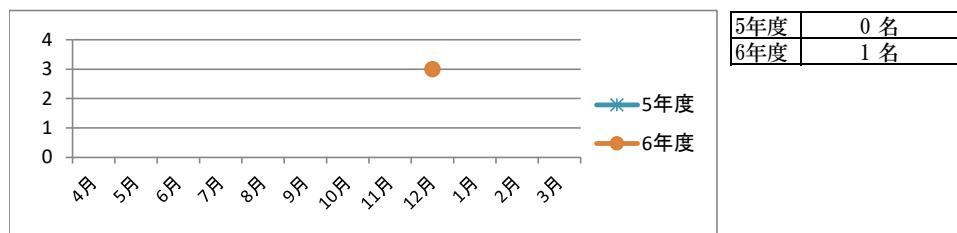
開催日と主な内容

	開催日	主な内容
①	令和6年5月17日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換
②	令和6年7月19日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換
③	令和6年9月20日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換
④	令和6年11月15日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換
⑤	令和7年1月17日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換
⑥	令和7年3月21日（金）	入居者の状況、活動報告、意見交換

IX. 偕楽園ホーム（八王子市通所型短期集中予防サービス）

1 利用状況実績

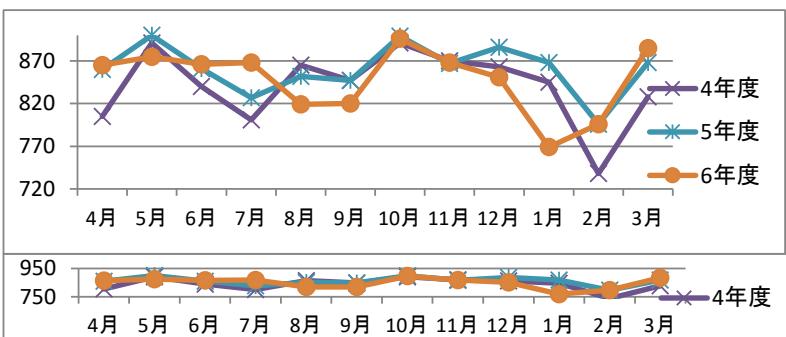
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1



X. 第二偕楽園ホーム

1 利用状況実績

	地域密着型特別養護老人ホーム 延べ人数 (定員29名) 平均介護度は当月末の利用者の平均 目標 98.5%												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	805	891	840	801	865	847	891	870	863	845	738	828	10,084
平均介護度	3.6	3.7	3.64	3.73	3.66	3.72	3.8	3.76	3.8	3.9	3.89	3.8	3.8
5年度	860	900	861	827	852	847	899	867	886	868	796	868	10,331
平均介護度	3.8	3.76	3.77	3.8	3.8	3.8	3.72	3.72	3.72	3.76	3.76	3.75	3.76
6年度	865	875	866	868	819	820	896	868	851	769	796	885	10,178
平均介護度	3.89	3.85	3.82	3.79	3.7	3.75	3.82	3.79	3.75	3.72	3.86	3.83	3.80

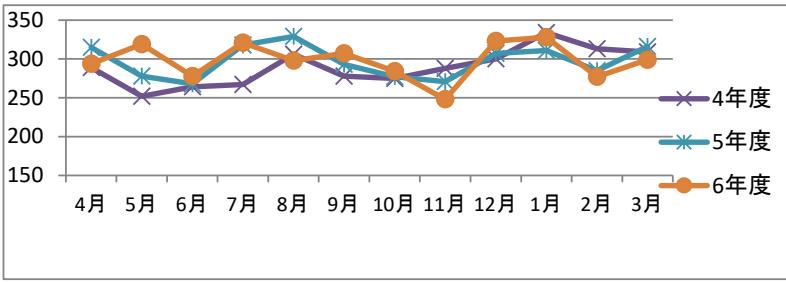


年度計	延人数	利用率
30年度	5,472	94.34%
元年度	10,264	96.70%
2年度	10,389	98.15%
3年度	10,413	98.38%
4年度	10,084	95.27%
5年度	10,331	97.33%
6年度	10,178	96.15%

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)		13,903	12,601	14,732	12,682	13,084	12,964	17,342	13,553	14,333	12,442	12,757	13,848	164,241
支出額(ロ)		13,874	13,070	13,166	13,447	13,750	12,973	14,564	14,189	14,807	12,523	11,707	14,650	162,720
内訳	職員給与	4,050	3,732	3,691	3,725	3,981	3,957	4,471	4,077	3,750	4,028	3,686	3,738	46,886
	賞与引当金、繰入	954	1,054	1,036	1,016	1,595	446	1,267	1,354	1,149	376	-816	877	10,308
	非常勤職員給与	1,134	842	676	833	804	912	1,113	1,030	1,184	971	786	1,156	11,441
	派遣職員費	140	363	363	0	0	163	211	187	167	0	0	0	1,594
	退職給付費用	209	187	135	131	130	137	131	141	123	123	116	123	1,686
	法定福利費	676	680	677	1,264	671	1,086	858	1,149	1,457	725	1,153	1,045	11,441
	給食業務委託費	920	920	922	920	920	920	920	920	920	920	920	920	11,042
	清掃業務委託費	117	118	119	117	117	117	117	117	117	117	117	117	1,407
	人件費計(ハ)	8,083	7,896	7,619	8,006	8,218	7,738	9,088	8,975	8,867	7,260	5,962	7,976	95,688
	対収入割合(ハ) ÷ (イ)	58.1%	62.7%	51.7%	63.1%	62.8%	59.7%	52.4%	66.2%	61.9%	58.4%	46.7%	57.6%	58.3%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)		58.3%	60.4%	57.9%	59.5%	59.8%	59.6%	62.4%	63.3%	59.9%	58.0%	50.9%	54.4%	58.8%
損益		29	-469	1,566	-765	-666	-9	2,778	-636	-474	-81	1,050	-802	1,521
損益累計(年度純利益)		29	-440	1,126	361	-305	-314	2,464	1,828	1,354	1,273	2,323	1,521	
収支差額率		0%	-4%	11%	-6%	-5%	0%	16%	-5%	-3%	-1%	8%	-6%	1%

短期入所生活介護(併設型) 延べ人数 (定員9名) 平均介護度は当月の利用者の平均 目標 110%以上

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	289	252	264	267	306	278	275	288	300	334	313	309	3,475
平均介護度	2.80	2.55	2.62	2.66	2.76	2.96	2.71	2.63	2.78	3.06	3.16	2.78	
5年度	315	278	268	318	329	293	277	271	307	311	285	316	3,568
平均介護度	2.91	3.07	3.04	2.82	2.50	3.10	2.96	2.88	2.78	2.64	2.62	2.83	
6年度	294	319	278	321	298	307	284	248	323	328	277	299	3,576
平均介護度	2.89	2.67	3.00	2.70	2.64	2.75	2.66	2.58	2.65	2.97	2.94	2.71	2.76



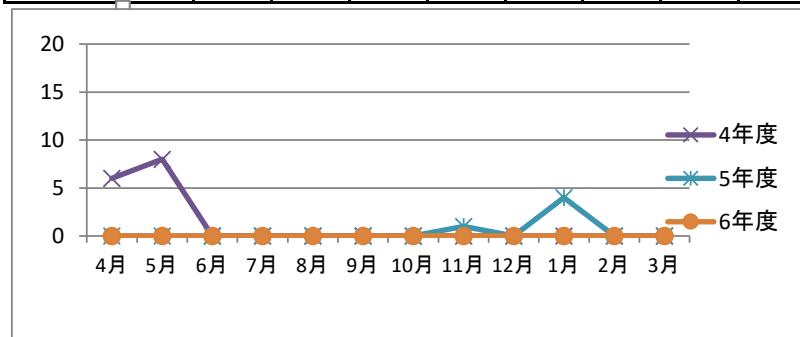
年度計	延人数	利用率
30年度	1,507	83.72%
元年度	3,282	99.64%
2年度	3,291	100.18%
3年度	3,351	102.01%
4年度	3,475	105.78%
5年度	3,568	108.32%
6年度	3,576	108.86%

予防短期入所生活介護

延べ人数

(定員9名)

4年度	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
5年度	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	5
平均介護度	0	0	0	0	0	0	0.375	0.375	0.375	0	0	0.09
6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均介護度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.375	0.375	0.03



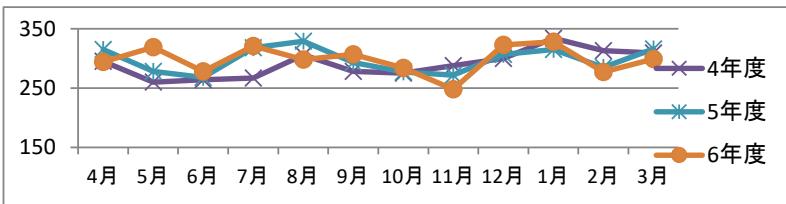
短期入所生活介護

延べ人数

(定員9名)

単位千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	295	260	264	267	306	278	275	288	300	334	313	309	3,489
平均介護度	3.3	2.8	2.9	2.9	3	2.47	3	2.73	2.8	2.6	3	0	2.63
5年度	315	278	268	318	329	293	277	272	307	315	285	316	3,573
平均介護度	2.91	3.07	3.04	2.82	2.5	3.1	2.96	2.88	2.78	2.64	2.64	2.62	2.83
6年度	294	319	278	321	298	307	284	248	323	328	277	299	3,576
平均介護度	2.89	2.67	3	2.7	2.64	2.75	2.66	2.58	2.65	2.97	2.94	2.71	2.76



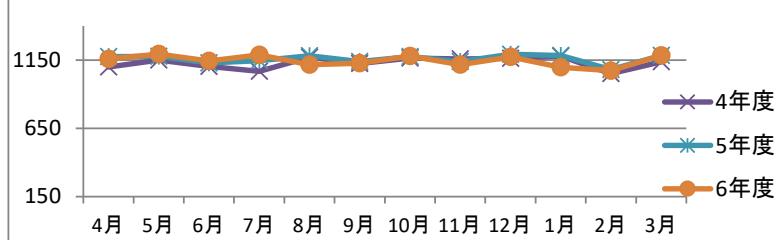
特養・短期・予防短期

延べ人数

(定員38名)

目標 %

4年度	1,100	1,151	1,104	1,068	1,171	1,125	1,166	1,158	1,163	1,179	1,051	1,137	13,573
5年度	1,175	1,178	1,129	1,145	1,181	1,140	1,176	1,139	1,193	1,183	1,081	1,184	13,904
6年度	1,159	1,194	1,144	1,189	1,117	1,127	1,180	1,116	1,174	1,097	1,073	1,184	13,754



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)	4,770	4,240	3,908	3,922	4,789	5,113	4,484	3,507	5,099	4,916	4,397	4,625	53,770
支出額(ロ)	4,118	4,130	3,994	4,255	4,447	4,002	4,644	4,830	4,769	3,899	3,481	4,288	50,857
内訳													
職員給与	1,772	1,641	1,619	1,635	1,743	1,733	1,952	1,783	1,642	1,763	1,616	1,638	20,537
賞与引当金、繰入	408	454	444	435	683	191	543	580	492	161	-349	376	4,418
非常勤職員給与	408	313	250	319	318	339	451	403	456	351	311	444	4,363
派遣職員費用	62	155	155	0	0	70	90	80	71	0	0	0	683
退職給付費用	92	79	56	56	55	59	56	60	53	53	50	53	722
法定福利費	292	291	289	543	289	469	367	498	624	310	499	447	4,918
給食業務委託費	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	3,024
清掃業務委託費	40	44	44	41	40	40	40	40	40	40	40	40	489
人件費計(ハ)	3,326	3,229	3,109	3,281	3,380	3,153	3,751	3,696	3,630	2,930	2,419	3,250	39,154
対収入割合(ハ) ÷ (イ)	69.7%	76.2%	79.6%	83.7%	70.6%	61.7%	83.7%	105.4%	71.2%	59.6%	55.0%	70.3%	73.87%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)	80.8%	78.2%	77.8%	77.1%	76.0%	78.8%	80.8%	76.5%	76.1%	75.1%	69.5%	75.8%	76.88%
損益	652	110	-86	-333	342	1,111	-160	-1,323	330	1,017	916	337	2,913
損益累計(年度純利益)	652	762	676	343	685	1,796	1,636	313	643	1,660	2,576	2,913	
收支差額率	14%	3%	-2%	-8%	7%	22%	-4%	-38%	6%	21%	21%	7%	5%

2 施設入所者の平均年齢等(短期入所除く)

入所期間別入所（居）者数（令和7年3月31日現在）

入所期間	1か月以内	1月超～6月以内	6月超～1年以内	1年超～3年以内	3年超～5年以内	5年超
男 性	1 人	1 人	1 人	3 人	0 人	1 人
女 性	1 人	4 人	4 人	8 人	2 人	3 人
合 計	2 人	5 人	5 人	11 人	2 人	4 人
平均入所期間	2 年	0 月				

入所（居）者の平均年齢

平均年齢	男	82.8	歳	女	90.1	歳	全体	88.1	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

認知症高齢者の数（医師が認知症と診断した者）

29	人
----	---

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0
要介護3	3	7	10	34.5%
要介護4	2	12	14	48.3%
要介護5	2	3	5	17.2%
合計数	7	22	29	100%
介護度平均	3.86	3.82	3.83	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし								
	I			1			1		2
	II								
	IIa				3		2		8
	IIb	1					2		3
	III								0
	IIIa					5	1	1	7
	IIIb								
	IV				4	1	1	2	9
	M								
	不明								
自立度 合計		1	1	7	6	7	3	4	29

5 入所(居)者の在籍状況及び理由別入退所(居)

初日 在籍数	在 宅	医療機関	社会福祉施設	介護老人 保健施設	その他	計	退			所 (居)		
							在 宅	長期入院	社会福祉施設	介護老人 保健施設	死 亡	その 他
令和6年4月 29						0					0	
5月 29						0		1			1	
6月 29		2				2					1	
7月 29						0					0	
8月 29	2					2					4	
9月 27	1	1				2					0	
10月 29	1					1					1	
11月 29	1					1					1	
12月 29	1	1				2		1			3	
令和7年1月 27	1					2					4	
2月 29	1	1				2					0	
3月 29						0					2	
計 344	10	3	0	1	0	14	0	2		1	11	0
											14	

注1 医療機関は、療養型を含む。注2 その他は、短期入所から引き続く入所(居)を含む。

6 退所者の状況

(1)死亡者の退所(居)状況について

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所	(該当する場合) 福祉事務所	遺留金品の処理状況		遺言状の 有無
						引渡し年月日	受領者 の続柄	
1	83歳	令和6年6月10日	肺炎・急性心不全	病院		令和6年7月28日	妻	無
2	93歳	令和6年8月9日	老衰	病院		令和6年8月11日	次男	無
3	84歳	令和6年8月10日	急性呼吸不全	施設内		令和6年8月10日	弟	無
4	82歳	令和6年8月17日	急性呼吸不全	施設内		令和6年8月17日	長男	無
5	93歳	令和6年10月25日	老衰	施設内		令和6年10月25日	長男	無
6	93歳	令和6年11月4日	老衰	病院		令和6年11月6日	長女	無
7	95歳	令和6年12月9日	急性呼吸不全	施設内		令和6年12月9日	長男	無
8	93歳	令和6年12月27日	急性呼吸不全	施設内		令和6年12月28日	次男	無
9	92歳	令和6年12月30日	老衰	病院		令和7年1月2日	長男	無
10	90歳	令和7年2月15日	急性呼吸不全	施設内		令和7年2月15日	長女	無
11	91歳	令和7年2月23日	老衰	施設内		令和7年2月23日	次男	無

(2)死亡による退所(居)者のうち、遺留金品の引渡しが完了していないケース

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所 (該当する場合)	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					引渡し年月日	受領者の続柄	

(3)死亡以外の退所(居)者の状況

番号	退所時の年齢	退所年月日	退所理由	退所場所 (該当する場合)	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					引渡し年月日	受領者の続柄	
1	77歳	令和6年5月31日	長期入院		令和6年5月31日	次女	無
2	97歳	令和6年8月26日	他施設入所		令和6年8月26日	長女	無
3	84歳	令和6年12月22日	長期入院		令和6年12月22日	長男	無

7 日常生活に対する介助等の状況(令和7年3月31日現在)

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食事	自立	20	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。 全部：全て介助をする。
	見守り	1	
	一部介助	5	
	全部介助	3	
着替え	自立	2	一部：手を貸せば着替えができる。 全部：自分でできないので全て介助を要する。
	見守り	0	
	一部介助	18	
	全部介助	9	
整容	自立	5	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 一部介助すれば行うことができる。
	見守り	2	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 全て介助をする。
	一部介助	10	
	全部介助	5	
移動	自立	1	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	見守り	0	全部：全て介助を要する。
	一部介助	12	
	全部介助	16	
移乗	自立	5	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	見守り	0	全部：全て介助をする。
	一部介助	13	
	全部介助	11	

8 入浴の実施状況 (令和7年3月31日現在)

ア 入浴時の健康状態のチェックの有無
イ 入浴介助の状況 (人数は概数で可)

1人1週あたりの回数	一般浴	介助浴 (リフト浴)	機械浴 (ミスト)
入浴対象者数	2	2	2
1人1回あたりの入浴時間	0	19	10
入浴時の実施曜日	25	分	分
1回あたりの入浴人員	月火水木金土曜日	月火水木金土曜日	月火水木金曜日
1人あたりの介助人員	1	人	人
入浴できない者への対応 (該当欄に“○”を記入すること)	○	○	○
		当日に清拭を行っている。	代替日を設定し、入浴を行っている。
		次回の入浴日まで入浴等は行わない。	

(注) 入浴時間には更衣のための時間を含まない、実際の入浴時間を記入すること。

9 排せつ介助の状況(令和7年3月31日現在)

おむつ使用者数	常時 16人	夜間のみ 7人	布パンツ+パット 0名
1人1日あたりの定時交換回数	4~5回	Pトイレ	2名
トイレ誘導者数	10人		
1人1日あたりの誘導回数	5回		
自立者数	3人		
排泄の自立に関する施設としての取組（自然排せつへの取組、自立への援助等） 排せつ支援計画書を作成し、個々の目標を設定し、取り組みモニタリングしている。			

10 理美容の機会 リネンの機会等

理美容の機会 理髪 月1回 美容（カラー・ペーマ有）月1回 計 24回
 実施人数 延べ200人

品名	週	交換状況	リースの有無
シーツ	週	1回	有
布団	年	2回	有
カーテン	年	都度	無
布団乾燥	年	1回	

11 行事開催状況

行事名	参加人数	行事内容	実績
全体レク	38名	敬老会	実費
全体レク	38名	節分豆まき	実費
全体レク	25名	芋煮会（令和7年3月）	実費
ユニットレク(翔雲・鹿鳴)	8名	プランター栽培・いちご試食会	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴)	8名	プランター栽培・ミニトマト試食会	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴)	7名	プランター栽培・キャベツ、ブロッコリー試食会	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴)	5名	お散歩レク	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴・福壽・豊楽)	38名	クリスマス・ケーキパーティー	15,000円
ユニットレク(翔雲・豊楽・福壽)	13名	初詣外出（勝手神社参拝）	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴)	2名	畑の手入れ散歩	0円
ユニットレク(翔雲・鹿鳴・福壽・豊楽)	5名	花見ドライブ	0円

12 クラブ開催状況

クラブ名	参加総人数	ボランティア	開催状況	利用者負担
華道	111名	有	月1回 年間 12回	有
茶道	110名	無	月1回 年間 11回	有
書道	35名	無	月1回 年間 6回	無

13 福祉用具等の保有状況(令和7年3月31日現在)

	施設保有台数	使用者数	個人持込	合計
車いす	40台	26台	1台	40台
歩行器	4台	1台	0台	4台
エアマット	6台	5台	0台	6台
ポータブルトイレ	4台	2台	0台	4台

14 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在) (人)

疾患群	男	女	計	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	6	21	27	24.0%
循環器 高血圧 動脈硬化心不全・不整脈刺激伝導系障害	5	14	19	16.7%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害（前立腺・膀胱炎）	3	7	10	11.4%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	0	5	5	4.4%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	4	13	17	14.9%
血液 貧血 その他の血液疾患	0	2	2	1.8%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	1	7	8	7.0%
運動器 骨疾患 関節疾患	2	13	15	13.2%

眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	2	5	7	6.1%
精神系	1	3	4	3.5%
婦人系	0	0	0	0.0%
合計	24	90	114	100%
利用者1名あたり疾患を有する数				4.1

15 入院状況 年度別推移

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
令和元年度	延人数	1	1	1	2	2	3	2	2	3	3	2	2	24	2
	延日数	15	15	3	20	28	13	36	47	30	46	40	46	329	27.4
令和2年度	延人数	1	2	1	2	1	2	2	2	1	0	1	2	17	8.5
	延日数	21	7	20	20	31	8	31	37	5	0	7	14	201	16.7
令和3年度	延人数	0	1	2	1	2	0	3	0	1	1	2	2	15	1.2
	延日数	0	9	21	20	41	0	38	0	11	9	26	26	201	16.7
令和4年度	延人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.75
	延日数	53	12	30	29	12	24	10	1	28	14	61	65	409	34.1
令和5年度	延人数	3	0	3	5	3	1	0	1	1	2	2	1	22	1.8
	延日数	14	0	14	73	45	18	0	5	15	32	33	10	259	21.5
令和6年度	延人数	0	3	2	2	0	1	0	0	4	2	0	1	15	1.25
	延日数	0	29	6	65	0	30	0	0	98	56	0	14	298	19.86

16 医療的な処置をする入所者への対応

状況	人數	施設で行っている対応（注意点などを書くこと。）
経管栄養（胃ろう・鼻腔）	2	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間に基づきベッド上ギヤッジアップ30度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	実施時は自己抜去の防止
常時吸引	1	口腔・鼻腔（医師の指示箋の下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150 mm Hg
バルーンカテーテル留置	2	定期往診、1回/月にて交換
在宅酸素	0	実施時は流量の管理。カニューレがきちんと装着されているか観察する
褥瘡	9	清潔保持、除圧と摩擦の防止の実施
インスリン投与	1	血糖チェック 介助にて投与を行っている
人工肛門（ストーマ）	0	実施時は皮膚の状態を観察し、異常時には医療機器へ速やかにつなぐ

17 感染症の状況

感染症名	人数	発症場所・まん延状況等
インフルエンザ	3	施設内と外部受診時の感染、蔓延なし
ノロウイルス	1	施設内で発症、蔓延なし
疥癬	0	施設内での発症なし
結核	0	施設内での発症なし
MRSA	1	1名鼻腔保菌
肝炎	1	透析者、施設内感染なし
COVID-19	0	施設内での発症なし
その他	0	

18 入退院の状況

入院期間	1~30日	31日~60日	61日~90日	91日以上	計
入院者実数() 内は3月31日現在 入院中の者の再掲	13人(0人)	2人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	15人

19 入所（居）者等の診療状況

区 分	嘱託医による 診療実績	医療機関での診療実績 (協力医療機関及び協力医療機関以外の双方)					
		通院実数		往診実数		入院実数	
		延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内 科	696	43	32	5	0	0	9
循 環 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0
糖 尿 内 科	0	0	0	0	0	0	0
消 化 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0
外 科	0	0	22	3	0	0	1
脳 外 科	0	0	4	3	0	0	1
整 形 外 科	0	0	12	7	0	0	1
腎 臨 外 科	0	0	0	0	0	0	0
形 成 外 科	0	0	2	1	0	0	0
心 臓 血 管 外 科	0	0	0	0	0	1	1
眼 科	0	0	0	0	0	2	1
皮 膚 科	0	0	6	2	0	0	0
耳 鼻 科	0	0	2	1	0	0	0
泌 尿 器 科	0	0	0	0	27	2	0
精 神 科	0	0	0	0	22	1	0
神 经 内 科	0	0	0	0	0	0	0
歯 科・口 腹 外 科	0	1	1	301	1032	0	0
救 急 外 来	0	5	4	0	0	0	0
合計	696	43	86	27	350	1035	15
							14

20 嘴詫医師の状況

番号	診療科目等	常勤・非常勤の別	配置契約書の有無
1	内科	非常勤	有
2	精神科	非常勤	有
3			

21 協力医療機関

(協力歯科医療機関を定めている場合診療科目に歯科と記入すること。)

医療機関名	主な診療科目	契約書等の有無	所要時間(車で)
新谷医院	内科	有	60分
高輪会・八王子歯科	歯科	有	40分
高月病院	精神科	有	5分
右田病院	内科 外科	有	20分

22 家族との連携

(1) 面会状況等

家族等の面会があつた人所(居)者 有り 40人 なし 0人 外泊したことがある人所(居)者 有り 2人

(2) 家族との交流等

ア 家族会開催 無	イ 家族懇談会 無	ウ 行事招待の有無 有
-----------	-----------	-------------

23 預り金の収支状況の報告

ア報告の際の施設長の決裁の有無	なし	イ 入所(居)者への報告の有無	(ア) 本人への報告 なし	(イ) 家族等への報告 なし
-----------------	----	-----------------	---------------	----------------

(1) 施設で保管している遺言状の件数 0件

(2) 預り金・遺留金等から寄附があつた場合の件数 0件

利用者預り金状況（令和7年3月31日）なし

預り人員	預り金総額	一人当たりの預金	個人別 最高額	個人別 最低額
0名	0円	0円	0円	0円

24 行事食一覧表

月日	行事	メニュー
4月 9日	イースター	オムライス デミソースがけ コーンスープ トマトサラダ
4月10日	駅弁の日	(宇都宮 餃子弁当) ご飯 餃子 中華スープ 筍の煮物 華風和え ザーサイ
4月13日	お花見会食	ちらし寿司 清汁(素麺・三つ葉) 精進揚げ 鶏の照り焼き 炊き合わせ 菜の花の胡麻和え 白花豆 オレンジ
4月23日	選択食	カツミックスフライと海鮮ミックスフライの選択食
5月 1日	八十八夜	(おやつ) お茶饅頭
5月 5日	端午の節句	太巻き・いなり 清汁(素麺・三つ葉) 炊き合わせ ほうれん草のお浸し
5月20日	選択食	赤魚の粕漬焼きと牛肉じゃがの選択食
5月30日	おやつバイキング	抹茶パウンドケーキ 二色ゼリー いちごババロア 羊羹 フルーツパフェ ロールケーキ やわらかサブレ
6月 7日	駅弁の日	(東京都 チキン弁当) チキンライス 赤だし汁(庄内麩・豆苗) 鶏のから揚げ ポテトサラダ ピクルス
6月18日	おにぎりの日	おにぎり 味噌汁(もやし・ゆず) はんぺんとひき肉炒め 里芋の煮物 金時豆
6月21日	選択食	エビフライと牛肉のおろし煮の選択食
7月 7日	七夕	七夕そうめん 薫味 コロッケ バナナ
7月23日	選択食	鮭のラビゴットと牛肉じゃがの選択食
7月24日	土用の丑	うな重 清汁(卵豆腐) 即席漬け
7月25日	おやつバイキング	バームクーヘン オムレット フレンチトースト 星型ゼリー プリン
8月 4日	涼風御膳	冷や汁うどん ゴーヤカレーチャンプル 竹輪の香り揚げ レモンゼリー
8月15日	終戦記念日	おにぎり すいとん汁 野菜サラダ スイカ
8月16日	駅弁の日	(岩手県 豚肉南部焼き弁当) ご飯 のっぺい汁 豚肉南部焼き コロッケ ポテトサラダ 煮物 玉子焼き 青菜のお浸し
8月24日	納涼祭	焼きそば フランクフルト やきとり ビール 枝豆 かき氷 わたがし えびせん
9月 9日	重陽の節句	栗ご飯 赤だし汁 肉じゃが 菊入り和風サラダ フルーツカクテル
9月11日	おやつバイキング	クッキー ケーキ ゼリー ババロア パウンドケーキ 緜あめ
9月13日	開設記念日	釜めし 清汁(かいわれ・麩) マグロ刺身 ぶどう
9月16日	敬老会祝膳	握り寿司(マグロ・鯛・サーモン・太巻き) 清汁(松茸麩・三つ葉) 野菜の天ぷら 炊き合わせ 茶碗蒸し フルーツ(梨・ぶどう)
9月18日	選択食	ホタテ風味フライと南蛮チキンカツの選択食
9月22日	お彼岸	(おやつ) おはぎ
9月25日	郷土料理の日	(北海道) 豚丼 三平汁 じゃがバター メロンゼリー
10月 5日	秋御膳	栗ご飯 清汁(豆腐・三つ葉) 鮭の塩焼き 茄の天ぷら 柿
10月18日	駅弁の日	(秋田県 黒豚豚カツ弁当) ご飯 味噌汁(しめじ・蒲鉾) ひじきの煮物 ポテトサラダ 玉子焼き オレンジ
10月26日	八王子弁当	さつま芋ご飯 すまし汁 桑都揚げ なすの田楽 ふんわり豆腐の銀あん しめじと小松菜のマリネ 焼き銀杏 柿
10月30日	選択食	ハンバーグきのこソースとアジフライの選択食
10月31日	おやつバイキング	紫芋のパウンドケーキ スイートポテト ブチケーキ ぶどうゼリー おばけマシュマロクッキー フルーツシュークリーム ココアワッフル どら焼き
11月 6日	秋の味覚ランチ	おろし人参ときのこのピラフ さつま芋と南瓜のシチュー 彩りサラダ ぶどうゼリー
11月18日	選択食	豚肉のスタミナ焼きとえびかつの中の選択食

11月28日	おやつバイキング	ブッシュドノエル コーヒープリン バームクーヘン 紅白饅頭 クリスマスクッキー いちごババロア 一口ケーキ
12月10日	選択食	カニチャーハンと焼き鳥丼の選択食
12月12日	駅弁の日	(福岡県 牛めんたい弁当) ご飯 味噌汁(人参・春菊) 唐揚げ カリフラワーのサラダ 高菜漬け
12月21日	冬至	小豆粥 味噌汁(蓮根・葉) カレイの柚子風味焼き 南瓜の煮物 春菊の白和え
12月21日	クリスマス祝食	チキンライス クラムチャウダー ミートローフ エビフライ ほうれん草とチーズのキッ シュー ミニトマト サーモンポテトのサラダ巻き フルーツポンチ
12月31日	年越しそば	年越しそば 海老と玉ねぎのかき揚げ 鮭の塩焼き かぶの柚子和え
1月 1日	元旦祝い膳	赤飯 初春汁(手鞠麩・三つ葉) 祝い肴 煮しめ 紅白なます 黒豆
1月 7日	七草粥	(朝食) 七草粥 味噌汁(玉ねぎ・なると) 厚揚げの生姜煮 大根とツナのソテー
1月11日	鏡開き	(おやつ) おしるこ
1月15日	小正月	小豆粥 赤だし汁(人参・ごぼう) 豚すき焼き 冬瓜の銀あん 野沢菜漬け(おやつ) お餅ムース
1月18日	選択食	そぼろ丼と玉チリ丼の選択食
1月20日	大寒	ご飯 味噌汁(いた麩・さや) ブリの照り焼き 冬瓜と車麩の煮物 金時豆
2月 2日	節分	太巻き けんちん汁 いわしの佃煮 菜の花のお浸し
2月14日	駅弁の日	(福岡県 かしわ弁当) ご飯 かきたま汁 鶏ひき肉甘辛煮 炒り卵 ひじきの煮物 即席漬け 桜漬け
2月14日	バレンタインデー	(おやつ) 生チョコケーキ
2月15日	冬の味覚御膳	生姜ご飯 豆乳鍋 さつま芋の柚子煮 ブロッコリーの塩麹 ナムル
2月19日	選択食	スタミナ焼きとエビのかき揚げ丼の選択食
2月26日	おやつバイキング	チョコケ-キ クッキー ゼリー ババロア お饅頭
3月 3日	ひな祭り	桜ちらし 清汁(とろろ昆布・菜の花) 春野菜の炊き合わせ 莓(おやつ) いちごババロア
3月 7日	芋煮会	芋煮 おにぎり 唐揚げ 煮物 漬物
3月18日	お米の日	おにぎり 赤だし汁(筍・ネギ) さばの塩焼き 高野豆腐の煮物 たくあん漬け
3月21日	お彼岸	赤飯 清汁(卵豆腐) 精進揚げ 大豆と昆布の煮物 たくあん漬け(おやつ) ほたもち
3月23日	郷土料理	赤飯 清汁(あさり・柚子) マグロの刺身 天ぷら盛り合わせ 春菊の胡麻和え 莓

25 檻瘡予防対策

(1) 檻瘡のハイリスク者の把握方法	栄養ケアマネジメントの高リスク者 看護師からの皮膚状態の意見等	褥瘡の既往がある者 褥瘡マネジメント等
(2) 檻瘡のハイリスク者に対する褥瘡予防計画	有り	
(3) 褥瘡対策委員会の設置	有り 12 回/年	工 エ ニューフィックス「指針」の整備 有り
(4) 褥瘡対策研修	1 回/年 開催	カ 褥瘡を有する入所（居）者の状況等（令和 7 年 3 月 31 日現在）2 名

26 身体的拘束等廃止への取り組み

- (1) 身体的拘束を実施した入所（居）者数 0 人
- (2) 身体的拘束を廃止するための委員会の設置 有 委員会開催回数 12 回

27 運営推進会議

報告の様式を法人として統一した方がわかりやすいとの意見があり様式を整えた。様々なご意見を、地域住民、ならびに有識者などで構成される本会議にてもらい、利用者へのサービスの質の向上に向け、都度事業所職員にも周知し改善を図っている。貴重な情報をもらうことも多々あり、地域包括ケアシステムをより強固なものにしていくための一つの仕組みとして活用していくことを考えている。

開催日と主な内容

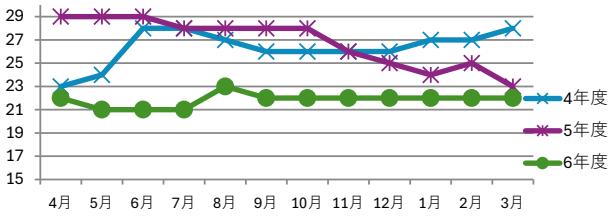
	開催日	主な内容
①	5 月 17 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況
②	7 月 19 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況
③	9 月 20 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況
④	11 月 15 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況
⑤	1 月 17 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況
⑥	3 月 21 日（金）	利用者の状況 活動報告 事故・苦情・発生状況

X I . 第二階層ネット看護小規模多機能型居宅介護事業所

1 利用状況実績

看護小規模多機能型居宅介護事業

4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	登録者数	23	24	28	28	27	26	26	26	26	27	27	28
宿泊者数	222	238	233	265	263	225	238	227	210	261	202	228	2,812
月間利用率	79.31%	82.76%	96.55%	96.55%	93.10%	89.66%	89.66%	89.66%	89.66%	93.10%	93.10%	96.55%	90.80%
平均介護度	2.9	2.8	2.8	2.76	2.76	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.76
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	29	29	29	28	28	28	28	26	25	24	25	23	322
宿泊者数	229	245	232	261	248	237	248	242	245	241	231	254	2,913
月間利用率	100.00%	100.00%	100.00%	96.55%	96.55%	96.55%	96.55%	89.66%	86.21%	82.76%	86.21%	79.31%	92.53%
平均介護度	2.88	2.96	3	3.08	3.08	3.08	3.08	3.03	3.04	3.04	3.04	3.04	3.03
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	22	21	21	21	23	22	22	22	22	22	22	22	262
宿泊者数	231	226	191	216	241	251	250	245	257	246	230	260	2,844
月間利用率	75.86%	72.41%	72.41%	72.41%	79.31%	75.86%	75.86%	75.86%	75.86%	75.86%	75.86%	75.86%	98.03%
平均介護度	3.18	3.18	3.18	3.18	3.087	3.04	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13	3.28	3.15



年	登録者数	利用率
30年度	121	59.61%
元年度	300	86.21%
2年度	279	80.17%
3年度	300	86.21%
4年度	316	90.80%
5年度	322	92.53%
6年度	262	75.29%

看護小規模多機能型短期入所事業

4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	登録者数	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
宿泊者数	3	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
月間利用率	3.45%	0.00%	3.45%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.45%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.86%
平均介護度	3	0	0	0	0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.58
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間利用率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.33%
平均介護度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	2	9
宿泊者数	1	0	0	3	2	0	0	2	4	2	3	4	21
月間利用率	3.45%	0.00%	0.00%	3.45%	3.45%	0.00%	0.00%	3.45%	3.45%	3.45%	3.45%	6.90%	2.59%
平均介護度	2	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	3	1.08



単位千円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位
収入額(イ)	9,518	8,146	7,972	8,142	8,425	8,698	10,253	9,335	9,745	8,120	9,002	10,059	107,415
支出額(ロ)	8,254	7,571	7,777	8,454	8,154	9,625	9,206	9,395	9,449	8,833	9,133	7,794	103,645
職員給与	3,320	2,764	2,730	2,825	2,732	2,769	3,421	2,860	2,793	2,940	2,942	2,883	34,979
賞与引当金、繰入	961	924	1,015	1,042	1,158	1,759	1,060	1,202	404	1,082	1,123	-1,288	10,442
非常勤職員給与	929	1,131	1,498	1,531	1,822	1,896	2,156	2,090	2,669	2,201	2,072	2,591	22,586
派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	125	176	131	133	132	172	142	146	149	149	150	152	1,757
法定福利費	553	614	580	1,040	579	941	677	1,045	1,217	574	1,013	948	9,781
給食業務委託費	346	348	346	346	346	346	346	346	346	346	346	346	4,154
清掃業務委託費	81	85	85	82	81	81	81	81	81	81	81	81	981
人件費計(ハ)	6,315	6,042	6,385	6,999	6,850	7,964	7,883	7,770	7,659	7,373	7,727	5,713	84,680
対収入割合(%) ÷ (イ)	66.3%	74.2%	80.1%	86.0%	81.3%	91.6%	76.9%	83.2%	78.6%	90.8%	85.8%	56.8%	79.30%
対支出割合(%) ÷ (ロ)	77%	80%	82%	83%	84%	83%	86%	83%	81%	83%	85%	73%	81.56%
損益	1,264	575	195	-312	271	-927	1,047	-60	296	-713	-131	2,265	3,770
損益累計(年度純利益)	1,264	1,839	2,034	1,722	1,993	1,066	2,113	2,053	2,349	1,636	1,505	3,770	
収支差額率	13%	7%	2%	-4%	3%	-11%	10%	-1%	3%	-9%	-1%	23%	4%

2 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男	77.0	歳	女	85.5	歳	全体	84.3	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	1	0	1	4.7%
要介護2	0	4	4	19.0%
要介護3	1	5	6	28.6%
要介護4	1	5	6	28.6%
要介護5	0	4	4	19.0%
その他 区変中	0	0	0	0
合計数	3	18	21	100%
介護度平均	2.66	3.50	3.38	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度		寝たきり度								認知症 合計	
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2		
認 知 症 高 齢 者 の 自 立 度	なし										9
	I	1									0
	IIa		1								0
	IIb			3	1						1
	IIIa			1	5	1	1				4
	IIIb				1		1				2
	IV						2		3		5
	M										
	不明										
自立度 合計		1	1	4	7	1	4	0	3		21

5 日常生活に対する介助等の状況

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食事	自立	7人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。
	見守り	6人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	3人	
	全部介助	5人	
着替え	自立	3人	一部：手を貸せば着替えができる。
	見守り	3人	全部：自分でできないので全て介助を要する。
	一部介助	10人	
	全部介助	5人	
整容	自立	6人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、一部介助すれば行うことができる。
	見守り	3人	
	一部介助	6人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、全て介助を要する。
	全部介助	6人	
移動	自立	5人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	見守り	3人	
	一部介助	4人	全部：全て介助を要する。
	全部介助	9人	
移乗	自立	5人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	見守り	4人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	7人	
	全部介助	5人	

6 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

疾患群	男	女	計	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	3	8	11	52.4%
循環器 高血圧 動脈硬化 心不全・不整脈刺激伝導系障害	1	9	10	47.6%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害（前立腺・膀胱炎）	1	2	3	14.3%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	0	1	1	4.8%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	1	6	7	33.3%
血液 貧血 その他の血液疾患	2	1	3	14.3%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	0	0	0	0%
運動器 骨疾患 関節疾患	0	9	9	42.9%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	0	2	2	9.5%
精神系	0	2	2	9.5%
婦人系	0	1	1	4.8%
合計	8	41	49	
利用者1名あたり疾患有する数				2.3件

7 医療的な処置をする入所者への対応

状況	人數	施設で行っている対応（注意点などを書くこと。）
経管栄養（胃ろう・鼻腔）	1	医師指示の栄養剤・投与量・投与時間を基にベッド上ギャッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	
常時吸引	2	口腔・鼻腔（医師の指示箋の下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150 mm h g
バルーンカテーテル留置	1	
在宅酸素	1	
褥瘡	0	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	0	血糖チェック
人工肛門（ストーマ）	2	皮膚トラブルの予防。ストマ、腹部状態の観察。

8 介護サービスの提供状況

	月	火	水	木	金	土	日	サービス提供時間
サービス提供日	○	○	○	○	○	○	○	9時00分～18時00分
通所・訪問実施日	○	○	○	○	○	○	○	午前9時00分～18時00分
宿泊実施日								午後18時00分～10時00分
入浴実施日	○	○	○	○	○	○	○	午前10時00分～12時00分
その他の休業日	なし							午後14時00分～16時00分

9 運営推進会議

令和6年度は新型コロナウイルスなど、各種感染症の影響を大きく受けることもなく、年6回（奇数月第3金曜日）開催することができた。地域住民、ならびに有識者などで構成される本会議にて出た意見は、「運営推進会議における評価」にて事業所職員に周知を図っている。地域包括ケアシステムをより強固なものにすべく、今後も地域社会との交流を密なものにしていく次第である。

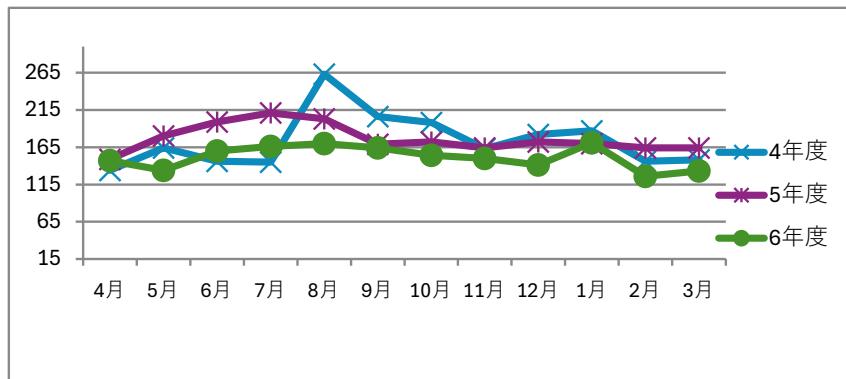
開催日と主な内容

	開催日	主な内容
①	令和6年 5月17日（金）	事業・活動報告などについて
②	令和6年 7月19日（金）	事業・活動報告などについて
③	令和6年 9月20日（金）	事業・活動報告などについて
④	令和6年 11月15日（金）	事業・活動報告などについて
⑤	令和7年 1月17日（金）	従業員評価および事業所評価の結果報告などについて
⑥	令和7年 3月21日（金）	サービス評価の結果報告などについて

X II. 第二階樂園ホーム訪問看護ステーション

1 利用状況実績

4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	登録者数	11	10	11	12	18	19	12	17	25	26	23	207
利用件数	134	164	146	145	263	206	198	163	182	187	146	148	2,082
月間利用率	103.1%	126.2%	112.3%	111.5%	202.3%	158.5%	152.3%	125.4%	140.0%	143.8%	112.3%	113.8%	133.46%
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	25	25	25	23	24	24	25	28	29	30	31	32	321
利用件数	149	180	199	211	203	169	172	164	172	170	164	164	2,117
月間利用率	114.6%	138.5%	153.1%	162.3%	156.2%	130.0%	132.3%	126.2%	132.3%	130.8%	126.2%	126.2%	135.71%
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	30	30	31	34	36	37	38	38	36	33	33	33	409
利用件数	147	134	160	166	170	164	154	150	141	171	126	133	1,816
月間利用率	113.1%	103.1%	123.1%	127.7%	130.8%	126.2%	118.5%	115.4%	108.5%	131.5%	96.9%	102.3%	116.41%



30年度	198	70.71%
元年度	777	53.96%
2年度	667	46.32%
3年度	1322	84.74%
4年度	2082	133.46%
5年度	2117	135.71%
6年度	1816	116.41%

単位千円														
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入額(イ)		1,961	1,970	2,274	2,215	2,260	2,445	2,895	2,065	1,814	2,181	1,957	1,304	25,341
支出額(口)		1,065	1,220	1,360	1,368	1,415	1,513	1,384	1,784	1,450	1,131	1,218	1,430	16,338
内訳	職員給与	517	417	421	427	425	407	434	424	419	281	267	258	4,697
	賞与引当金、繰入	101	103	101	163	102	173	83	83	-56	83	83	173	1,192
	非常勤職員給与	168	157	352	388	529	556	495	595	685	525	542	548	5,540
	派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	18	21	19	22	21	19	20	20	22	22	22	24	250
	法定福利費	81	102	99	191	97	134	114	147	174	74	99	76	1,388
	給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計(八)	885	800	992	1,191	1,174	1,289	1,146	1,269	1,244	985	1,013	1,079	13,067
対収入割合(八)÷(イ)		45.1%	40.6%	43.6%	53.8%	51.9%	52.7%	39.6%	61.5%	68.6%	45.2%	51.8%	88.6%	53.58%
対支出割合(八)÷(口)		83%	66%	73%	87%	83%	85%	83%	71%	86%	87%	83%	75%	80.19%
損益		896	750	914	847	845	932	1,511	281	364	1,050	739	-212	9,003
損益累計(年度純利益)		896	1,646	2,560	3,407	4,252	5,184	6,695	6,976	7,340	8,390	9,129	8,917	
収支差額率		46%	38%	40%	38%	37%	38%	52%	14%	20%	48%	38%	-10%	36%

2 利用者の平均年齢（令和7年3月31日現在）

平均年齢	男	87.6	歳	女	89.1	歳	全体	88.3	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

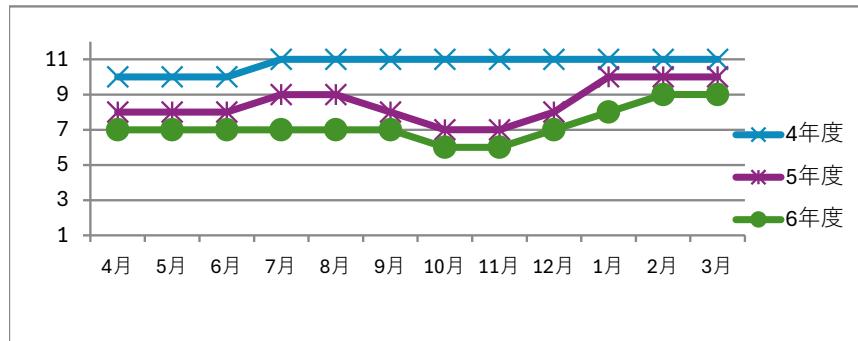
3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	0	2	2	10.0%
要支援2	1	0	1	5.0%
要介護度1	3	3	6	30.0%
要介護度2	4	2	6	30.0%
要介護度3	1	0	1	5.0%
要介護度4	1	3	4	20.0%
要介護度5	0	0	0	0%
その他 区変中	0	0	0	0%
合計数	10	10	20	100%
介護度平均	1.87	1.97	1.92	

XIII. 企業主導型保育所かいらくえん

1 利用状況実績

4年度	利用者数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1歳	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45
2歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
利用者数	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	129
月間利用率	90.91%	90.91%	90.91%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	97.73%
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	0	0	0	1	1	1	1	1	2	3	3	2	15
1歳	5	5	5	5	5	4	3	3	3	4	4	5	51
2歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
利用者数	8	8	8	9	9	8	7	7	8	10	10	10	102
月間利用率	72.73%	72.73%	72.73%	81.82%	81.82%	72.73%	63.64%	63.64%	72.73%	90.91%	90.91%	90.91%	77.27%
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	3	3	24
1歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
2歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
利用者数	7	7	7	7	7	7	6	6	7	8	9	9	87
月間利用率	63.64%	63.64%	63.64%	63.64%	63.64%	63.64%	54.55%	54.55%	63.64%	72.73%	81.82%	81.82%	72.70%



30年度	18	27.27%
元年度	51	38.64%
2年度	102	77.27%
3年度	117	88.64%
4年度	129	97.73%
5年度	102	77.27%
6年度	87	65.91%

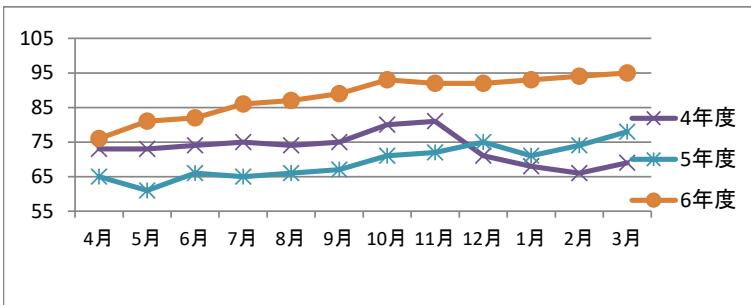
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)		2,131	2,093	2,088	2,066	1,336	2,270	1,895	1,786	2,500	2,064	2,224	2,300	24,753
支出額(ロ)		2,384	2,200	2,445	2,513	2,416	2,896	2,438	2,711	2,840	2,391	2,617	3,812	31,663
内訳	職員給与	635	685	678	682	689	675	674	682	673	674	681	914	8,342
	賞与引当金、繰入	159	161	158	248	158	586	209	209	-42	209	209	221	2,485
	非常勤職員給与	989	850	1,089	978	1,009	936	970	1,045	1,343	929	926	1,346	12,410
	派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	36	47	41	41	43	47	44	44	64	64	57	57	585
	法定福利費	131	189	157	276	176	359	220	395	410	200	375	205	3,093
	給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業務委託費	9	10	12	12	9	9	9	9	9	9	9	9	115
	人件費計(ハ)	1,959	1,942	2,135	2,237	2,084	2,612	2,126	2,384	2,457	2,085	2,257	2,752	22,021
対収入割合(ハ) ÷ (イ)		91.9%	92.8%	102.3%	108.3%	156.0%	115.1%	112.2%	133.5%	98.3%	101.0%	101.5%	119.7%	111.03%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)		82%	88%	87%	89%	86%	90%	87%	88%	87%	87%	86%	72%	85.88%
損益		-253	-107	-357	-447	-1,080	-626	-543	-925	-340	-327	-393	-1,512	-6,910
損益累計(年度純利益)		-253	-360	-717	-1,164	-2,244	-2,870	-3,413	-4,338	-4,678	-5,005	-5,398	-6,910	
收支差額率		-12%	-5%	-17%	-22%	-81%	-28%	-29%	-52%	-14%	-16%	-18%	-66%	-28%

XIV. 八王子市地域包括支援センター大和田

1 利用状況実績

介護予防支援事業

4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
委託分	82	88	83	85	87	86	87	80	76	84	83	82	1003
自作分	73	73	74	75	74	75	80	81	71	68	66	69	879
達成率	82%	82%	84%	85%	84%	85%	90%	92%	80%	77%	75%	78%	82.83%
計	155	161	157	160	161	161	167	161	147	152	149	151	1882
調査件数	2	8	5	5	5	5	4	5	3	3	3	3	
相談件数	303	339	408	339	412	418	377	393	480	480	298	380	4627
プラン調査収入計	422,053	451,863	419,469	443,143	440,427	438,641	462,550	412,915	414,737	398,231	394,406	379,653	5,078,088
プラン調査収入計	422,053	873,916	1,293,385	1,736,528	2,176,955	2,615,596	3,078,146	3,491,061	3,905,798	4,304,029	4,698,435	5,078,088	5,078,088
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
委託分	83	71	85	84	85	83	81	83	83	81	77	76	972
自作分	65	61	66	65	66	67	71	72	75	71	74	78	831
達成率	73%	69%	75%	73%	75%	76%	80%	81%	85%	80%	84%	88%	78.25%
計	148	132	151	149	151	150	152	155	158	152	151	154	1803
調査件数	3	3	3	4	2	4	3	3	3	4	3	3	
相談件数	398	340	337	300	456	355	419	410	365	334	306	233	4253
プラン調査収入計	372,537	362,172	402,817	375,264	382,772	391,572	402,603	419,212	431,187	415,157	424,923	448,840	4,829,056
プラン調査収入計	372,537	734,709	1,137,526	1,512,790	1,895,562	2,287,134	2,689,737	3,108,949	3,540,136	3,955,293	4,380,216	4,829,056	4,829,056
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
委託分	74	73	76	72	69	71	72	71	74	69	70	68	859
自作分	76	81	82	86	87	89	93	92	92	93	94	95	1060
達成率	86%	92%	93%	97%	98%	101%	105%	104%	104%	105%	106%	107%	99.83%
計	150	154	158	158	156	160	165	163	166	162	164	163	1919
調査件数	3	3	3	3	3	3	3	3	4	2	5	3	
相談件数	234	281	225	225	248	266	216	256	265	287	211	301	3015
プラン調査収入計	438,249	475,321	461,940	490,482	479,073	505,309	518,285	511,743	524,499	506,626	538,461	525,926	5,975,914
プラン調査収入計	438,249	913,570	1,375,510	1,865,992	2,345,065	2,850,374	3,368,659	3,880,402	4,404,901	4,911,527	5,449,988	5,975,914	



2年度	563	63.98%
3年度	862	89.79%
4年度	879	91.56%
5年度	831	86.56%
6年度	1060	100.38%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
収入額(イ)	764	825	840	812	807	834	921	879	903	832	881	888	10,186
支出額(ロ)	786	816	821	833	755	785	846	827	869	783	806	833	9,760
内訳													
職員給与	272	274	273	274	276	277	343	292	292	293	292	318	3,476
賞与引当金、繰入	93	91	89	89	89	64	70	70	39	70	70	102	936
非常勤職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	11	15	14	11	10	10	10	10	10	10	10	10	131
法定福利費	41	45	41	100	41	59	40	59	115	41	59	45	686
給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計(ハ)	417	425	417	474	416	410	463	431	456	414	431	475	4,323
対収入割合(ハ)÷(イ)	54.6%	51.5%	49.6%	58.4%	51.5%	49.2%	50.3%	49.0%	50.5%	49.8%	48.9%	53.5%	51.40%
対支出割合(ハ)÷(ロ)	53%	52%	51%	57%	55%	52%	55%	52%	52%	53%	53%	57%	53.57%
損益	-22	9	19	-21	52	49	75	52	34	49	75	55	426
損益累計(年度純利益)	-22	-13	6	-15	37	86	161	213	247	296	371	426	
收支差額率	-3%	1%	2%	-3%	6%	6%	8%	6%	4%	6%	9%	6%	4%

2 運営状況

(1) 相談方法別実績

(件)

	介護保険	生活支援	介護予防	行政	生活家族	病気医療	権利擁護	その他	合計
書面	7	0	31	0	1	5	0	0	44
電話	881	4	45	12	165	629	78	166	1,980
来所	162	2	6	0	14	67	16	19	286
訪問	267	0	23	0	48	132	26	25	521
その他	18	1	57	0	18	28	4	59	185
合計	1,335	7	162	12	246	861	124	269	3,016

(2) 相談内容別実績

(件)

介護保険	介護	在宅	施設	介護苦情	介護その他			合計
生活支援	710	1,173	68	25	11			1,987
	ボランティア	訪問ふれあい員	生活支援苦情	生活支援その他				合計
介護予防	0	0	2	15				17
	介護予防	介護予防苦情						合計
行政	186	8						194
	障害者	生活保護	医療保険	保健所	警察消防	行政苦情	その他	合計
生活家族	22	21	1	3	4	0	1	52
	安否所在確認	家族相談	生活その他					合計
病気医療	65	137	67					269
	医療機関	健康病気	入退院	認知症	精神疾患	医療その他		合計
権利擁護	295	455	187	223	123	13		1,296
	成年後見	虐待	消費者被害	権利擁護	経済問題	権利その他		合計
その他	20	15	4	22	63	3		127
	問い合わせ	その他苦情	その他	アンケート				合計
合計	70	0	278	1				348
								4,290

(3) その他の実績

地域ケア会議 各 3 回以上 合計 10 回以上	(地域課題) 7/5 8/6 3/19 (自立) 4/23 8/21 12/25 (個別) 4/10 4/18 6/26 12/4 12/18 2/25	地域課題型 3 回 自立支援型 3 回 個別支援型 6 回 計 12 回
同行訪問利用率(4月～11月) 介護予防ケアマネジメント利用者実件数に対し 14%以上	介護予防ケアマネジメント利用者実件数：93 件 同行訪問件数：15 件	同行訪問利用率：16.1290%

ケアマネ支援	【研修】 ① 8/29 「いつまでも楽しい食生活を続けるために」 八王子市役所 高齢者いきいき課 食支援コーディネーター 大島 直子 氏 ② 1/21 「訪問歯科の利用について」 (山内歯科医院(公益財団法人 東京都八南歯科医師会所属) 山内 英史先生)	【研修】 ① 参加人数：15名 ② 参加人数：22名
	【事例検討会】 3/14 大和田圏域居宅介護支援事業所事例検討	参加人数：10名
介護者教室	男性介護者の会 「コーヒーの味比べをしながら介護について語りましょう」 (地域ボランティア協力) ① 9/21 ② 3/29	① 参加人数：6名 ② 参加人数：4名
	講座 「落語調 終活セミナー」 (講師：古宮努司法書士)	参加人数：25名
介護予防教室	ぽれぼれ体操：第2・4木曜日	24回 参加延べ人数：421名
	太極拳：第1・3火曜日 2グループ	21回 参加延べ人数：279名
	健康教室 ① 5/17「ハンドケア講座」 (資生堂ジャパン阿部洋子先生) ② 9/20「これからも健やかに過ごすために」 (あんしん相談センタ一大和田伊藤看護師)	① 参加人数：16名 ② 参加人数：20名
	ぽれぼれ体操参加者対象 体力測定	参加人数：15名
	スマホ教室	4月 35名 5月 32名 6月 29名

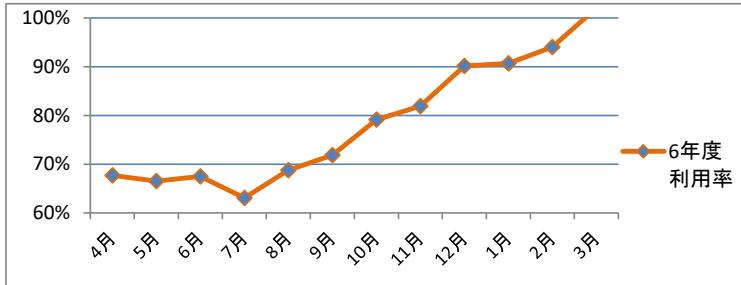
		7月 27名 8月 24名 10月 36名 11月 33名 12月 36名 2月 33名 3月 33名 参加延べ人数：318名 個別相談 9月 33名 1月 29名
認知症サポーター養成講座	① 4/30 大和田市民センター ② 6/26 大和田市民センター ③ 7/27 南原台団地集会所 ④ 8/23 八王子市役所 9/27 ⑤ 10/30 大和田市民センター ⑥ 2/15 大和田 1 丁目団地	① 10名 ② 11名 ③ 10名 ④ 41名 ⑤ 11名 ⑥ 18名 参加人数：101名
認知症ステップアップ講座	3/22	参加人数：26名
認知症サポーター交流会	6/5	参加人数：29名
オレンジカフェ	① シュエット 第3木曜 15時半～16時半 4/18 5/16 6/20 7/18 8/22 9/19 10/17 11/21 12/19 1/16 2/20 3/13 ② ハートフルカフェ 3か月に1回日曜 9/29 12/22 3/30	① 全12回 各日4名～9名参加 参加延べ人数：85名 ② 全3回 各日9名～15名参加 参加延べ人数：36名
8050問題への取り組み	介護予防委託している居宅介護支援事業所にアンケート	17事業所 37名回答
北原包括ネットワーク事業	北原国際病院、日野市包括、八王子市包括合同意見交換会	北原国際病院、北原リハビリテーション病院、日野市包括（すてっぷ、かわきた、いきいきタウン）、八王子市包括（長沼、大和田） 参加人数：16名
男の料理教室	1/22（水）	参加人数：10名
小宮公園	第2木曜日 (8月・10月・1月休み) イベント 5月：新緑フェス 11月：あきいろフェス (小宮公園主催、包括中野・石川、	全9回 圏域内参加者 4月 13名 5月 8名 6月 15名 7月 8名 9月 9名 11月 14名

	右田病院共催)	12月 10名 2月 12名 3月 13名 参加延べ人数：102名
大和田市民センターまつり・福祉のひろば	10/26（土）～10/27（日） 昔遊び 地域資源マップ スタンプラリー はちまるカフェ	参加人数：約 195 名
その他地域活動	① ふれあい講座 9/8 北原 RD クリニック 北原優香子先生講演 あんしん相談センター 大和田紹介 ② 圏域内お祭り参加 ③ その他 圏域内サロン	① 参加人数：約 60 名 ② 4/7 上大和田町会お花見会 7/20 大和田相和会夏祭り 8/17～8/18 八幡神社祭禮 8/24～8/25 大和田中央町会祭禮 8/25 日枝神社祭禮 8/31 関根神社祭禮 1/17 大和田一丁目町会文化祭 ③ 隨時
協議体	都営大和田一丁目団地 見守り巡視隊	定例会参加 10回
大和田地域交流会	生活支援コーディネーターと はちまるサポート大和田共催。 圏域内で活動するサロンなど の主催者が交流を図り、情報共 有を図りながら、課題を抽出 し、解決に繋げる	会場：大和田市民センター ① 9/10 参加団体9団体 計12名 ② 2/4 参加団体10団体+はちま るサポートー、認知症サポ ーター、地域ボランティア、 民生委員 計34名
大和田だより（広報誌）発行	4月 6月 8月 10月 12月 2月	6回
看護学生 実習受け入れ ○ 東京純心大学 ○ 八王子市立看護学校	2日間／回 ① 10/15～10/16 ② 11/11～11/12 ③ 12/9～12/10 ④ 3/7（追実習） 3日間／回 9/25～9/27	受入れ人数 ① 2名 ② 2名 ③ 1名 ④ 1名 2名

XV. 八王子市高齢者在宅サービスセンター中野

1 利用状況実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年度	528	539	506	511	557	539	641	639	676	653	677	796	7262
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309
利用率	67.69%	66.54%	67.47%	63.09%	68.77%	71.87%	79.14%	81.92%	90.13%	90.69%	94.03%	102.05%	78.62%
平均介護度	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.61



年度計	延人数	利用率
6年度	7,262	78.62%

単位千円													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収入額(イ)	4,914	4,828	5,069	4,803	5,331	5,178	6,962	6,300	6,524	6,678	6,716	8,026	71,329
支出額(ロ)	4,403	7,897	7,619	7,425	6,595	6,578	7,087	6,984	7,579	7,507	7,451	9,348	86,473
内訳	職員給与	1,317	1,151	1,508	1,706	1,776	1,404	1,839	1,797	1,792	2,272	2,264	2,217
	賞与引当金、繰入	509	538	614	409	640	540	487	622	-105	677	671	1,259
	非常勤職員給与	0	1,809	2,060	2,126	2,224	2,356	2,646	2,423	3,360	2,421	2,366	2,988
	派遣職員費	676	1,285	1,591	612	177	196	0	0	0	0	0	4,537
	退職給付費用	52	55	108	87	97	119	110	110	135	141	62	132
	法定福利費	563	611	605	580	447	484	529	668	882	478	666	829
	給食業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計(ハ)	3,117	5,449	6,486	5,520	5,361	5,099	5,611	5,620	6,064	5,989	6,029	7,425
対収入割合(ハ) ÷ (イ)	63.4%	112.9%	128.0%	114.9%	100.6%	98.5%	80.6%	89.2%	92.9%	89.7%	89.8%	92.5%	96.08%
対支出割合(ハ) ÷ (ロ)	71%	69%	85%	74%	81%	78%	79%	80%	80%	80%	81%	79%	78.15%
損益	511	-3,069	-2,550	-2,622	-1,264	-1,400	-125	-684	-1,055	-829	-735	-1,322	-15,144
損益累計(年度純利益)	511	-2,558	-5,108	-7,730	-8,994	-10,394	-10,519	-11,203	-12,258	-13,087	-13,822	-15,144	
収支差額率	10%	-64%	-50%	-55%	-24%	-27%	-2%	-11%	-16%	-12%	-11%	-16%	-21%

2 利用者の平均年齢(令和7年3月31日現在)

平均年齢	男	85.3	歳	女	86.9	歳	全体	86.2	歳
------	---	------	---	---	------	---	----	------	---

3 要介護度認定別利用状況（令和7年3月31日現在）

(人)

要介護度	人数		合計	構成比率
	男	女		
要支援1	2	4	6	6.5%
要支援2	2	1	3	3.2%
要介護度1	14	29	43	46.2%
要介護度2	10	12	22	23.6%
要介護度3	6	5	11	11.8%
要介護度4	3	4	7	7.8%
要介護度5	1	0	1	1.1%
その他 区変中	0	0	0	
合計数	38	55	93	100%
介護度平均	1.60	1.50	3.1	

4 日常生活自立度（令和7年3月31日現在）

(人)

日常生活自立度	寝たきり度								認知症 合計
	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
認知症高齢者の自立度	なし		3	1		1	1		6
	I	1	6	7	1	1	1		17
	IIa	1	4	2	8		1		16
	IIb	1	7	7	8	1	3		27
	IIIa	1	1		3	1			6
	IIIb		1		1				2
	IV						1	1	
	M								
	不明	18							
自立度 合計		22	22	17	21	4	7		93

5 日常生活に対する介助等の状況

動作の種類	介助の種類	人数	備考
食 事	自立	79人	一部：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。 全部：全て介助を要する。
	見守り	11人	
	一部介助	3人	
	全部介助	0人	
着替え	自立	14人	一部：手を貸せば着替えができる。 全部：自分でできないので全て介助を要する。
	見守り	49人	
	一部介助	28人	
	全部介助	2人	
整 容	自立	63人	一部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 一部介助すれば行うことができる。
	見守り	28人	
	一部介助	2人	全部：つめ切り、耳掃除、歯磨き、ひげ剃り等について、 全て介助を要する。
	全部介助	0人	
移 動	自立	22人	一部：付添が手や肩を貸せば歩ける。または、車いす等に 介助して乗せた後、自力で施設内を移動できる。
	見守り	17人	
	一部介助	51人	全部：全て介助を要する。
	全部介助	3人	
移 乗	自立	22人	一部：手を貸せば車いすに移乗することができます。
	見守り	22人	全部：全て介助を要する。
	一部介助	48人	
	全部介助	1人	

6 利用者の疾患状況(令和7年3月31日現在)

疾 患 群	男	女	計	%
神経系 脳血管障害 脳変性疾患	16	9	25	26.9%
循環器 高血圧 動脈硬化 心不全・不整脈刺激(伝導系障害)	20	34	54	58.1%
腎尿路 慢性腎不全 尿路障害(前立腺・膀胱炎)	6	5	11	11.8%
呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 肺感染症および肺癌	5	2	7	7.5%
消化器 消化器の潰瘍および癌肝・胆管・腸・疾患	5	12	17	18.3%
血液 貧血 その他の血液疾患	0	0	2	2.2%
内分泌 甲状腺疾患 リュウマチ その他の内分泌疾患	6	12	18	19.4%
運動器 骨疾患 関節疾患	12	34	46	49.5%
眼・耳・皮膚・歯科領域の疾患	6	13	19	20.4%
精神系	1	6	7	7.5%
婦人系	0	2	2	2.2%
合計	77	129	208	
利用者1名あたり疾患有する数			2.1件	

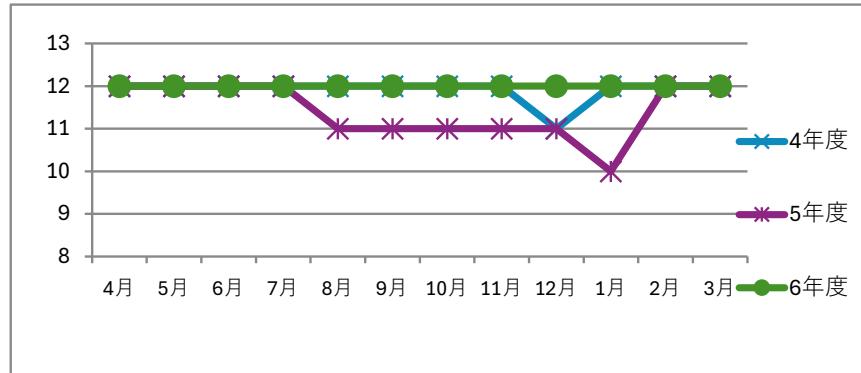
7 医療的な処置をする利用者への対応

状 況	人 数	施設で行っている対応(注意点などを書くこと。)
経管栄養(胃ろう・鼻腔)	0	医師指示の栄養剤・投与量・授与時間を基にベッド上ギャッジアップ45度、注入直後～終了まで観察
点滴	0	
常時吸引	0	口腔・鼻腔(医師の指示箇所)下、吸引実施1回10秒以内吸引圧100～150mmHg
バルーンカテーテル留置	1	
在宅酸素	2	
褥瘡	0	軟膏やガーゼ保護などを行う
インスリン投与	1	血糖チェック(2名)
人工肛門(ストーマ)	1	

XVI. 第二偕楽園ホームサービス付き高齢者向け住宅

1 利用状況実績

4年度	居住者数												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居者数	12	12	12	12	12	12	12	12	11	12	12	12	143
月間利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	99.31%
5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	12	12	12	12	11	11	11	11	11	10	12	12	137
月間利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	83.3%	100.0%	100.0%	95.14%
6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
月間利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.43%



30年度	34	40.48%
元年度	138	95.83%
2年度	138	95.83%
3年度	136	94.44%
4年度	143	99.31%
5年度	137	95.14%
6年度	144	100.00%

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位千円
サービス活動収益計		1,965	1,889	1,940	1,974	1,974	1,892	1,936	1,906	1,929	1,906	1,906	1,792	23,009
サービス活動収費用計		2,103	2,056	2,168	2,079	2,075	1,793	1,972	1,885	2,286	2,007	2,154	2,033	24,611
内訳	職員給与	14	0	87	53	52	17	37	37	74	112	37	56	576
	賞与引当金、繰入	23	25	22	22	22	22	24	24	-112	24	24	24	144
	非常勤職員給与	291	353	282	299	308	319	324	346	459	312	336	338	3,967
	派遣職員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退職給付費用	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	法定福利費	33	36	34	52	33	33	33	10	16	10	10	10	310
	給食業務委託費	241	243	244	242	241	241	241	241	241	241	241	241	2,898
	清掃業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計(八)	607	662	674	673	661	637	664	663	683	704	653	674	6,628
	対収入割合(八) ÷ (イ)	30.9%	32.1%	34.7%	34.1%	33.5%	33.7%	34.3%	34.8%	35.4%	36.9%	34.3%	37.6%	34.36%
対支出割合(八) ÷ (ロ)		29%	30%	31%	32%	32%	36%	34%	35%	30%	35%	30%	33%	32.21%
損益		-138	-167	-228	-105	-101	99	-36	21	-357	-101	-248	-241	-1,602
損益累計(年度純利益)		-138	-305	-533	-638	-739	-640	-676	-655	-1,012	-1,113	-1,361	-1,602	
収支差額率		-7%	-9%	-12%	-5%	-5%	5%	-2%	1%	-19%	-5%	-13%	-13%	-7%

2 入居者の在籍状況及び理由別入退居

初日 在籍数	在籍数	入居			退居			計
		在宅	医療機関	社会福祉施設	介護老人保健施設	その他		
2024年4月	12						0	0
5月	12						0	0
6月	12						0	0
7月	12						0	0
8月	11						0	0
9月	11						0	0
10月	11						0	0
11月	11						0	0
12月	11						0	0
2025年1月	11						0	0
2月	11						0	0
3月	12	1				1	1	1
計	137	1				1	1	1

注1 医療機関は、療養型を含む。注2 その他は、短期入所から引き続く入所（居）を含む。

3 退居者の状況

死亡者の退居状況について

番号	死亡時の年齢	死亡年月日	死亡理由	死亡場所 (該当する場合)	遺留金品の処理状況		遺言状の有無
					福祉事務所	引渡し年月日 受領者の続柄	
1							